

平成 22 年度・23 年度 D P C 導入の影響評価に関する 一次集計結果について（退院患者調査・再入院調査）

I 退院患者調査について

1. 目的と方法

D P C 導入の影響評価を行うために、診断群分類の妥当性の検証及び診療内容の変化等を評価するための基礎資料を収集することを目的とし、平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までの退院患者について、「診療録情報（診療録に基づく情報）」及び「レセプト情報（診療報酬請求明細書に基づく情報）」等を収集する。

2. 調査対象・分析対象データ

病床規模（右） 参加年度（下）	100 床未満	100 床以上 200 床未満	200 床以上 300 床未満	300 床以上 400 床未満	400 床以上 500 床未満	500 床以上
平成 15 年度 DPC 参加病院	-	-	-	-	1	81
平成 16 年度 DPC 参加病院	2	14	12	15	7	12
平成 18 年度 DPC 参加病院	4	15	37	53	41	65
平成 20 年度 DPC 参加病院	33	74	85	69	38	55
平成 21 年度 DPC 参加病院	92	161	130	87	51	44
平成 22 年度 DPC 参加病院	21	38	19	18	9	5
平成 23 年度 DPC 参加病院	13	17	13	8	4	4
参加病院合計値	165	319	296	250	151	266
平成 18, 19 年度 新規 DPC 準備病院	32	27	5	3	-	1
平成 20 年度 新規 DPC 準備病院	18	17	1	1	-	-
平成 21 年度 新規 DPC 準備病院	12	9	1	2	-	-
平成 22 年度 新規 DPC 準備病院	24	17	6	7	1	3
準備病院合計値	86	70	13	13	1	4

平成 22 年 7 月以降、当調査は通年化されたが、平成 18 年から平成 21 年までは 7～12 月のみの調査であることから、今回の集計においては、①経年比較のための 6 か月（7～12 月分）集計と②平成 23 年度全体（平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月、12 か月分）集計の二通りの集計を行った。

3. 主要な結果について

(1) 退院先状況について

【表 1－1】退院先の状況「自院の外来」

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	84.3%	83.9%	84.4%	84.1%	84.1%
平成 16 年度 DPC 参加病院	69.5%	67.9%	67.4%	66.7%	66.6%
平成 18 年度 DPC 参加病院	73.2%	72.7%	71.9%	71.7%	71.5%
平成 20 年度 DPC 参加病院	75.3%	74.8%	74.3%	73.7%	73.5%
平成 21 年度 DPC 参加病院	74.9%	75.4%	75.0%	74.6%	74.3%
平成 22 年度 DPC 参加病院	73.9%	73.6%	73.6%	73.4%	73.2%
平成 23 年度 DPC 参加病院	76.6%	77.2%	76.1%	76.4%	76.3%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	67.3%	66.9%	67.3%	67.5%	67.1%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	64.1%	64.3%	64.2%	64.7%	64.5%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院		68.8%	67.8%	68.8%	68.5%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院			75.6%	75.2%	75.1%

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	68.2%	67.7%	66.8%	66.7%	66.4%
100 床以上 200 床未満	69.0%	68.9%	68.3%	67.9%	67.8%
200 床以上 300 床未満	69.9%	69.5%	69.5%	69.5%	69.3%
300 床以上 400 床未満	73.1%	73.1%	72.8%	72.2%	72.0%
400 床以上 500 床未満	76.4%	77.6%	76.9%	76.4%	76.1%
500 床以上	80.2%	79.6%	79.4%	79.1%	78.9%

【表 1－2】退院先の状況「転院」

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	4.2%	4.4%	4.6%	4.8%	4.8%
平成 16 年度 DPC 参加病院	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.7%
平成 18 年度 DPC 参加病院	5.7%	5.9%	6.1%	6.1%	6.1%
平成 20 年度 DPC 参加病院	5.0%	5.1%	5.2%	5.3%	5.2%
平成 21 年度 DPC 参加病院	5.0%	5.0%	5.0%	5.2%	5.1%
平成 22 年度 DPC 参加病院	5.6%	5.8%	5.6%	5.7%	5.6%
平成 23 年度 DPC 参加病院	5.6%	4.2%	4.5%	4.4%	4.4%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	5.9%	6.1%	6.0%	6.4%	6.3%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	6.4%	6.4%	6.5%	6.5%	6.6%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院		7.2%	8.1%	6.8%	6.9%

平成 22 年度新規 DPC 準備病院			5.5%	5.8%	5.7%
---------------------	--	--	------	------	------

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	7.2%	7.3%	7.2%	7.2%	7.3%
100 床以上 200 床未満	5.7%	5.6%	5.7%	5.8%	5.8%
200 床以上 300 床未満	5.4%	5.5%	5.5%	5.4%	5.3%
300 床以上 400 床未満	5.5%	5.6%	5.6%	5.7%	5.6%
400 床以上 500 床未満	4.9%	4.8%	5.0%	5.1%	5.1%
500 床以上	4.7%	4.8%	5.0%	5.2%	5.1%

(2) 再入院・再転棟

【表 2-1】再入院率「再入院の割合」

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	18.7%	19.0%	19.5%	19.5%	27.8%
平成 16 年度 DPC 参加病院	17.3%	17.4%	17.3%	17.5%	25.0%
平成 18 年度 DPC 参加病院	16.8%	17.0%	17.0%	17.2%	24.7%
平成 20 年度 DPC 参加病院	17.0%	17.1%	17.2%	17.2%	24.6%
平成 21 年度 DPC 参加病院	16.4%	17.0%	17.2%	17.1%	24.5%
平成 22 年度 DPC 参加病院	16.8%	17.1%	17.7%	17.8%	25.2%
平成 23 年度 DPC 参加病院	13.3%	16.8%	17.1%	17.6%	24.6%
平成 18、19 年度新規 DPC 準備病院	14.9%	15.5%	16.3%	16.3%	23.9%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	15.5%	16.4%	16.8%	16.8%	24.4%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院		14.0%	13.8%	14.5%	21.1%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院			16.6%	16.9%	24.0%

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	13.6%	13.9%	14.4%	14.2%	20.4%
100 床以上 200 床未満	14.2%	14.8%	15.1%	15.0%	22.1%
200 床以上 300 床未満	16.1%	16.5%	16.4%	16.5%	23.7%
300 床以上 400 床未満	16.7%	16.9%	17.2%	17.4%	24.8%
400 床以上 500 床未満	17.1%	17.6%	17.8%	17.8%	25.3%
500 床以上	18.2%	18.4%	18.7%	18.7%	26.6%

【表 2-2】再入院率「同一疾患での 6 週間以内の再入院」

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	8.9%	9.0%	9.3%	9.4%	10.9%
平成 16 年度 DPC 参加病院	7.6%	7.8%	7.5%	7.8%	8.8%
平成 18 年度 DPC 参加病院	7.2%	7.3%	7.3%	7.5%	8.4%
平成 20 年度 DPC 参加病院	7.2%	7.4%	7.4%	7.4%	8.4%
平成 21 年度 DPC 参加病院	7.2%	7.4%	7.7%	7.6%	8.6%
平成 22 年度 DPC 参加病院	7.4%	7.6%	8.0%	8.1%	9.2%
平成 23 年度 DPC 参加病院	5.5%	7.6%	8.0%	8.1%	9.2%

平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	6.3%	6.6%	7.5%	7.3%	8.3%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	6.4%	7.2%	7.8%	7.7%	8.8%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院		5.7%	6.0%	6.0%	7.0%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院			7.9%	8.3%	9.2%

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	5.4%	5.9%	6.3%	5.9%	6.7%
100 床以上 200 床未満	5.5%	5.9%	6.0%	5.9%	6.8%
200 床以上 300 床未満	6.7%	7.1%	7.1%	7.1%	8.0%
300 床以上 400 床未満	7.2%	7.3%	7.6%	7.7%	8.7%
400 床以上 500 床未満	7.5%	7.9%	8.0%	8.1%	9.1%
500 床以上	8.4%	8.4%	8.6%	8.7%	9.9%

(3) その他モニタリング項目

【表 3-1】在院日数の平均の年次推移

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	16.51	16.03	15.68	15.33	14.57
平成 16 年度 DPC 参加病院	14.59	14.44	14.30	14.13	13.53
平成 18 年度 DPC 参加病院	14.40	14.23	14.13	13.86	13.31
平成 20 年度 DPC 参加病院	14.40	14.35	14.27	14.06	13.45
平成 21 年度 DPC 参加病院	15.19	14.50	14.45	14.17	13.58
平成 22 年度 DPC 参加病院	16.28	15.96	15.15	14.84	14.24
平成 23 年度 DPC 参加病院	14.83	14.92	14.69	13.79	13.21
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	15.66	15.52	15.44	15.27	14.67
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	15.71	15.46	15.21	14.89	14.32
平成 21 年度新規 DPC 準備病院		15.89	15.46	14.98	14.27
平成 22 年度新規 DPC 準備病院			15.75	15.53	14.87

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	14.52	14.11	13.88	13.57	13.12
100 床以上 200 床未満	15.57	15.30	15.13	14.91	14.34
200 床以上 300 床未満	14.90	14.57	14.55	14.24	13.66
300 床以上 400 床未満	14.84	14.60	14.47	14.21	13.61
400 床以上 500 床未満	14.70	14.26	14.11	13.88	13.30
500 床以上	15.23	14.89	14.74	14.43	13.76

【表 3-2】救急車による搬送の率・患者数

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	6.9%	7.4%	7.5%	7.8%	7.9%
(1 施設当たり患者数)	76.9	83.7	89.4	93.4	89.6

平成 16 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	12.4% 70.5	13.0% 74.5	13.3% 78.9	13.7% 81.4	13.7% 77.2
平成 18 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	13.9% 89.7	14.2% 93.7	14.6% 99.2	15.0% 103.7	15.2% 99.4
平成 20 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	12.9% 60.4	13.5% 63.9	14.1% 68.5	14.5% 71.4	14.6% 67.9
平成 21 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	12.9% 46.9	13.5% 49.4	13.8% 52.3	14.2% 54.5	14.4% 52.3
平成 22 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	13.8% 41.4	13.9% 42.2	14.6% 46.2	15.3% 48.9	15.5% 46.7
平成 23 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	12.2% 24.8	12.3% 38.8	12.4% 40.8	12.8% 42.6	13.1% 41.4
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	14.4% 22.6	15.2% 24.2	14.9% 24.5	14.7% 24.2	14.8% 23.0
平成 20 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	11.1% 14.5	10.9% 14.4	11.0% 14.8	11.3% 15.3	11.4% 14.4
平成 21 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)		15.7% 24.3	16.7% 26.0	15.7% 25.1	16.2% 24.7
平成 22 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)			13.5% 32.2	14.0% 33.8	14.1% 32.1

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満 (1 施設当たり患者数)	14.9% 13.1	15.7% 14.0	15.9% 14.2	16.5% 14.9	16.8% 14.4
100 床以上 200 床未満 (1 施設当たり患者数)	14.9% 28.9	15.2% 29.6	16.0% 31.9	16.2% 32.4	16.3% 30.7
200 床以上 300 床未満 (1 施設当たり患者数)	14.0% 49.2	14.4% 50.8	14.8% 53.8	15.4% 56.8	15.5% 53.8
300 床以上 400 床未満 (1 施設当たり患者数)	12.9% 66.0	13.4% 68.9	13.8% 73.7	14.1% 76.6	14.3% 73.4
400 床以上 500 床未満 (1 施設当たり患者数)	12.7% 87.0	12.9% 89.6	13.2% 95.3	13.8% 100.6	14.0% 96.6
500 床以上 (1 施設当たり患者数)	10.5% 108.2	11.1% 116.7	11.3% 122.4	11.6% 127.5	11.8% 122.3

※入院経路が一般入院でかつ救急車による搬送の有無が有りの経年比較

【表 3-3】 予定・救急医療入院の率・患者数（緊急入院の率・患者数）

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	24.6% 273.6	24.6% 278.5	14.9% 176.6	14.4% 173.3	14.6% 164.1
平成 16 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	45.8% 261.3	46.1% 264.1	30.3% 179.9	31.1% 185.6	31.1% 175.0
平成 18 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	46.5% 301.1	46.1% 303.7	31.3% 212.5	31.7% 218.8	31.9% 208.3

平成 20 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	48.8%	48.2%	32.7%	33.7%	33.7%
	228.6	227.6	159.3	165.9	157.1
平成 21 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	49.4%	49.4%	31.1%	31.9%	32.1%
	179.0	181.5	118.1	122.4	116.5
平成 22 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	51.6%	51.1%	31.3%	35.2%	35.3%
	154.8	155.2	99.2	112.6	106.7
平成 23 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	54.2%	45.8%	26.5%	28.4%	28.7%
	109.8	144.8	87.3	94.8	90.8
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	51.3%	49.8%	30.5%	30.2%	30.2%
	80.7	78.9	50.2	49.7	46.9
平成 20 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	49.6%	47.4%	26.4%	25.0%	25.8%
	64.8	62.6	35.4	33.8	32.7
平成 21 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)		53.2%	39.3%	38.6%	38.9%
		82.5	61.4	61.9	59.1
平成 22 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)			23.0%	25.8%	26.2%
			55.2	62.5	59.9

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満 (1 施設当たり患者数)	55.0%	53.9%	32.3%	32.2%	32.4%
	48.3	47.9	28.8	29.1	27.8
100 床以上 200 床未満 (1 施設当たり患者数)	55.7%	55.4%	34.4%	34.7%	34.8%
	108.1	107.8	68.7	69.3	65.7
200 床以上 300 床未満 (1 施設当たり患者数)	52.6%	52.3%	33.9%	34.6%	34.6%
	185.1	184.7	123.1	127.1	120.4
300 床以上 400 床未満 (1 施設当たり患者数)	49.5%	49.0%	31.1%	32.7%	32.7%
	253.9	252.8	166.0	177.0	167.9
400 床以上 500 床未満 (1 施設当たり患者数)	46.6%	46.1%	30.9%	32.0%	32.3%
	318.5	319.8	223.1	233.3	222.7
500 床以上 (1 施設当たり患者数)	37.0%	36.8%	24.1%	24.6%	24.7%
	382.0	385.8	260.5	269.7	256.3

※入院経路が一般入院でかつ救急医療入院(平成 21 年度以前は「緊急入院」)の
経年比較

【表 3-4】 他院より紹介有りの率・患者数

病院類型	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	43.1%	44.5%	51.6%	57.8%	57.6%
	479.1	503.6	612.0	692.9	648.9
平成 16 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	41.5%	43.4%	44.7%	48.0%	47.7%
	236.4	248.5	265.2	286.5	269.0
平成 18 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	37.7%	39.1%	41.3%	44.3%	44.3%
	244.3	257.6	280.6	306.0	289.5
平成 20 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	38.3%	40.1%	42.4%	44.3%	44.2%
	179.7	189.4	206.8	217.9	205.9

平成 21 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	40.5%	41.0%	42.0%	44.4%	44.2%
	146.8	150.6	159.2	170.1	160.2
平成 22 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	38.7%	41.5%	42.6%	44.9%	44.6%
	115.9	125.9	135.2	143.7	134.9
平成 23 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	26.8%	39.5%	45.3%	48.3%	48.0%
	54.3	124.9	148.9	161.1	151.9
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	31.9%	33.9%	34.3%	36.6%	36.6%
	50.2	53.8	56.5	60.1	56.8
平成 20 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	35.7%	35.5%	36.3%	37.3%	36.9%
	46.6	47.0	48.7	50.5	46.7
平成 21 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)		24.7%	34.7%	39.2%	38.8%
		38.3	54.2	62.9	58.9
平成 22 年度新規 DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)			35.1%	40.8%	40.6%
			84.2	98.7	92.6

病床規模	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満 (1 施設当たり患者数)	26.6%	27.1%	26.8%	27.8%	27.8%
	23.3	24.1	23.9	25.2	23.9
100 床以上 200 床未満 (1 施設当たり患者数)	31.7%	32.0%	32.5%	34.1%	34.0%
	61.6	62.2	64.9	68.1	64.1
200 床以上 300 床未満 (1 施設当たり患者数)	35.5%	36.2%	37.1%	38.7%	38.6%
	124.8	127.7	134.8	142.1	134.2
300 床以上 400 床未満 (1 施設当たり患者数)	41.3%	42.2%	44.2%	47.1%	46.8%
	211.7	217.3	235.9	255.1	240.3
400 床以上 500 床未満 (1 施設当たり患者数)	39.0%	41.4%	43.5%	46.4%	46.1%
	266.5	287.4	314.3	338.3	318.1
500 床以上 (1 施設当たり患者数)	43.2%	44.8%	48.9%	53.0%	52.8%
	445.4	469.7	529.1	581.1	547.2

【表 3 - 5】 退院時転帰の状況「治癒・軽快」

病院類型		平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加 病院	治癒	4.3%	3.3%	2.4%	2.2%	2.2%
	軽快	74.3%	74.5%	75.0%	75.2%	75.0%
	治癒+軽快	78.7%	77.8%	77.4%	77.4%	77.1%
平成 16 年度 DPC 参加 病院	治癒	9.9%	7.6%	7.9%	7.9%	7.9%
	軽快	72.2%	74.2%	74.1%	74.7%	74.5%
	治癒+軽快	82.1%	81.8%	82.0%	82.5%	82.4%
平成 18 年度 DPC 参加 病院	治癒	7.7%	6.7%	5.9%	5.9%	5.9%
	軽快	74.2%	75.1%	75.6%	75.8%	75.6%
	治癒+軽快	82.0%	81.8%	81.4%	81.7%	81.5%
平成 20 年度 DPC 参加 病院	治癒	7.2%	5.9%	5.4%	4.7%	4.8%
	軽快	74.1%	75.1%	75.8%	76.8%	76.4%
	治癒+軽快	81.3%	80.9%	81.2%	81.5%	81.3%
平成 21 年度 DPC 参加	治癒	7.3%	5.0%	4.2%	4.0%	4.1%

病院	軽快	73.0%	75.4%	76.0%	76.6%	76.3%
	治癒+軽快	80.4%	80.4%	80.2%	80.6%	80.4%
平成 22 年度 DPC 参加病院	治癒	7.0%	4.4%	3.2%	2.6%	2.6%
	軽快	71.2%	73.8%	75.6%	75.9%	75.8%
	治癒+軽快	78.2%	78.2%	78.8%	78.6%	78.4%
平成 23 年度 DPC 参加病院	治癒	12.1%	5.9%	5.3%	4.3%	4.4%
	軽快	70.9%	72.0%	73.6%	74.6%	74.3%
	治癒+軽快	83.0%	77.9%	78.9%	78.9%	78.7%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	治癒	5.8%	3.5%	2.3%	2.1%	2.1%
	軽快	73.3%	73.9%	74.7%	74.0%	73.8%
	治癒+軽快	79.1%	77.4%	76.9%	76.1%	76.0%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	治癒	8.6%	6.6%	6.5%	4.6%	4.6%
	軽快	69.5%	69.9%	69.6%	71.0%	70.9%
	治癒+軽快	78.2%	76.5%	76.1%	75.6%	75.5%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	治癒		6.3%	5.4%	4.0%	3.9%
	軽快		72.7%	73.7%	75.2%	75.0%
	治癒+軽快		79.1%	79.1%	79.2%	78.9%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院	治癒			3.7%	3.2%	3.1%
	軽快			76.3%	76.9%	77.1%
	治癒+軽快			80.0%	80.1%	80.2%

病床規模		平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	治癒	6.7%	5.2%	4.1%	3.9%	3.9%
	軽快	73.1%	73.8%	74.3%	75.3%	74.8%
	治癒+軽快	79.8%	79.0%	78.4%	79.2%	78.7%
100 床以上 200 床未満	治癒	6.0%	4.0%	3.5%	3.0%	3.1%
	軽快	75.6%	77.0%	77.7%	78.6%	78.3%
	治癒+軽快	81.6%	81.1%	81.2%	81.6%	81.4%
200 床以上 300 床未満	治癒	6.1%	3.9%	3.2%	2.9%	3.0%
	軽快	74.5%	76.2%	76.9%	77.7%	77.5%
	治癒+軽快	80.6%	80.2%	80.1%	80.6%	80.4%
300 床以上 400 床未満	治癒	7.3%	5.9%	5.1%	4.8%	4.9%
	軽快	74.2%	75.5%	76.2%	76.7%	76.4%
	治癒+軽快	81.5%	81.4%	81.3%	81.5%	81.3%
400 床以上 500 床未満	治癒	8.4%	5.3%	5.3%	5.2%	5.3%
	軽快	72.6%	75.3%	75.1%	75.5%	75.2%
	治癒+軽快	81.0%	80.6%	80.4%	80.7%	80.5%
500 床以上	治癒	7.3%	6.2%	5.3%	4.8%	4.9%
	軽快	72.7%	73.3%	74.2%	74.7%	74.5%
	治癒+軽快	79.9%	79.6%	79.5%	79.5%	79.4%

【表3-6】患者構成

MDC	平成15年度DPC参加病院			平成16年度DPC参加病院			平成18年度DPC参加病院			平成20年度DPC参加病院		
	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)									
01	6.3%	6.4%	6.3%	6.4%	6.2%	6.1%	6.7%	6.6%	6.5%	6.4%	6.4%	6.3%
02	8.7%	8.7%	8.9%	4.0%	4.2%	4.3%	3.8%	3.7%	3.8%	4.5%	4.5%	4.6%
03	5.1%	5.2%	5.2%	3.8%	3.7%	3.8%	4.0%	3.9%	3.9%	4.0%	4.0%	4.0%
04	8.3%	8.4%	8.4%	12.1%	12.5%	12.5%	12.4%	12.7%	12.7%	12.8%	13.0%	13.1%
05	9.4%	9.5%	9.5%	10.5%	10.4%	10.5%	11.6%	11.6%	11.7%	10.2%	10.3%	10.4%
06	18.9%	19.0%	18.9%	22.5%	22.4%	22.4%	22.2%	22.4%	22.4%	22.4%	22.3%	22.3%
07	7.0%	6.8%	6.7%	5.1%	5.0%	5.0%	4.8%	4.7%	4.6%	4.8%	4.7%	4.6%
08	2.1%	2.2%	2.1%	1.6%	1.5%	1.5%	1.4%	1.4%	1.4%	1.5%	1.5%	1.5%
09	1.6%	1.6%	1.6%	1.3%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
10	3.8%	3.7%	3.7%	2.8%	2.8%	2.8%	3.0%	2.9%	2.9%	3.1%	3.1%	3.0%
11	7.5%	7.5%	7.5%	8.2%	8.2%	8.2%	8.0%	8.0%	8.0%	8.3%	8.2%	8.2%
12	8.9%	8.8%	8.9%	6.9%	6.9%	7.0%	6.7%	6.7%	6.7%	6.1%	6.0%	6.0%
13	3.0%	2.9%	2.8%	2.5%	2.5%	2.4%	2.4%	2.4%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
14	3.6%	3.6%	3.5%	2.2%	2.1%	2.1%	1.9%	1.9%	1.9%	2.0%	1.9%	1.9%
15	0.6%	0.6%	0.6%	1.6%	1.6%	1.7%	1.7%	1.5%	1.6%	1.7%	1.6%	1.8%
16	3.3%	3.4%	3.4%	6.5%	6.6%	6.5%	6.5%	6.7%	6.6%	7.0%	7.1%	7.0%
17	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
18	1.7%	1.8%	1.7%	2.0%	2.0%	2.0%	1.6%	1.7%	1.6%	1.7%	1.8%	1.7%

MDC	平成21年度DPC参加病院			平成22年度DPC参加病院			平成23年度DPC参加病院			平成18,19年度新規DPC準備病院		
	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)
01	6.7%	6.6%	6.5%	7.4%	7.3%	7.2%	5.4%	5.5%	5.4%	8.2%	8.5%	8.3%
02	4.1%	4.1%	4.2%	4.2%	4.2%	4.4%	3.7%	3.7%	3.8%	2.6%	2.8%	2.9%
03	3.5%	3.4%	3.5%	3.6%	3.4%	3.5%	3.8%	3.9%	3.9%	4.2%	3.9%	4.1%
04	12.7%	13.2%	13.2%	13.2%	13.9%	13.8%	13.9%	14.3%	14.3%	11.6%	12.2%	12.2%
05	10.2%	10.3%	10.4%	9.6%	9.7%	9.8%	9.5%	9.7%	9.8%	13.0%	13.1%	13.4%
06	23.6%	23.5%	23.5%	24.2%	24.1%	24.2%	23.5%	23.2%	23.2%	22.1%	21.7%	21.6%
07	4.7%	4.7%	4.6%	4.8%	4.8%	4.8%	4.6%	4.4%	4.4%	5.3%	5.4%	5.3%
08	1.4%	1.4%	1.4%	1.3%	1.3%	1.3%	2.0%	1.9%	1.9%	1.3%	1.2%	1.2%
09	1.1%	1.1%	1.1%	1.4%	1.4%	1.4%	1.9%	1.8%	1.8%	2.0%	2.0%	2.0%
10	3.0%	2.9%	2.9%	3.0%	2.9%	2.9%	2.8%	2.6%	2.6%	4.0%	4.0%	4.0%
11	7.6%	7.5%	7.5%	6.8%	6.6%	6.7%	7.5%	7.4%	7.4%	7.8%	7.5%	7.4%
12	6.1%	6.0%	6.0%	5.4%	5.2%	5.2%	7.8%	7.8%	7.8%	3.5%	3.6%	3.6%
13	2.1%	2.1%	2.0%	2.2%	2.3%	2.2%	1.6%	1.6%	1.6%	1.2%	1.4%	1.3%
14	2.0%	2.0%	2.0%	1.2%	1.2%	1.2%	2.5%	2.5%	2.5%	0.8%	0.6%	0.6%
15	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	2.2%	1.9%	2.0%	2.0%	1.9%	1.9%
16	7.3%	7.4%	7.3%	7.7%	7.8%	7.6%	5.9%	6.1%	5.9%	8.7%	8.6%	8.4%
17	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%
18	1.8%	1.8%	1.7%	1.8%	1.8%	1.8%	1.3%	1.6%	1.6%	1.4%	1.4%	1.4%

MDC	平成20年度新規DPC準備病院			平成21年度新規DPC準備病院			平成22年度新規DPC準備病院		
	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)
01	8.0%	7.9%	7.8%	8.3%	8.4%	8.1%	7.2%	7.2%	7.1%
02	2.3%	2.1%	2.2%	2.4%	2.7%	2.8%	3.8%	4.1%	4.2%
03	2.3%	2.3%	2.3%	2.6%	2.5%	2.6%	3.9%	3.9%	4.0%
04	9.0%	9.2%	9.1%	12.7%	13.0%	13.0%	13.6%	14.1%	14.1%
05	16.5%	16.5%	16.7%	12.8%	12.9%	13.0%	9.1%	9.2%	9.3%
06	27.7%	27.0%	27.3%	25.1%	24.4%	24.5%	23.1%	23.0%	23.0%
07	7.5%	7.8%	7.7%	4.8%	4.7%	4.7%	4.6%	4.9%	4.8%
08	0.9%	1.0%	1.0%	0.7%	0.9%	0.9%	1.3%	1.3%	1.3%
09	0.4%	0.4%	0.4%	0.6%	0.6%	0.6%	0.9%	1.0%	0.9%
10	3.8%	3.3%	3.3%	3.2%	3.0%	3.0%	3.5%	3.3%	3.3%
11	6.1%	6.3%	6.2%	5.3%	5.6%	5.5%	7.8%	7.4%	7.4%
12	1.0%	1.0%	1.0%	4.9%	4.8%	4.7%	5.3%	5.1%	5.2%
13	1.2%	1.5%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.9%	1.9%	1.8%
14	1.9%	1.9%	1.9%	1.3%	1.0%	1.1%	1.6%	1.7%	1.7%
15	2.0%	1.8%	1.8%	2.0%	1.8%	2.0%	2.2%	1.9%	2.0%
16	7.9%	8.4%	8.1%	10.2%	10.4%	10.2%	8.4%	8.3%	8.2%
17	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%
18	1.3%	1.4%	1.4%	1.4%	1.6%	1.7%	1.4%	1.5%	1.5%

MDC	100床未満			100床以上200床未満			200床以上300床未満		
	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)
01	12.8%	12.8%	12.7%	7.9%	7.8%	7.8%	6.5%	6.4%	6.3%
02	2.1%	2.2%	2.2%	3.7%	3.8%	4.0%	3.7%	3.8%	3.9%
03	3.0%	3.0%	3.1%	2.9%	2.8%	2.9%	3.3%	3.3%	3.4%
04	12.1%	12.6%	12.5%	12.5%	13.2%	13.1%	12.7%	13.4%	13.3%
05	10.8%	10.8%	10.9%	10.1%	10.2%	10.3%	11.0%	11.0%	11.1%
06	20.4%	20.0%	20.2%	25.3%	25.1%	25.2%	25.1%	25.0%	25.0%
07	8.4%	8.2%	8.3%	5.7%	5.7%	5.6%	4.4%	4.4%	4.3%
08	1.0%	1.0%	1.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	1.3%	1.3%
09	1.0%	1.0%	1.0%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%
10	4.1%	4.0%	4.0%	3.8%	3.6%	3.6%	3.0%	3.0%	3.0%
11	6.1%	6.1%	6.0%	6.8%	6.6%	6.6%	7.6%	7.6%	7.6%
12	1.7%	1.6%	1.7%	3.2%	3.1%	3.2%	4.7%	4.6%	4.6%
13	1.1%	1.1%	1.1%	1.6%	1.6%	1.6%	1.7%	1.8%	1.7%
14	0.4%	0.4%	0.4%	0.8%	0.8%	0.8%	1.8%	1.8%	1.8%
15	1.8%	1.7%	1.7%	2.0%	1.9%	2.0%	2.1%	1.9%	2.0%
16	11.4%	11.7%	11.4%	9.8%	9.9%	9.7%	7.9%	7.9%	7.7%
17	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%
18	1.2%	1.3%	1.3%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%

MDC	300床以上 400床未満			400床以上 500床未満			500床以上		
	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)	平成22年	平成23年	平成23年(12か月)
01	5.9%	5.8%	5.7%	6.1%	6.1%	6.0%	6.4%	6.4%	6.3%
02	3.8%	3.8%	3.9%	4.3%	4.4%	4.5%	6.0%	5.9%	6.1%
03	3.8%	3.7%	3.7%	4.1%	4.0%	4.1%	4.6%	4.5%	4.6%
04	13.1%	13.6%	13.6%	12.9%	13.1%	13.1%	10.9%	11.1%	11.1%
05	10.3%	10.4%	10.5%	10.7%	10.8%	11.0%	10.2%	10.2%	10.3%
06	23.4%	23.2%	23.2%	22.1%	22.1%	22.1%	20.5%	20.5%	20.5%
07	4.7%	4.6%	4.6%	4.2%	4.2%	4.2%	5.4%	5.3%	5.2%
08	1.4%	1.4%	1.4%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
09	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.5%	1.5%	1.5%
10	2.9%	2.9%	2.8%	2.8%	2.7%	2.7%	3.2%	3.1%	3.1%
11	8.5%	8.3%	8.3%	8.3%	8.2%	8.2%	7.7%	7.7%	7.7%
12	6.1%	6.1%	6.1%	7.3%	7.2%	7.2%	8.4%	8.3%	8.4%
13	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.9%	2.9%	2.8%
14	1.9%	2.0%	2.0%	2.1%	2.0%	2.0%	2.9%	2.8%	2.8%
15	1.9%	1.8%	1.9%	1.8%	1.7%	1.8%	1.2%	1.1%	1.2%
16	7.0%	7.1%	7.0%	6.2%	6.3%	6.2%	4.8%	5.0%	4.9%
17	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
18	1.7%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.7%	1.8%	1.7%

参考

MDC01	神経系疾患	MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
MDC02	眼科系疾患	MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
MDC04	呼吸器系疾患	MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
MDC05	循環器系疾患	MDC14	新生児疾患, 先天性奇形
MDC06	消化器系疾患, 肝臓・胆道・膵臓疾患	MDC15	小児疾患
MDC07	筋骨格系疾患	MDC16	外傷・熱傷・中毒
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	MDC17	精神疾患
MDC09	乳房の疾患	MDC18	その他

【表4-1】病床稼働率

病院類型	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年(6か月)	平成23年(12か月)
平成15年度DPC参加病院	81.0%	80.3%	80.0%	81.7%	81.6%	81.5%
平成16年度DPC参加病院	80.2%	80.0%	80.3%	82.1%	82.4%	82.8%
平成18年度DPC参加病院	82.2%	81.2%	82.0%	83.7%	83.6%	84.1%
平成20年度DPC参加病院	81.6%	78.9%	79.5%	81.8%	81.5%	82.0%
平成21年度DPC参加病院	78.3%	78.3%	76.4%	78.8%	79.2%	79.8%

平成 22 年度 DPC 参加病院	77.3%	77.9%	78.2%	79.1%	79.2%	79.9%
平成 23 年度 DPC 参加病院	79.8%	81.3%	78.4%	80.9%	77.4%	78.3%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	77.6%	77.4%	77.3%	79.7%	80.4%	81.0%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院		77.2%	78.8%	81.4%	79.6%	80.0%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院			79.8%	83.0%	81.3%	82.0%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院				80.1%	81.2%	81.8%

病床規模	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (6 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	82.5%	82.4%	81.6%	84.7%	83.6%	84.4%
100 床以上 200 床未満	77.7%	77.7%	77.3%	79.7%	79.9%	80.6%
200 床以上 300 床未満	77.4%	76.7%	76.1%	78.5%	78.7%	79.4%
300 床以上 400 床未満	79.6%	78.5%	78.4%	80.2%	80.2%	80.7%
400 床以上 500 床未満	80.4%	79.0%	78.4%	81.0%	80.9%	81.5%
500 床以上	82.4%	81.2%	81.0%	82.6%	82.5%	82.7%

【表 4-2】 後発医薬品の使用割合(金額ベース)

病院類型	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (4 か月)	平成 23 年 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	5.1%	5.6%	6.3%	6.8%	7.1%	7.2%
平成 16 年度 DPC 参加病院	10.0%	10.6%	11.9%	12.3%	12.9%	13.1%
平成 18 年度 DPC 参加病院	9.8%	10.6%	11.5%	12.4%	13.1%	13.4%
平成 20 年度 DPC 参加病院	5.1%	9.0%	11.7%	12.7%	13.3%	13.6%
平成 21 年度 DPC 参加病院	5.1%	5.4%	10.4%	12.5%	13.4%	13.7%
平成 22 年度 DPC 参加病院	4.8%	5.5%	5.6%	10.7%	13.4%	13.6%
平成 23 年度 DPC 参加病院	6.2%	5.1%	5.7%	5.9%	12.4%	12.6%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	5.7%	6.0%	6.1%	6.3%	6.3%	6.5%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院		6.0%	6.0%	6.1%	6.3%	6.4%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院			8.1%	7.9%	8.0%	8.4%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院				7.1%	7.6%	7.9%

病床規模	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年 (4 か月)	平成 23 年 (12 か月)
100 床未満	9.0%	9.8%	12.2%	12.9%	14.3%	14.9%
100 床以上 200 床未満	7.1%	8.0%	11.3%	13.1%	14.7%	15.2%
200 床以上 300 床未満	7.5%	8.9%	12.3%	13.6%	14.7%	15.1%
300 床以上 400 床未満	6.9%	8.1%	10.8%	12.1%	13.2%	13.4%
400 床以上 500 床未満	6.0%	7.5%	10.4%	12.3%	13.2%	13.4%
500 床以上	5.5%	6.5%	8.0%	8.9%	9.5%	9.6%

II 再入院、再転棟調査

1. 調査の目的

- 医療効率化の一つの指標として在院日数が用いられるが、在院日数の短縮が図られているなかで、提供されている医療サービスが低下していないかどうかを再入院(再転棟)の頻度やその理由を指標として検証する。

2. 調査方法

(1) 調査方法

- 平成 23 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査実施期間中に収集されたデータのうち 7 月から 10 月の退院患者データから下記条件で調査対象症例データを抽出した。この症例について、医療機関に再入院又は再転棟の理由調査を依頼した。
- 平成 23 年度分について調査を実施し、平成 22 年度までに実施したデータと共に、平成 21 年度から平成 23 年度の 3 年間の変化等を取りまとめた。

再入院調査

- ① 4 月 1 日以降入院、退院日が 7 月 1 日から 10 月 31 日の患者
- ② データ識別番号の重複があり、前回入院から 6 週間以内に再入院があった場合を再入院ありと判定した
- ③ 一般病棟入院ありの患者を集計対象とした
- ④ 前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類番号の上 6 桁が一致した場合は同一疾患、不一致の場合は異なる疾患として、両者の再入院率を集計した

再転棟調査

- ① 4 月 1 日以降入院、退院日又は転棟日が 7 月 1 日から 10 月 31 日の患者
- ② 1 入院内で一般病棟からその他の病棟へ転棟し、さらに一般病棟へ再転棟した患者
- ③ 一般病棟への入院があり、様式 1 の子様式が少なくとも 1 レコード以上

作成されている患者

- ④ 前回一般病棟入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回一般病棟入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類番号の上 6 桁が一致した場合は同一疾患、不一致の場合は異なる疾患として、両者の再転棟率を集計した

(2) 平成 23 年度の調査対象病院及び調査の回収率等

① 再入院調査

- DPC 対象病院 1,447 病院と DPC 準備病院 187 病院の計 1,634 病院。今回の施設類型別分析の対象は、平成 23 年度 DPC 対象病院と平成 21 年度から 3 年度分のデータが揃っている DPC 準備病院(1,576 病院のみ)とした。
- 全ての病院を含めた再入院率は 11.5%(370,803 / 3,217,621 症例)であり、平成 23 年度 DPC 対象病院のみ(1,447 病院のみ)に限ると、同じく 11.5%(354,164 / 3,067,711 症例)であった。
- 再入院の理由について回答率は 99.99%(370,764 / 370,803 症例)であった。

② 再転棟調査

- DPC 対象病院 581 病院と DPC 準備病院 87 病院の計 668 病院を対象に調査した(再転棟症例が発生した施設のみ調査を実施)。
- 全ての病院を含めた再転棟率は 0.08%(2,480 / 3,217,621 症例)であり、平成 21 年度から 3 年度分のデータが揃っている施設のみ再転棟率は 0.07%(2,336 / 3,157,007 症例)であった。
- 再転棟の理由について回答率は 99.9%(2,478 / 2,480 症例)であった。

(3) 調査票

- 調査対象症例毎に基本情報を記載した調査票とデータ入力用のエクセルシートを送付して、医療機関における調査の負荷軽減を図るとともに提出データ形式の統一を図った。

3. 結果概要

(1) 再入院に係る調査

再入院について下記の 18 項目で制度参加年度別・病床規模別・年度別に集計を行った。

① 年度別集計
② 前回退院時医療資源病名との関係別、再入院理由別集計
③(②の内訳) 計画的再入院における理由別集計
⑥(③の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の集計(MDC別)
⑦(③の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の集計(上位15傷病名抽出)
④(②の内訳) 予期された再入院における理由別集計
⑤(②の内訳) 予期せぬ再入院における理由別集計
⑨(⑤の一部) 新たな他疾患発症のため予期せぬ再入院となった患者の集計(MDC別)
⑩(⑤の一部) 新たな他疾患発症のため予期せぬ再入院となった患者の集計(上位15傷病名抽出)
⑧(②の一部) 前回退院時医療資源病名との関係別、再入院理由別集計(計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者を除く。)
⑪ 再入院までの期間別集計
⑫(⑪の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の再入院までの期間別集計
⑬(⑪の一部) 計画的な手術等を目的とした患者の再入院までの期間別集計
⑭(⑬の詳細) 計画的な手術等を目的とした患者の再入院までの期間別集計(MDC別)
⑮(⑬の詳細) 計画的な手術等を目的とした患者の再入院までの期間別集計(上位15傷病名抽出)
⑯(⑪の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の再入院までの期間別集計(再入院回数別)
[その他]
⑰ 1患者あたりの再入院回数集計
⑱ 再入院の直前の患者の居場所の集計

(2) 再転棟に係る調査

再転棟について下記の7項目で制度参加年度別・病床規模別・年度別に集計を行った。

① 年度別集計
② 前回退院時医療資源病名との関係別、再転棟理由別集計
③(②の内訳) 計画的再転棟における理由別集計
④(②の内訳) 予期された再転棟における理由別集計
⑤(②の内訳) 予期せぬ再転棟における理由別集計
⑥ MDC(主要診断群)別集計
⑦ 再転棟までの期間別集計

<参考:再入院、再転棟調査結果の概略(現時点での集計結果のまとめ)>

1. 再入院に係る調査

(1) 年度別集計(全体像)について

① 年度別・再入院率(図表 2-①)

施設類型別では、増加傾向を認めるのは平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 22 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院、DPC 準備病院である。平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 20 年度 DPC 参加病院は平成 21 年度から 22 年度にかけて減少したが、平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められた。

また、病床規模別では、200 床以上の病床規模別グループでは平成 22 年度から 23 年度にかけて再入院率の増加が認められた。200 床未満の病床規模では平成 22 年度から 23 年度にかけて減少が認められた。

(2) 前回退院時医療資源病名との関係別、再入院の理由別集計について

② 前回入院と今回入院の病名同異別・再入院事由別割合(図表 2-②)

同一病名計画的再入院の割合がどの施設類型においても最も大きい。同一病名計画的再入院の比率は平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 22 年度 DPC 参加病院は平成 21 年度から 22 年度にかけて減少したが、平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められた。

また、病床規模別においても同一病名計画的再入院の割合が最も多い。同一病名計画的再入院の比率は 200 床以上の病床規模では平成 21 年度から 22 年度にかけて減少したが、平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められた。100 床未満では平成 22 年度から 23 年度にかけて減少が認められた。

【以下③から⑤は②の一部分を詳しく集計したもの】

③ 計画的再入院における理由の内訳(図表 2-③)

制度参加年度別では、前年度で調査票設計が変更されたことにより、全ての施設類型において平成 22 年度は「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」「その他」で増加が認められたが、平成 23 年度は「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」では、平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 21 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院において僅かながら増加が認められ、「その他」では全施設類型において増加が認められた。

最も比率の大きい「計画的な化学療法のため」では、平成 22 年度から 23 年度にかけて平成 20 年度 DPC 参加病院、平成 21 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院以外は増加が認められた。

また、全ての病床規模において平成 22 年度は「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」「その他」で増加が認められたが、平成 23 年度は「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」では、400 床以上 500 床未満、300 床以上 400 床未満において増加が認められ、それ以外の病床規模別では減少が認められた。「その他」の理由では 100 床未満以外の病床規模において平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められた。

全病床規模で最も比率の大きい「計画的な化学療法のため」では、200 床以上の病床規模において平成 22 年度から 23 年度にかけて比率の増加が認められた。

④ 予期された再入院における理由の内訳(図表 2-④)

制度参加年度別では、最も比率の大きい「予期された原疾患の悪化、再発のため」では、平成 22 年度から 23 年度にかけて、平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 20 年度 DPC 参加病院、平成 21 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院において増加が認められ、それ以外の施設類型は減少または変化は認められない。

また、施設規模別では、全病床規模で最も比率の大きい「予期された原疾患の悪化、再発のため」では、平成 22 年度から 23 年度にかけて、400 床以上の病床規模において比率の減少が認められ、400 床未満の病床規模では増加が認められた。

⑤ 予期せぬ再入院における理由の内訳(図表 2-⑤)

制度参加年度別では、予期せぬ再入院は平成 22 年度から 23 年度にかけて、平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院以外では減少が認められた。

減少が認められた施設類型では「予期せぬ原疾患の悪化、再発のため」においても減少が認められた。

最も比率の大きい「新たな他疾患発症のため」では平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 20 年度 DPC 参加病院、平成 22 年度 DPC 参加病院、DPC 準備病院において平成 22 年度から減少が認められた。

また、病床規模別では、平成 22 年度から 23 年度にかけて、400 床未満の病床規模において減少が認められた。

全ての病床規模の中で最も比率の大きい「新たな他疾患発症のため」では 500 床以上、400 床以上 500 床未満、100 床以上 200 床未満では増加が認められ、200 床以上 300 床未満、100 床未満では平成 22 年度から 23 年度にかけて減少が認められた。

次に比率の大きい「予期せぬ原疾患の悪化、再発のため」では 400 床以上 500 床未満、100 床未満以外の病床規模で平成 22 年度から 23 年度にかけて減少が認められた。

【以下⑥、⑦は③の一部分を詳しく集計したもの】

⑥ 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例の MDC 別割合(図表 2-⑥)

制度参加年度別で MDC 別に見ると、平成 15 年度 DPC 参加病院を除く病院では「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」の割合が最も大きく、平成 15 年度 DPC 参加病院では「MDC12(女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩)」の割合が最も大きい。

「MDC06」は平成 22 年度から 23 年度にかけて、平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 22 年度 DPC 参加病院、DPC 準備病院において増加が認められた。

平成 15 年度 DPC 参加病院は、他の施設類型と比較して「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の再入院比率が高く、「MDC01(神経系疾患)」、「MDC02(眼科系疾患)」、「MDC03(耳鼻咽喉科系疾患)」、「MDC08(皮膚・皮下組織の疾患)」そして「MDC10(内分泌・栄養・代謝に関する疾患)」などの症例数、比率、割合は小さいものの、これらの疾患の比率、割合ともに他の施設類型に比べて大きいといえる。平成 15 年度 DPC 参加病院は他の施設類型と比較して、多様な疾患を対象としている特徴が伺える。

また、病床規模別で MDC 別に見ると、「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」が全ての病床規模で最も比率が大きい。「MDC06」は平成 22 年度から 23 年度にかけて、200 床以上の病床規模において比率の増加が認められた。

⑦ 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例の疾患名別(上位 15 疾患)割合(図表 2-

⑦)

制度参加年度別では上位 15 疾患で施設類型別に内訳を見ると、「肺の悪性腫瘍(040040)」は平成 22 年度から 23 年度にかけて平成 20 年度 DPC 参加病院と平成 23 年度 DPC 参加病院以外は増加が認められた。

「大腸(上行結腸から S 状結腸)の悪性腫瘍(060035)」は平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 22 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院、DPC 準備病院で平成 22 年度から増加が認められた。

「直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍(060040)」は平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 22 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院で平成 22 年度から増加が認められた。

平成 15 年度 DPC 参加病院では他の施設類型と比較して多様な疾患を対象としている特徴が伺える。「食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)(060010)」、「膀胱腫瘍(110070)」、「急性白血病(130010)」、「前立腺の悪性腫瘍(110080)」は症例数、比率、割合は小さいものの、これらの疾患の比率、割合ともに他の施設類型に比べて大きいといえる。

また、病床規模別で上位 15 疾患の内訳を見ると、「肺の悪性腫瘍(040040)」は平成 22 年度から 23 年度にかけて 400 床以上 500 床未満、200 床未満の病床規模において減少が認められ、それ以外の病床規模では増加が認められた。

「大腸(上行結腸から S 状結腸)の悪性腫瘍(060035)」の比率は 400 床以上 500 床未満、300 床以上 400 床未満、100 床以上 200 床未満、100 床未満、で平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められた。

「直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍(060040)」は 400 床以上 500 床未満、200 床以上 300 床未満で平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められ、200 床未満の病床規模では減少が認められた。

【以下⑧は全体から⑥(⑦)を差し引いて集計したもの】

⑧ 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」を除いた前回入院と今回入院の病名同異別・再入院事由別割合(図表 2-⑧)

制度参加年度別では、「異なる病名の計画的再入院比率」が全ての施設類型において平成 22 年度から 23 年度にかけて僅かに増加傾向にある。それ以外の区分に明らかな傾向を認めない。

また、病床規模別では、200 床以上の病床規模では平成 22 年度から 23

年度にかけて僅かに増加している。100 床未満では僅かではあるが平成 21 年度から 23 年度にかけて減少傾向が認められた。

【以下⑨、⑩は⑤の一部分を詳しく集計したもの】

- ⑨ 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例の MDC 別割合(図表 2-⑨)

制度参加年度別では、予期せぬ再入院の「新たな他疾患発症のため」の理由の比率は平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院においては経年的に増加傾向が認められ、それ以外の施設類型では平成 22 年度から 23 年度にかけて比率の減少が認められた。各施設類型において比率の大きい「MDC04(呼吸器系疾患)」では、平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 20 年度 DPC 参加病院以外で平成 21 年度から経年的に増加傾向が認められ、同じく比率の大きい「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」では、15 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院以外は平成 22 年度から 23 年度にかけて比率の減少が認められた。

また、病床規模別では、各病床規模において比率の大きい「MDC04(呼吸器系疾患)」では、100 床以上の病床規模で経年的な「増加傾向が認められた。同じく比率の大きい「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」では、200 床以上 500 床未満、100 床未満の病床規模において平成 22 年度から 23 年度にかけて比率の減少が認められた。

- ⑩ 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例の疾患名別(上位 15 疾患)割合(図表 2-⑩)

制度参加年度別で上位 15 疾患で見ると、各施設類型で最も比率の大きい疾患は「肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(040080)」であり、平成 16 年度 DPC 参加病院以外で平成 21 年度から経年的に比率の増加が認められた。

また、病床規模別で上位 15 疾患で見ると、各病床規模で最も比率の大きい疾患は「肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(040080)」であり、100 床以上の病床規模で平成 21 年度から 23 年度にかけて比率の増加傾向が認められた。

(3)再入院までの期間別集計について

⑪ 前回再入院からの期間別割合(図表 2-⑪)

制度参加年度別では、「3 日以内比率」に大きな変化は無い。「4 日～7 日以内比率」では平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院で平成 22 年度から 23 年度にかけて僅かに増加が認められた。「8 日～14 日以内比率」では平成 21 年度 DPC 参加病院以外で平成 22 年度から 23 年度にかけて僅かに増加が認められ、「15 日～28 日以内比率」では平成 23 年度 DPC 参加病院以外で平成 22 年度から 23 年度にかけて増加が認められた。

また、病床規模別では、「3 日以内比率」は、どの病床規模においても大きな変化は無い。「8 日～14 日以内比率」では 300 床以上の病床規模で平成 22 年度から 23 年度にかけて僅かに増加が認められた。「15 日～42 日以内比率」では 200 床以上の病床規模で平成 22 年度から 23 年度にかけて僅かに比率の増加が認められた。

【以下⑫から⑬は⑪の一部分を詳しく集計したもの】

⑫ 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の期間別割合(図表 2-⑫)

制度参加年度別では、DPC 準備病院では 4 日以上期間の再入院比率において経年的に増加傾向が認められた。それ以外の施設類型では経年変化で全体を通じて明らかな傾向を認めない。平成 15 年度 DPC 参加病院は計画的な化学療法・放射線療法を理由に再入院している割合が他の施設類型よりも多い。

また、病床規模別では、平成 22 年度から 23 年度にかけて、「4 日～7 日以内比率」では 300 床以上 400 床未満以外は僅かに減少が認められた。「8 日～14 日以内比率」では 100 床以上 300 床未満以外は僅かに増加が認められた。「15 日～28 日以内比率」では 200 床以上で増加が認められた。「29 日～42 日以内比率」では、200 床以上 300 床未満以外は減少が認められた。

⑬ 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別割合(図表 2-⑬)

制度参加年度別では、平成 22 年度からの変化を見ると平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院において 4 日以上期間において増加傾向がある。平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 20 年度 DPC 参加病院で

は4日以上の期間において平成22年度から23年度にかけて減少傾向がある。他の施設類型では特に大きな変化は認められない。

また、病床規模別では、平成22年度から23年度にかけて、「4日～7日以内比率」では100床未満以外は減少が認められた。「8日～14日以内比率」は300床以上400床未満以外は減少が認められた。「15日～28日以内比率」では300床以上500床未満、100床以上200床未満以外は減少が認められた。

⑭ ⑬の集計を MDC 別割合(図表 2-⑭)とした場合

制度参加年度別では、どの施設類型においても割合の大きな MDC は「MDC05(循環器系疾患)」「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」である。平成22年度と比較すると「MDC05」では平成15年度 DPC 参加病院、平成16年度 DPC 参加病院、平成20年度 DPC 参加病院において僅かに減少が認められ、それ以外の施設類型では僅かに増加が見られる。「MDC06」では平成15年度 DPC 参加病院、平成20年度 DPC 参加病院、平成22年度 DPC 参加病院以外で増加が認められた。

また、病床規模別では、100床以上の病床規模で割合の大きな MDC は「MDC05(循環器系疾患)」「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」である。「MDC05」では平成22年度から23年度にかけて400床以上500床未満に僅かな増加が認められ、それ以外の病床規模では減少又は変化なしである。

100床未満では「MDC07(筋骨格系疾患)」の割合が最も大きい。

⑮ ⑬の集計を 疾患名別(上位 15 疾患)割合(図表 2-⑮)とした場合

制度参加年度別で上位15疾患別の割合で最も比率の大きかったのは各施設類型において「狭心症、慢性虚血性心疾患(050050)」であった。「狭心症、慢性虚血性心疾患」において平成23年度 DPC 参加病院では平成22年度から23年度にかけて比率の増加が認められた。平成15年度 DPC 参加病院、平成16年度 DPC 参加病院、平成20年度 DPC 参加病院では平成22年度から23年度にかけて減少が認められ、他の施設類型では平成22年度から大きな差は認められなかった。

また、病床規模別で上位15疾患別の割合で比率の大きかったものは「狭心症、慢性虚血性心疾患(050050)」であった。「狭心症、慢性虚血性心疾患」において400床以上500床未満以外の病床規模では平成22年度から

23 年度にかけて比率の減少が認められた。

⑩ 同一病名で「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の再入院回数別在院日数(図表 2-⑩)

制度参加年度別では全ての施設類型において 1 回目の化学療法の在院日数が長い。また、全ての施設類型において平成 23 年度の 2 回目から 3 回目にかけての在院日数において僅かに増加が認められた。

また、全ての病床規模において 1 回目の化学療法の在院日数が長い。また、全ての病床規模において平成 23 年度の 2 回目から 3 回目にかけての在院日数において僅かに増加が認められた。

(4) その他の集計について

⑪ 1 患者あたりの再入院回数(退院症例数／実患者数)(図表 2-⑪)

制度参加年度別では、DPC 準備病院で平成 21 年度から 23 年度にかけて増加傾向が認められたが、他の施設類型では明らかな増加傾向は認められない。

また、病床規模別では、100 床未満では平成 21 年度から 23 年度にかけて僅かな減少傾向が認められたが、他の病床規模では明らかな傾向は認められない。

⑫ 今回入院直前の患者の居所(図表 2-⑫)

制度参加年度別では全ての施設類型・年度において「自宅」の割合が大半を占める。平成 15 年度 DPC 参加病院では他の施設類型と比較すると、「医療機関」、「介護施設」からの入院の割合が少なく、特に「介護施設」からの入院は他と比べて際立って少ない。DPC 準備病院は「医療機関」、「介護施設」の割合が他の施設類型よりも多かった。全ての施設類型において平成 22 年度から 23 年度にかけての割合に大きな変化はなかった。

また、全ての病床規模・年度において「自宅」の割合が大半を占める。病床規模が大きくなるにつれて「医療機関」、「介護施設」からの入院の割合が少なくなり、特に「介護施設」からの入院は病床規模が大きいと小さい場合と比べて際立って比率が小さい。

100 床未満では平成 22 年度から 23 年度にかけて「医療機関」、「介護施設」の割合の増加が認められた。それ以外の病床規模では割合の変化はほとんどなかった。

2. 再転棟に係る調査

① 年度別・再転棟率(図表 4-①)

制度参加年度別ではDPC準備病院の再転棟率が高く、平成22年度DPC参加病院では平成21年度から23年度にかけて増加傾向が認められた。

また、病床規模別では、100床未満の再転棟率が特に高い。200床以上300床未満、100床未満の病床規模において平成22年度から23年度にかけて増加が認められた。

② 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別割合(図表 4-②)

制度参加年度別では平成15年度DPC参加病院、平成20年度DPC参加病院以外は「異なる病名による予期せぬ再転棟比率」が平成22年度から23年度にかけて増加している。

また、病床規模別では、平成22年度から23年度にかけて再転棟率が増加した200床以上300床未満と100床未満の内訳をみると、「前回一般病棟と異なる病名」の理由による再転棟比率の増加が認められた。

【以下③から⑤は②の一部分を詳しく集計したもの】

③ 計画的再転棟における理由の内訳(図表 4-③)

制度参加年度別では、平成23年度の計画的再転棟のうち大半を占める理由は、「計画的手術・処置・検査のため」であった。平成20年度DPC参加病院、平成21年度DPC参加病院、平成22年度DPC参加病院で平成22年度から23年度にかけて増加しているが、その他の施設類型では比率に減少が認められた。

また、病床規模別では、平成23年度の計画的再転棟において大半を占める理由は、「計画的手術・処置・検査のため」であった。「計画的手術・処置・検査のため」において300床未満の病床規模で平成22年度から23年度にかけて増加が認められた。

④ 予期された再転棟における理由の内訳(図表 4-④)

制度参加年度別では、予期された再転棟は、特にDPC準備病院において平成21年度から減少傾向が認められた。

また、病床規模別では、予期された再転棟で最も割合が大きい理由は「予期された原疾患の悪化、再発のため」である。再転棟症例数の多い200床未満の病床規模では「予期された原疾患の悪化、再発のため」において平成22年度から23年度にかけて増加が認められた。

⑤ 予期せぬ再転棟における理由の内訳(図表 4-⑤)

制度参加年度別では、予期せぬ再転棟においては「新たな他疾患発症のため」が理由の大部分を占めている。それ以外の理由について明らかな傾向を認めない。

また、病床規模別では、予期せぬ再転棟で最も割合が大きい理由は「新たな他疾患発症のため」である。「新たな他疾患発症のため」において100床以上200床未満の病床規模で平成22年度から23年度にかけて僅かに比率の減少が認められ、100床未満では変化がなかった。

100床未満の平成23年度において、「予期せぬ原疾患の悪化、再発のため」が減少し、「予期せぬ併存症の悪化のため」の割合に増加が認められた。

⑥ MDC 別割合(図表 4-⑥)

制度参加年度別では、他の施設類型と比較し、再転棟比率の大きいDPC準備病院において平成23年度の比率の大きいMDCは「MDC01(神経系疾患)」、「MDC04(呼吸器系疾患)」、「MDC05(循環器系疾患)」、「MDC16(外傷・熱傷・中毒)」であった。

また、病床規模別では、200床未満の病床規模で平成23年度の比率の大きいMDCは「MDC01(神経系疾患)」、「MDC04(呼吸器系疾患)」、「MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患)」、「MDC07(筋骨格系疾患)」、「MDC16(外傷・熱傷・中毒)」等であった。

⑦ 前回一般病棟から今回一般病棟への転棟期間別割合(図表 4-⑦)

制度参加年度別では、「3日以内比率」は平成15年度DPC参加病院、平成23年度DPC参加病院以外は減少傾向にあり、29日以上の再転棟比率は全ての施設類型において平成22年度から23年度にかけて増加が認められた。

また、病床規模別では、200床未満の病床規模でみると「3日以内比率」は平成21年度から23年度にかけて減少傾向が認められた。「29日以上比率」は平成21年度から23年度にかけて増加傾向が認められた。

3. その他(医療機関別集計値について)

○医療機関別再入院率

再入院率は医療機関によりかなりのばらつきが見られた。全ての医療機関の中で最も再入院率が高かった医療機関が43.5%であった。一方、最も低かった医療機関は0.5%であった。(平成22年度は最高:43.7%、最低:0.7%)再入院率が20%を超えた医療機関はDPC対象病院で38医療機関、DPC準備病院で6医療機関、計44医療機関であった。(平成22年度はDPC対象病院で33医療機関、DPC準備病院で9医療機関、計42医療機関)

○医療機関別再転棟率

再転棟率においても医療機関によりばらつきが見られた。全ての医療機関の中で最も再転棟率が高かった医療機関が9.82%であった。一方、最も低かった医療機関は0.01%(再転棟がない施設を除く)であった。(平成22年度は最高:3.72%、最低:0.01%(再転棟がない施設を除く))再転棟率が1%を超えた医療機関はDPC対象病院で59医療機関、DPC準備病院で29医療機関、計88医療機関であった。(平成22年度はDPC対象病院で46医療機関、DPC準備病院で31医療機関、計77医療機関)

集計結果について

制度参加年度別

再入院に係る調査

- 平成 23 年度調査対象医療機関数及び分析データ数年次推移
- 年度別・再入院率
- 前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率
- 前回入院と今回入院の病名同異別・再入院事由割合
- 計画的再入院における理由の内訳（退院症例に対する再入院症例数比率）
- 予期された再入院における理由の内訳（退院症例に対する再入院症例数比率）
- 予期せぬ再入院における理由の内訳（退院症例に対する再入院症例数比率）
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例の MDC 別・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例の MDC 別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」を除いた前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例の MDC 別・退院症例に対する再入院比率
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した症例の MDC 別・再入院割合
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・退院症例に対する再入院比率
- 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・再入院割合
- 前回再入院からの期間別・退院症例に対する再入院比率
- 前回再入院からの期間別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の期間別・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の期間別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別・退院症例に対する再入院比率

- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例の MDC 別・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例の MDC 別・再入院割合
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・退院症例に対する再入院比率
- 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別（上位 15 疾患）・再入院割合
- 同一病名で「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の再入院回数別在院日数
- 1 患者あたりの再入院回数（退院症例数／実患者数）
- 今回入院直前の患者の居所

再転棟に係る調査

- 平成 23 年度調査対象医療機関数及び分析データ数
- 年度別・再転棟率
- 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・退院症例に対する再転棟事由比率
- 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・再転棟事由割合
- 計画的再転棟における理由の内訳（退院症例に対する再転棟数比率）
- 予期された再転棟における理由の内訳（退院症例に対する再転棟数比率）
- 予期せぬ再転棟における理由の内訳（退院症例に対する再転棟数比率）
- MDC 別・退院症例に対する再転棟比率
- MDC 別・再転棟割合
- 前回一般病棟から今回一般病棟への転棟期間別・退院症例に対する再転棟比率

図表1 平成23年度調査対象医療機関数及び分析データ数年次推移

再入院に係る調査

...平成23年度調査データ

1.調査対象病院数と回答病院数

施設類型	平成23年度 DPC調査 対象病院数	再入院調査対象病院数(A)			再入院調査回答病院数(B)			再入院調査回答病院率(B/A)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	82	82	82	82	82	82	82	100.0%	100.0%	100.0%
平成16年度DPC参加病院	62	62	62	62	62	62	62	100.0%	100.0%	100.0%
平成18年度DPC参加病院	215	215	215	215	215	215	215	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度DPC参加病院	354	354	354	354	354	354	354	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度DPC参加病院	565	565	565	565	565	565	565	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度DPC参加病院	110	110	110	110	110	110	110	100.0%	100.0%	100.0%
平成23年度DPC参加病院	59	59	59	59	59	59	59	100.0%	100.0%	100.0%
平成18,19年度新規DPC準備病院	68	68	68	68	68	68	68	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度新規DPC準備病院	37	37	37	37	37	37	37	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度新規DPC準備病院	24	24	24	24	24	24	24	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度新規DPC準備病院	58	58	58	58	58	58	58	100.0%	100.0%	100.0%
総計	1,634	1,576	1,634	1,634	1,576	1,634	1,634	100.0%	100.0%	100.0%

2.症例数と回答症例数

施設類型	平成23年度 DPC調査 対象病院数	退院症例数(C)			再入院症例数(D) ^{※1}			回答症例数(E)			回答症例率(E/D)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	82	390,658	404,829	409,808	48,502	51,290	52,300	48,496	51,275	52,294	99.99%	99.97%	99.99%
平成16年度DPC参加病院	62	151,040	153,779	154,960	17,377	17,324	17,992	17,376	17,323	17,990	99.99%	99.99%	99.99%
平成18年度DPC参加病院	215	595,186	608,500	618,420	66,931	67,358	70,120	66,918	67,347	70,113	99.98%	99.98%	99.99%
平成20年度DPC参加病院	354	709,144	727,320	735,909	80,181	80,443	82,357	80,164	80,432	82,341	99.98%	99.99%	99.98%
平成21年度DPC参加病院	565	881,494	904,457	915,240	99,734	102,639	103,652	99,716	102,632	103,647	99.98%	99.99%	100.00%
平成22年度DPC参加病院	110	142,768	148,239	149,529	16,724	17,529	17,883	16,724	17,529	17,880	100.00%	100.00%	99.98%
平成23年度DPC参加病院	59	79,131	82,246	83,845	8,939	9,487	9,860	8,939	9,487	9,860	100.00%	100.00%	100.00%
平成18,19年度新規DPC準備病院	68	47,585	49,381	49,374	4,669	5,301	5,509	4,669	5,300	5,509	100.00%	99.98%	100.00%
平成20年度新規DPC準備病院	37	22,156	22,522	23,026	2,297	2,530	2,574	2,297	2,530	2,574	100.00%	100.00%	100.00%
平成21年度新規DPC準備病院	24	16,282	16,406	16,896	1,421	1,412	1,603	1,421	1,412	1,603	100.00%	100.00%	100.00%
平成22年度新規DPC準備病院	58	60,068	60,614	60,614	6,625	6,953	6,953	6,625	6,953	6,953	100.00%	100.00%	100.00%
総計	1,634	3,035,444	3,177,747	3,217,621	346,775	361,938	370,803	346,720	361,892	370,764	99.98%	99.99%	99.99%

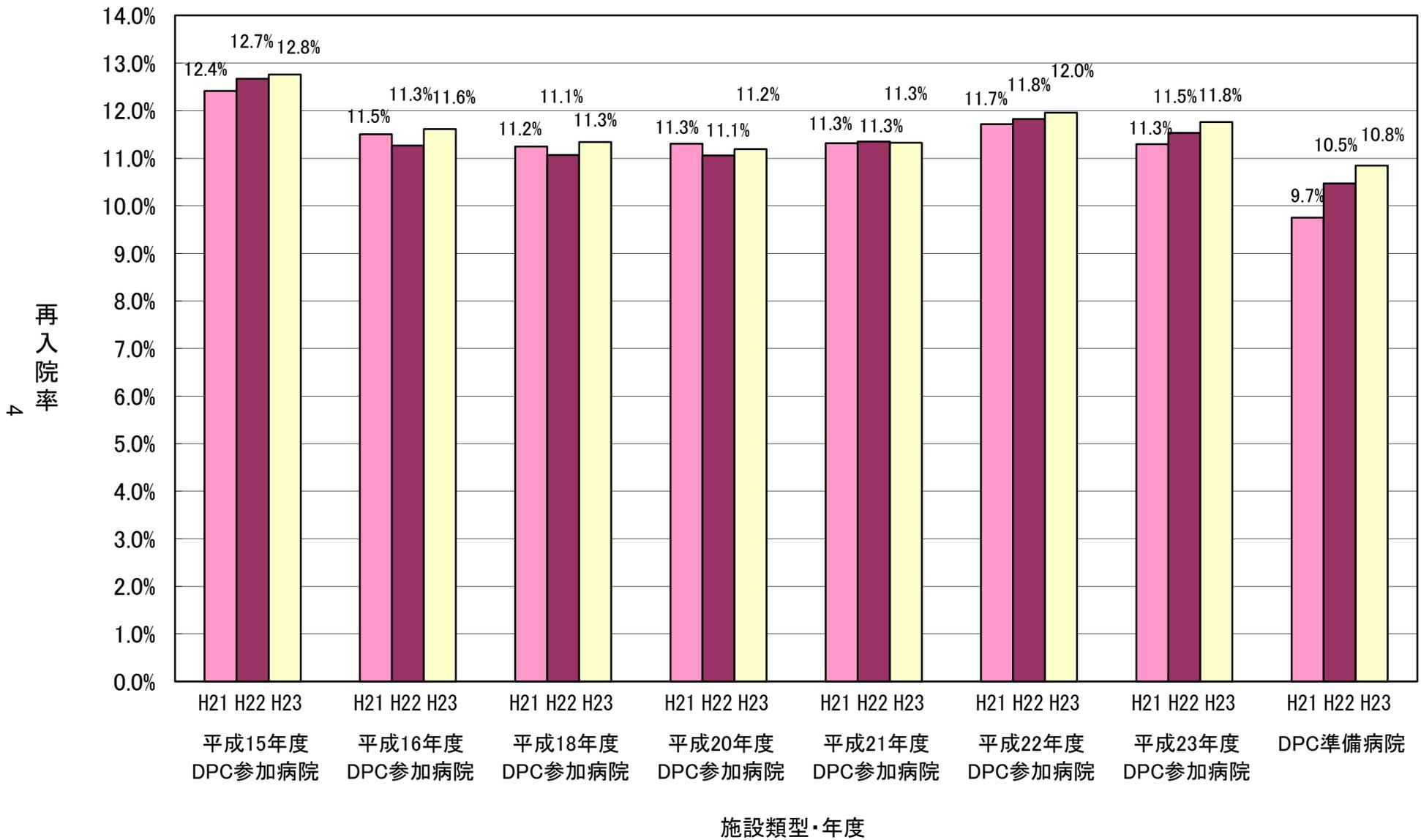
3.施設類型別 再入院率

施設類型	平成23年度 施設類型別 病院数	再入院率(D/C)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	82	12.4%	12.7%	12.8%
平成16年度DPC参加病院	62	11.5%	11.3%	11.6%
平成18年度DPC参加病院	215	11.2%	11.1%	11.3%
平成20年度DPC参加病院	354	11.3%	11.1%	11.2%
平成21年度DPC参加病院	565	11.3%	11.3%	11.3%
平成22年度DPC参加病院	110	11.7%	11.8%	12.0%
平成23年度DPC参加病院	59	11.3%	11.5%	11.8%
DPC準備病院 ^{※2}	129	9.7%	10.5%	10.8%
総計	1,576	11.4%	11.4%	11.5%

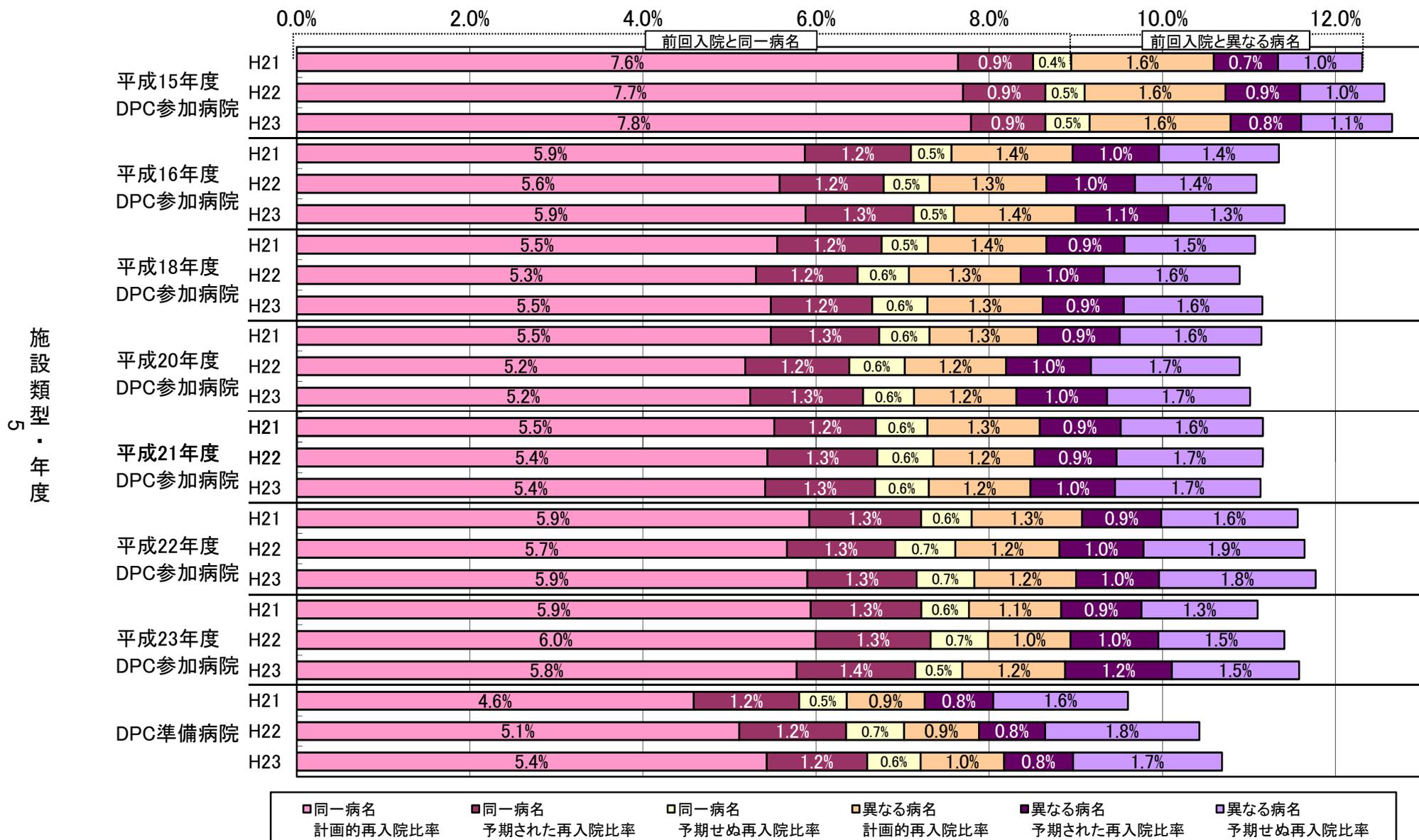
※1.再入院症例数は12月末時点で医療機関から提出された7月～10月データにクリーニング処理を施した後、一般病棟入院有の患者を集計対象とした症例数である

※2.DPC準備病院は3年度分のデータが全て揃っている医療機関を対象とする

図表2-① 年度別・再入院率

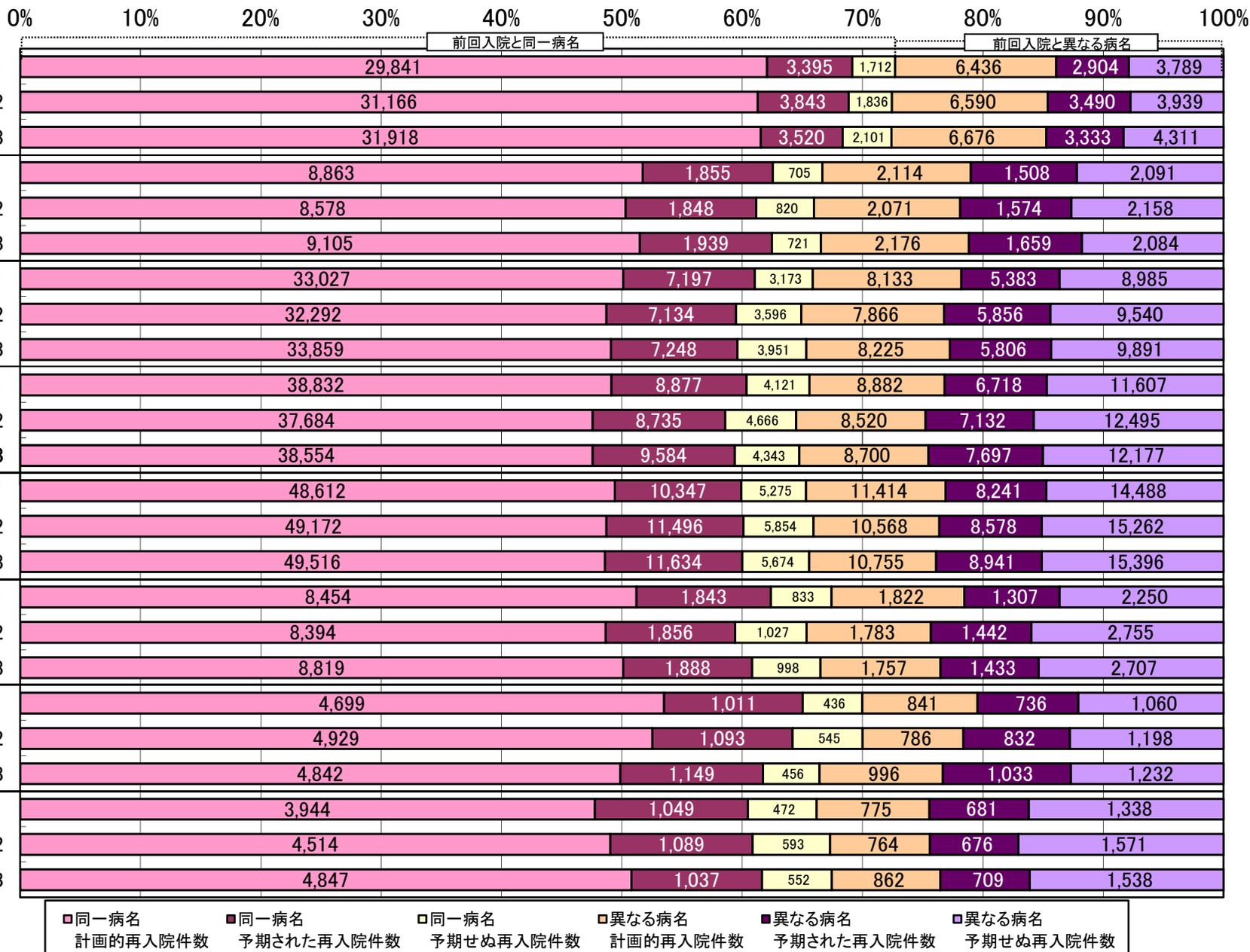


図表2-②-1 前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率



※病名の同異は前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

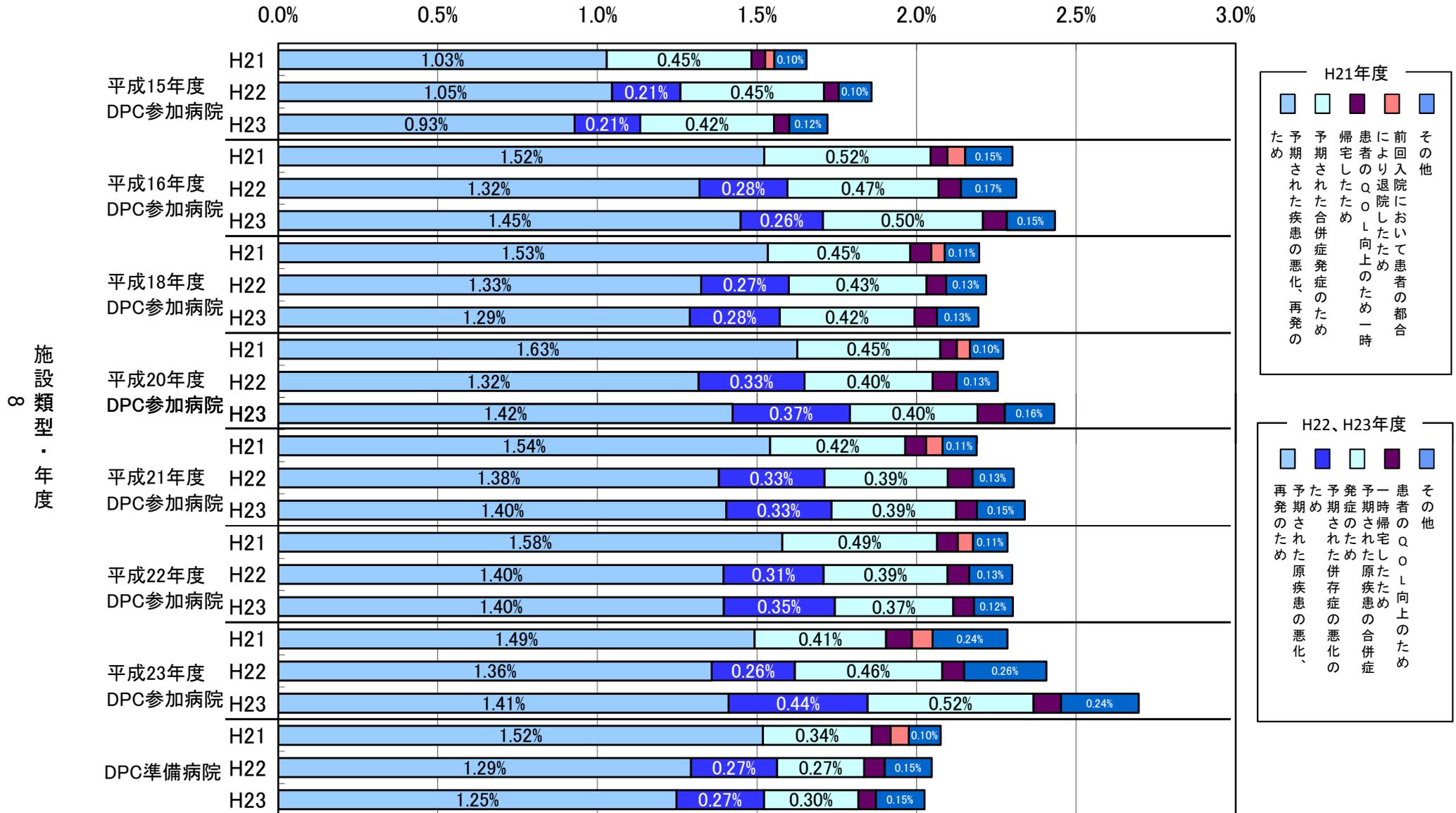
図表2-②-2 前回入院と今回入院の病名同異別・再入院事由割合



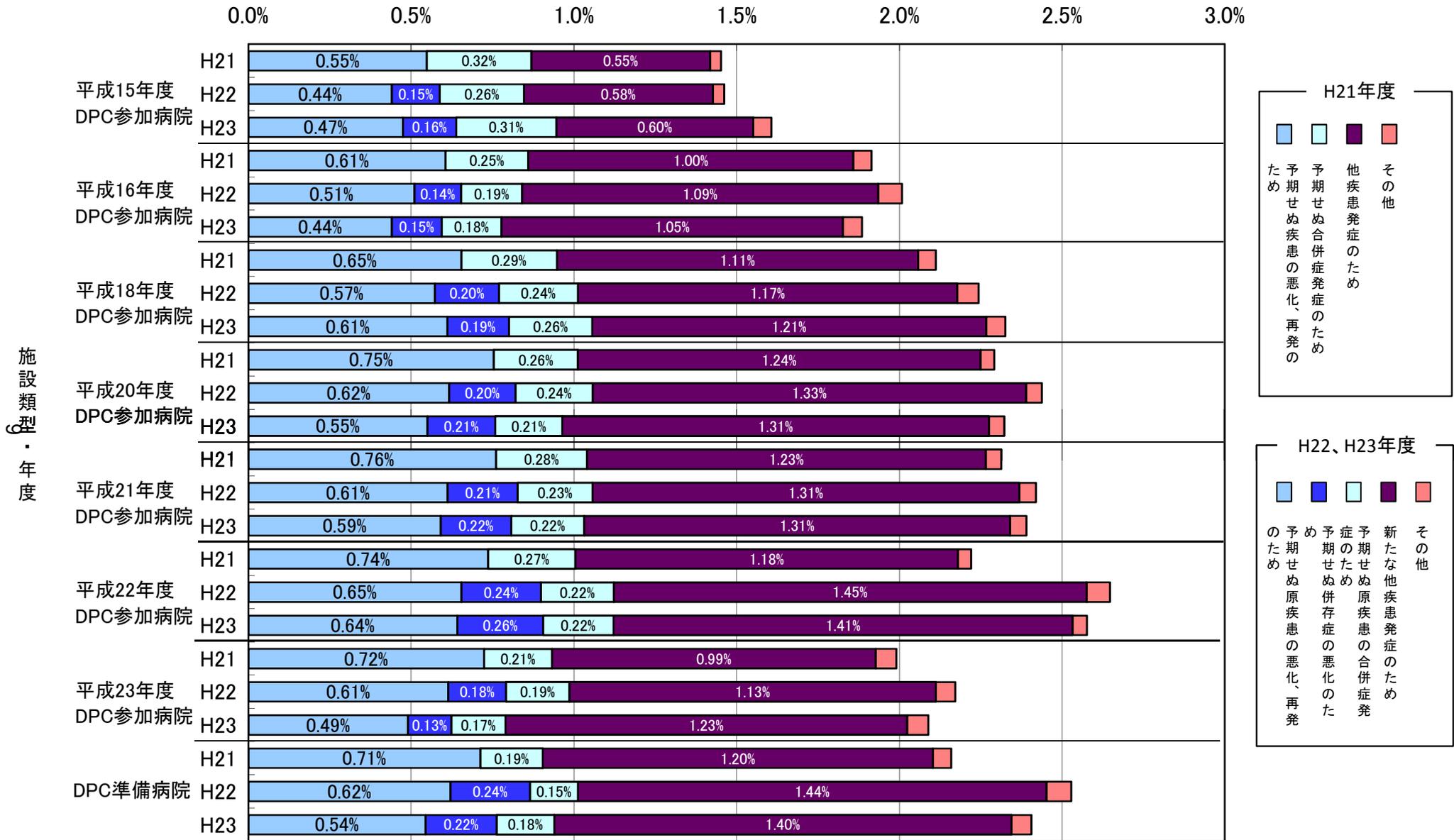
※病名の同異は前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

施設類型・年度

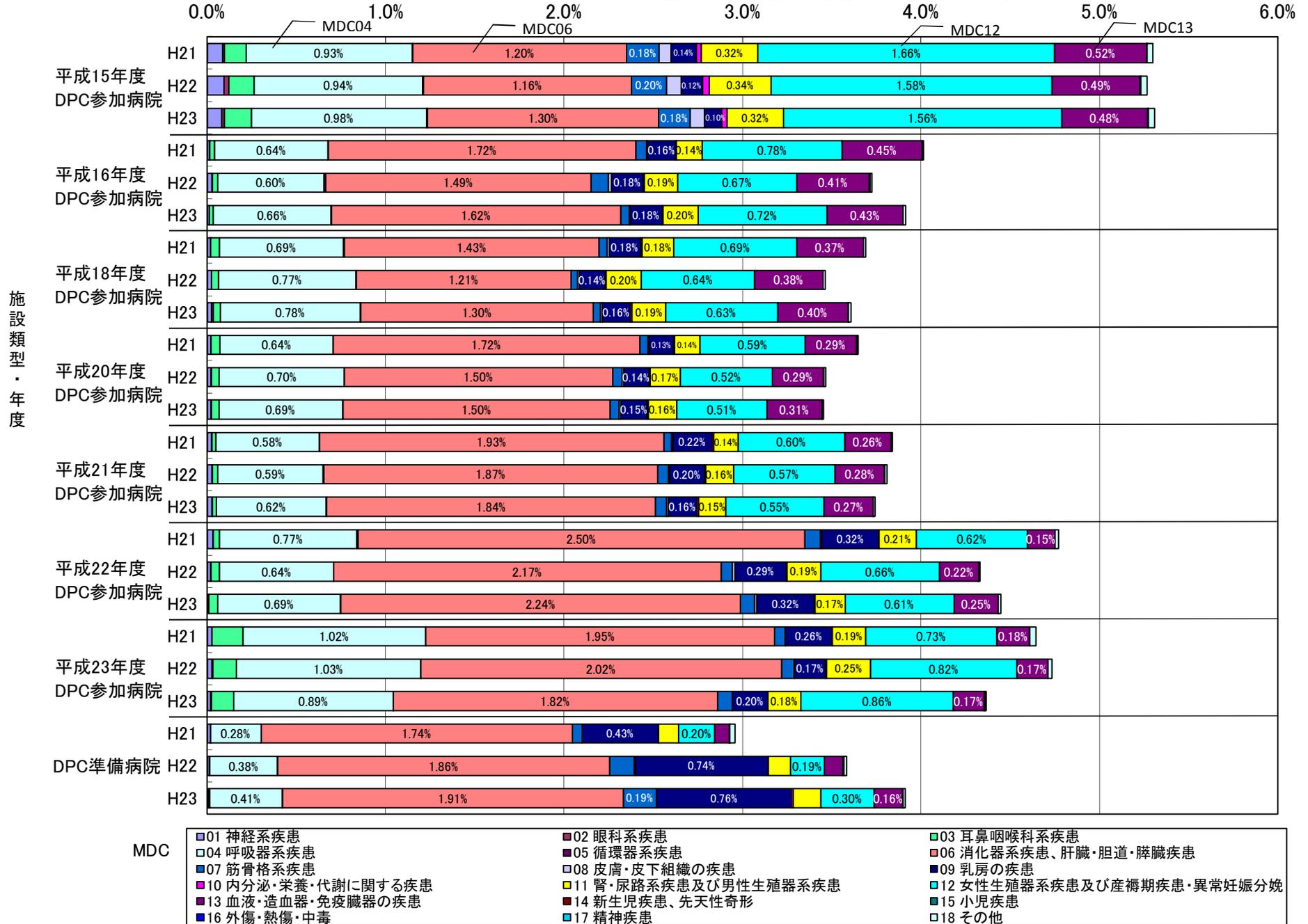
図表2-④ 予期された再入院における理由の内訳(退院症例に対する再入院症例数比率)



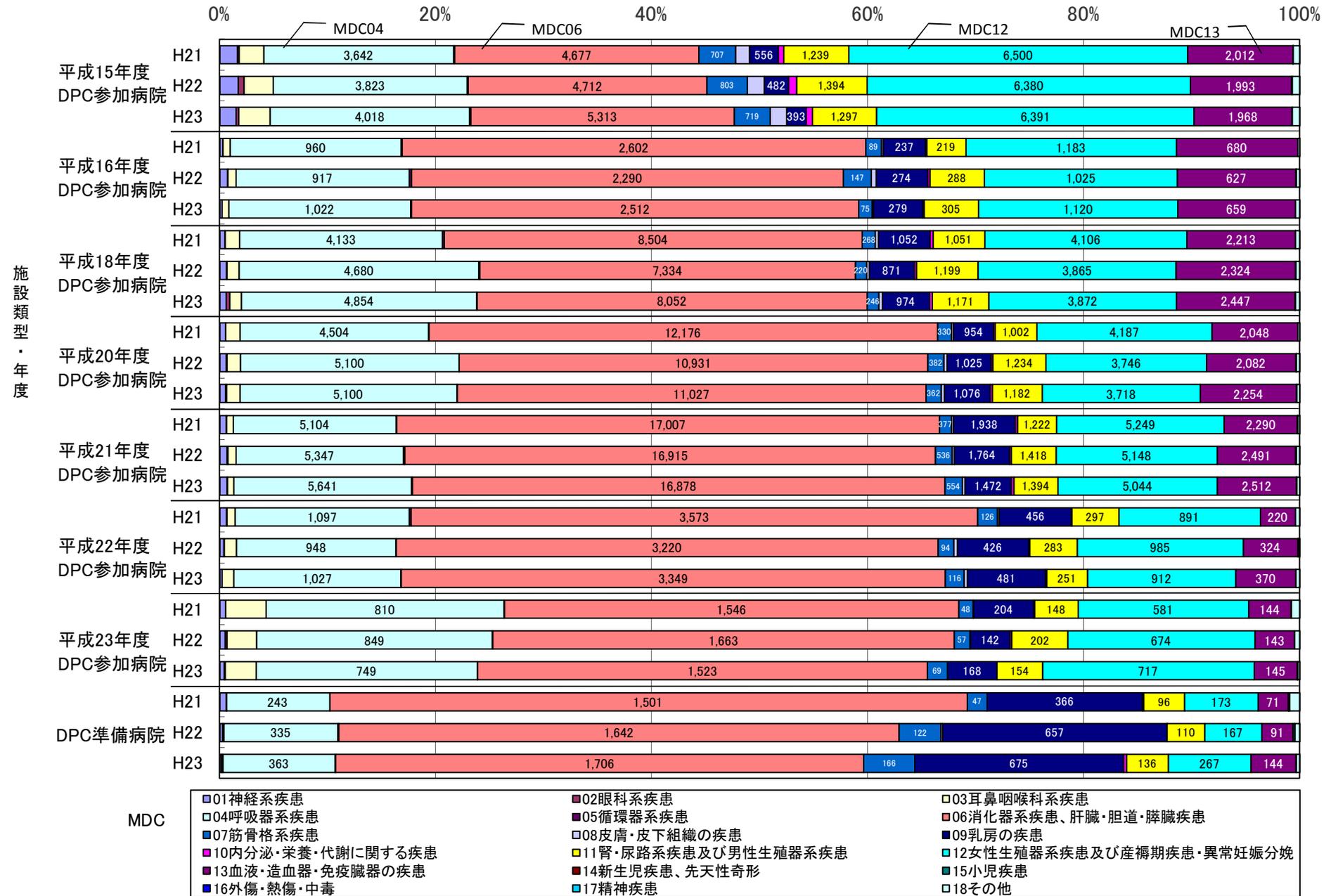
図表2-⑤ 予期せぬ再入院における理由の内訳(退院症例に対する再入院症例数比率)



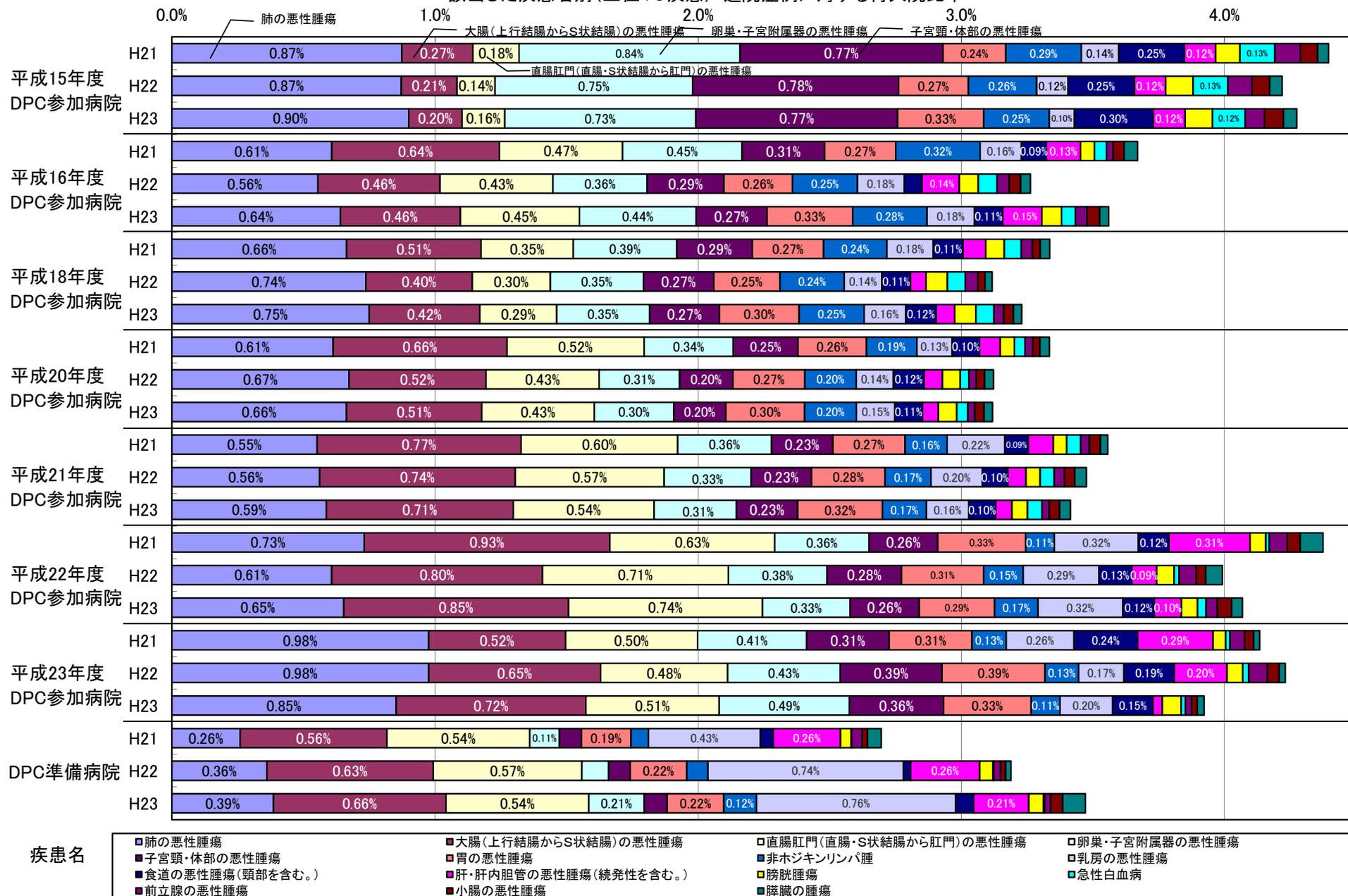
図表2-⑥-1 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例のMDC別・退院症例に対する再入院比率



図表2-⑥-2 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した症例のMDC別・再入院割合



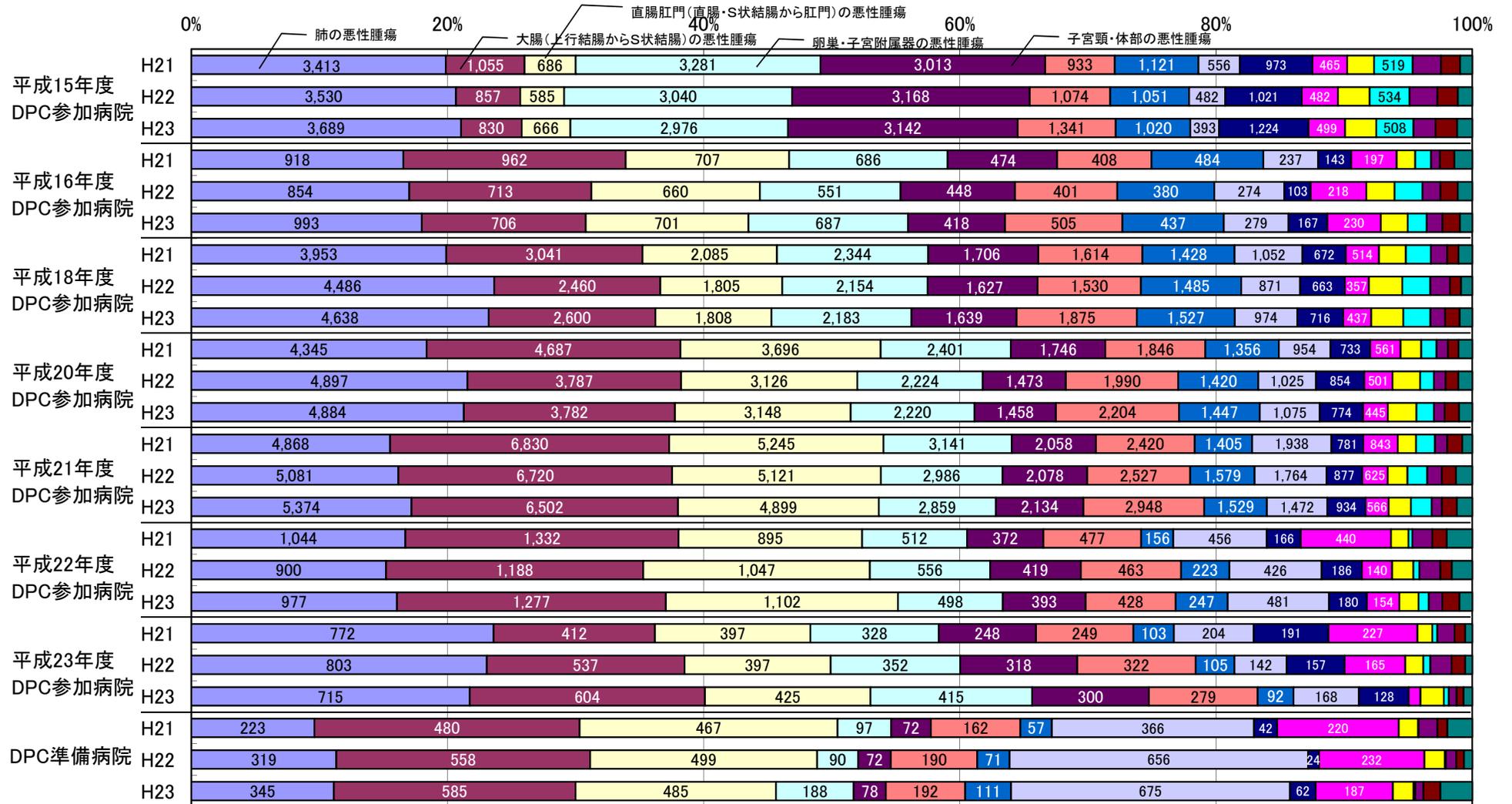
図表2-⑦-1 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・退院症例に対する再入院比率



疾患名

- 肺の悪性腫瘍
- 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
- 直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
- 卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍
- 子宮頸・体部の悪性腫瘍
- 胃の悪性腫瘍
- 非ホジキンリンパ腫
- 乳房の悪性腫瘍
- 食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)
- 肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)
- 膀胱腫瘍
- 急性白血病
- 前立腺の悪性腫瘍
- 小腸の悪性腫瘍
- 膵臓の腫瘍

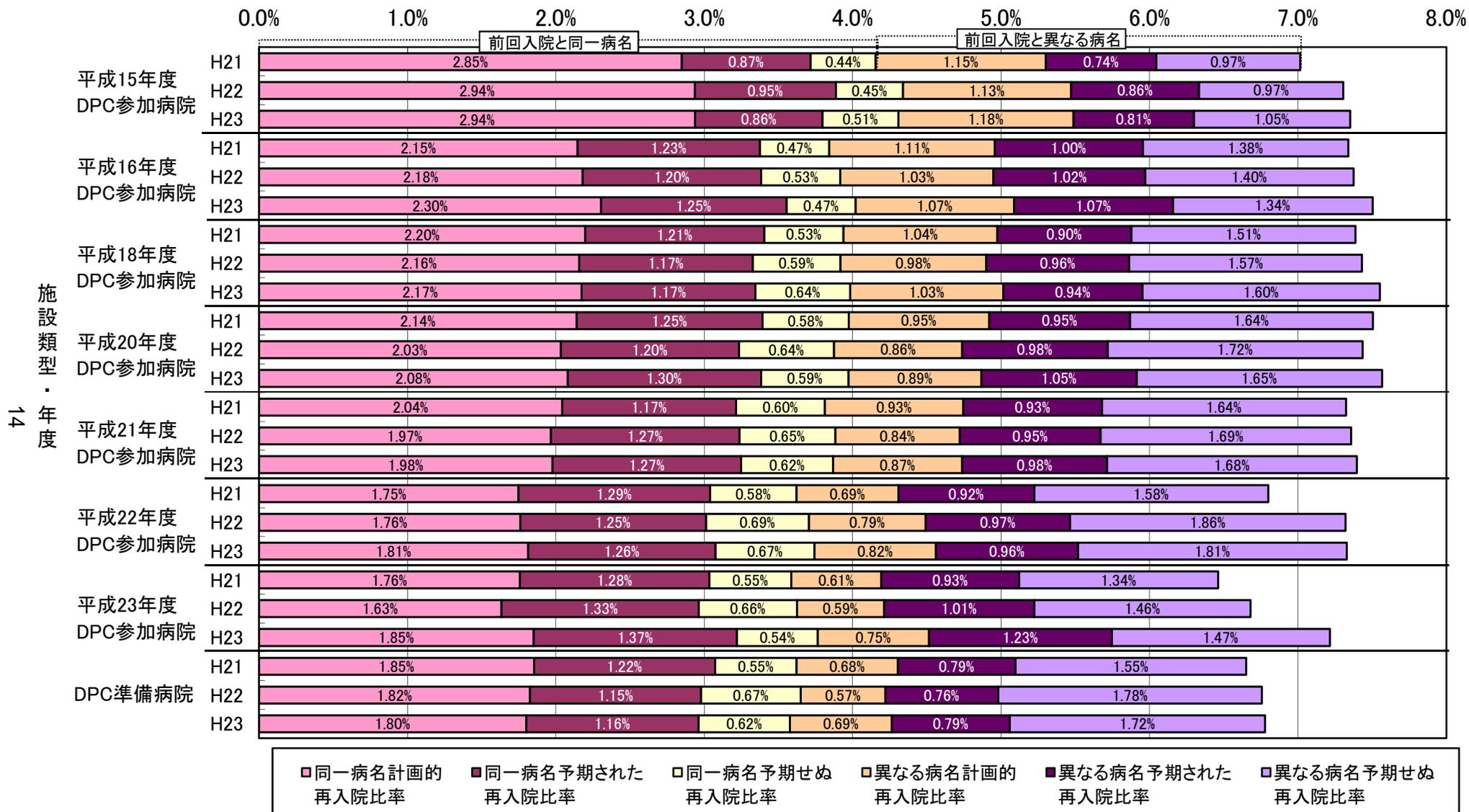
図表2-⑦-2 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・再入院割合



疾患名

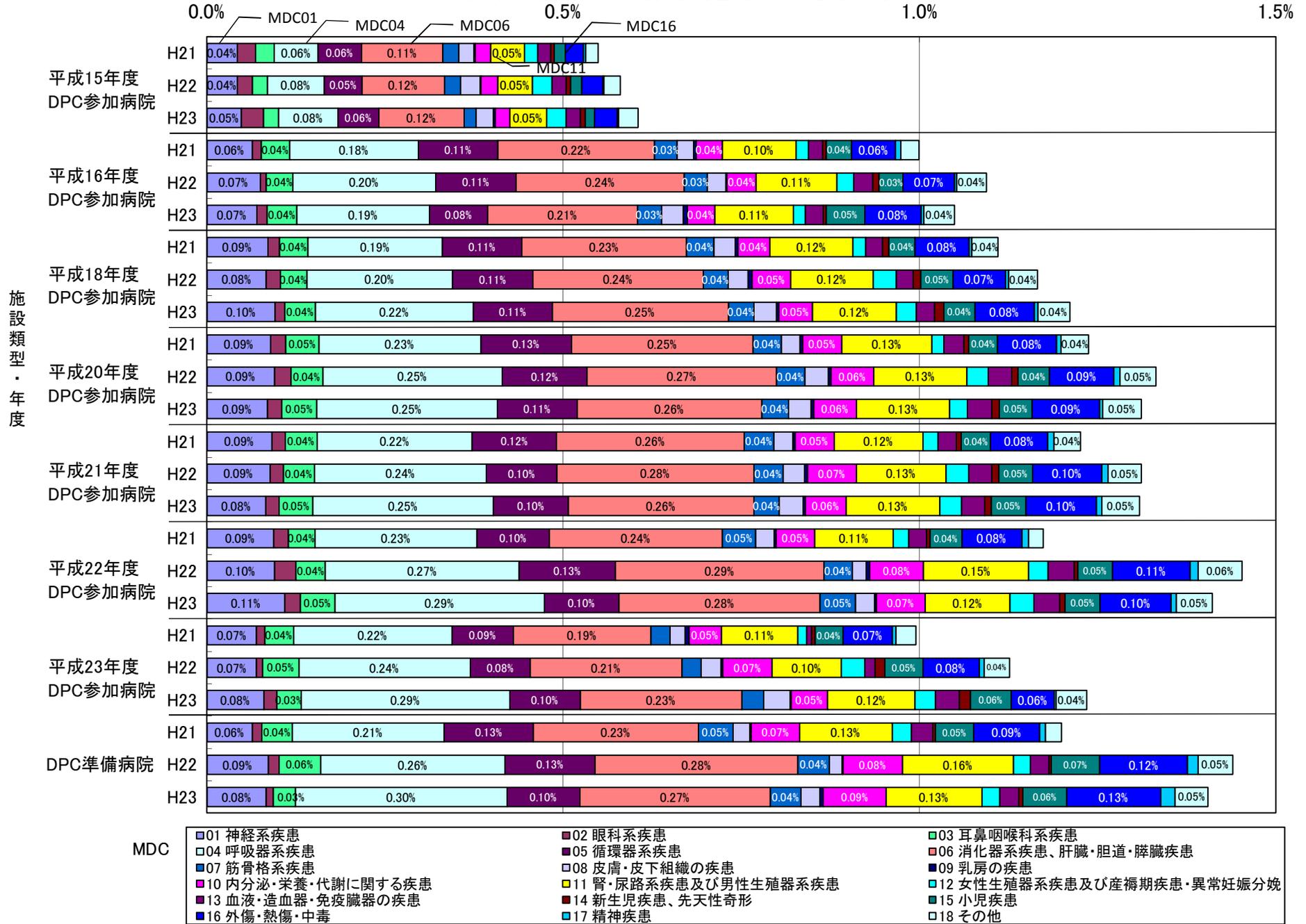
- 肺の悪性腫瘍
- 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
- 直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
- 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍
- 子宮頸・体部の悪性腫瘍
- 胃の悪性腫瘍
- 非ホジキンリンパ腫
- 乳房の悪性腫瘍
- 食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)
- 肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)
- 膀胱腫瘍
- 急性白血病
- 前立腺の悪性腫瘍
- 小腸の悪性腫瘍
- 膵臓の腫瘍

図表2-⑧ 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」を除いた
前回入院と今回入院の病名同異別・退院症例に対する再入院事由比率

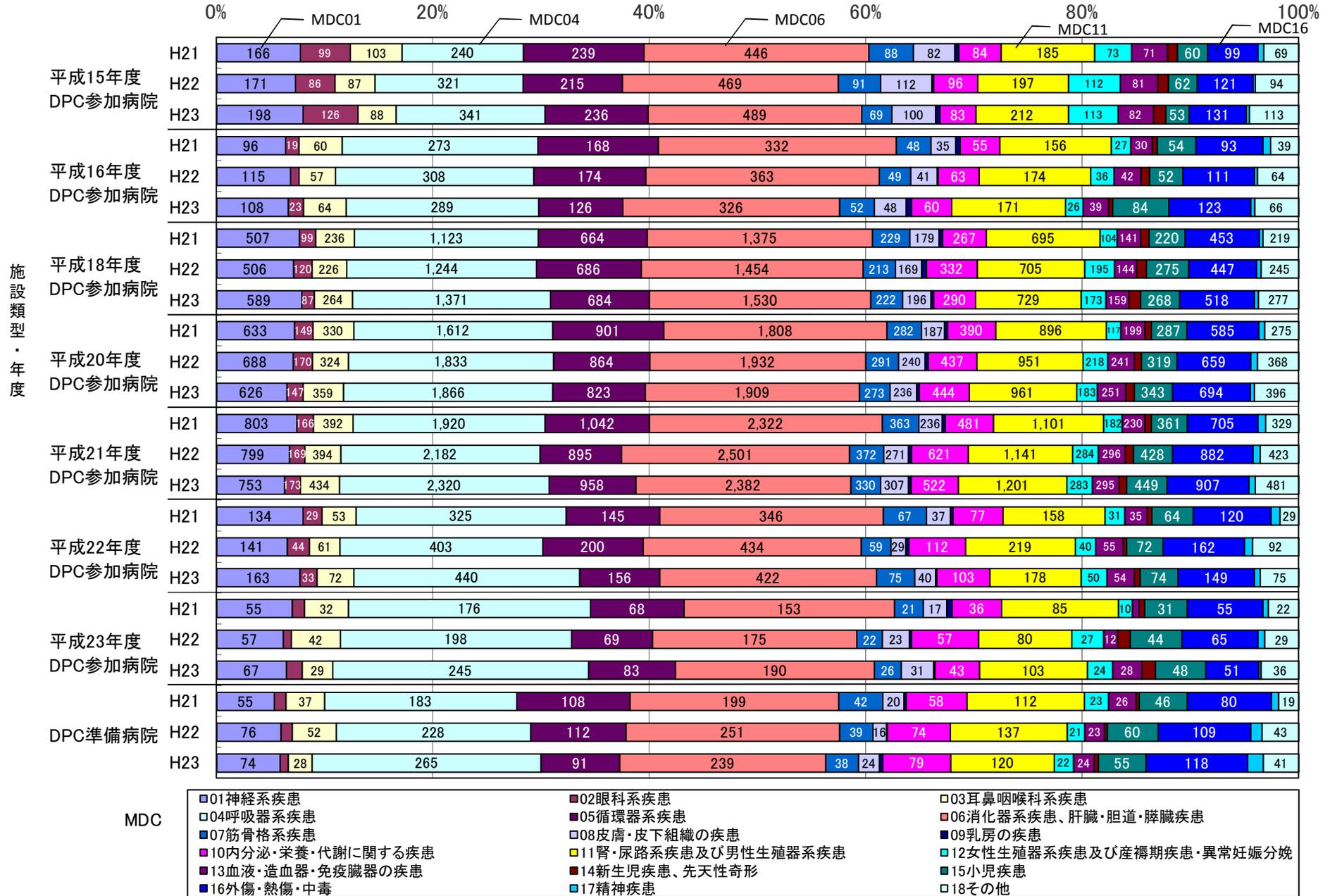


※病名の同異は前回入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表2-⑨-1 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に
該当した症例のMDC別・退院症例に対する再入院比率

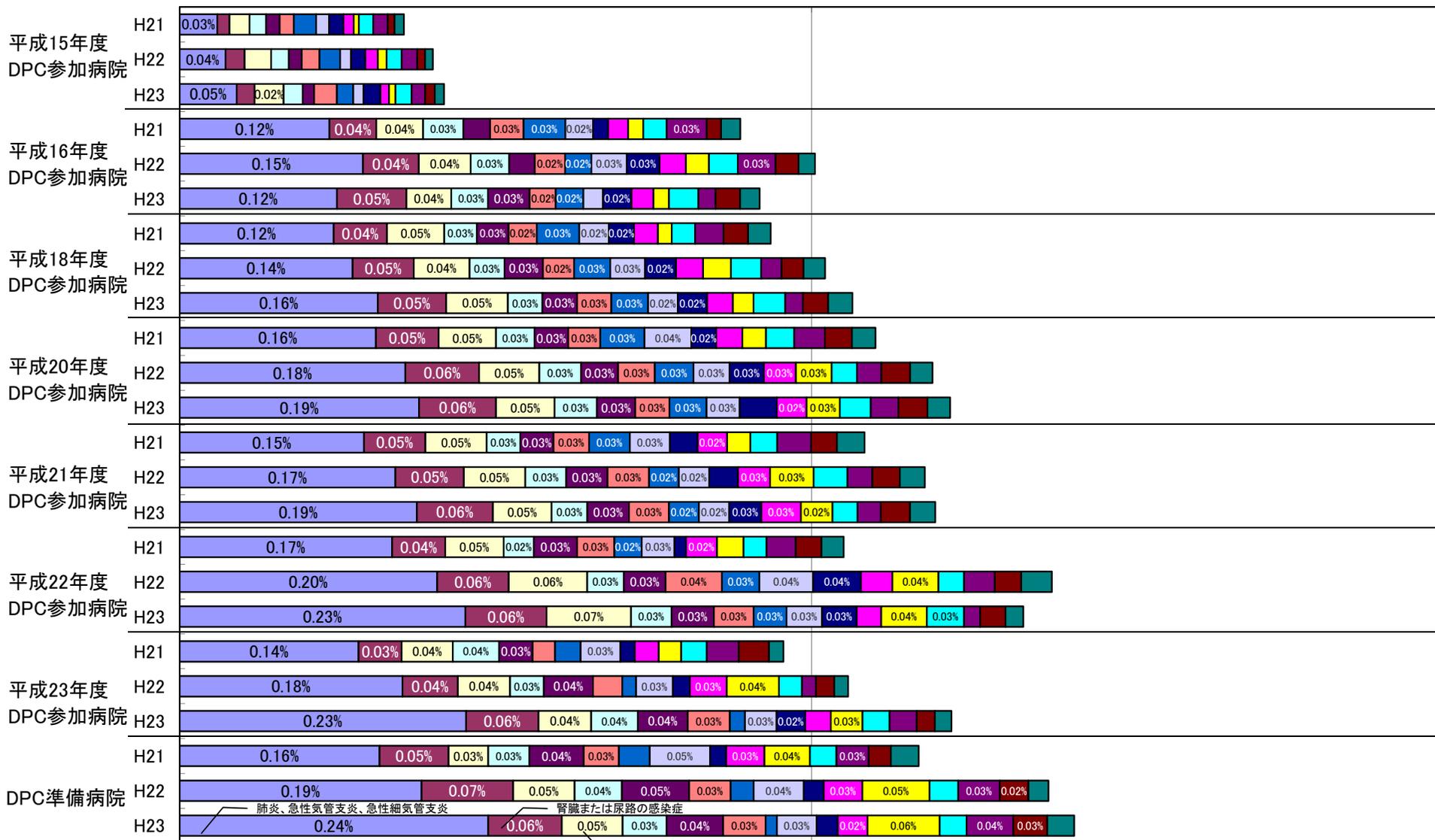


図表2-⑨-2 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に
該当した症例のMDC別・再入院割合



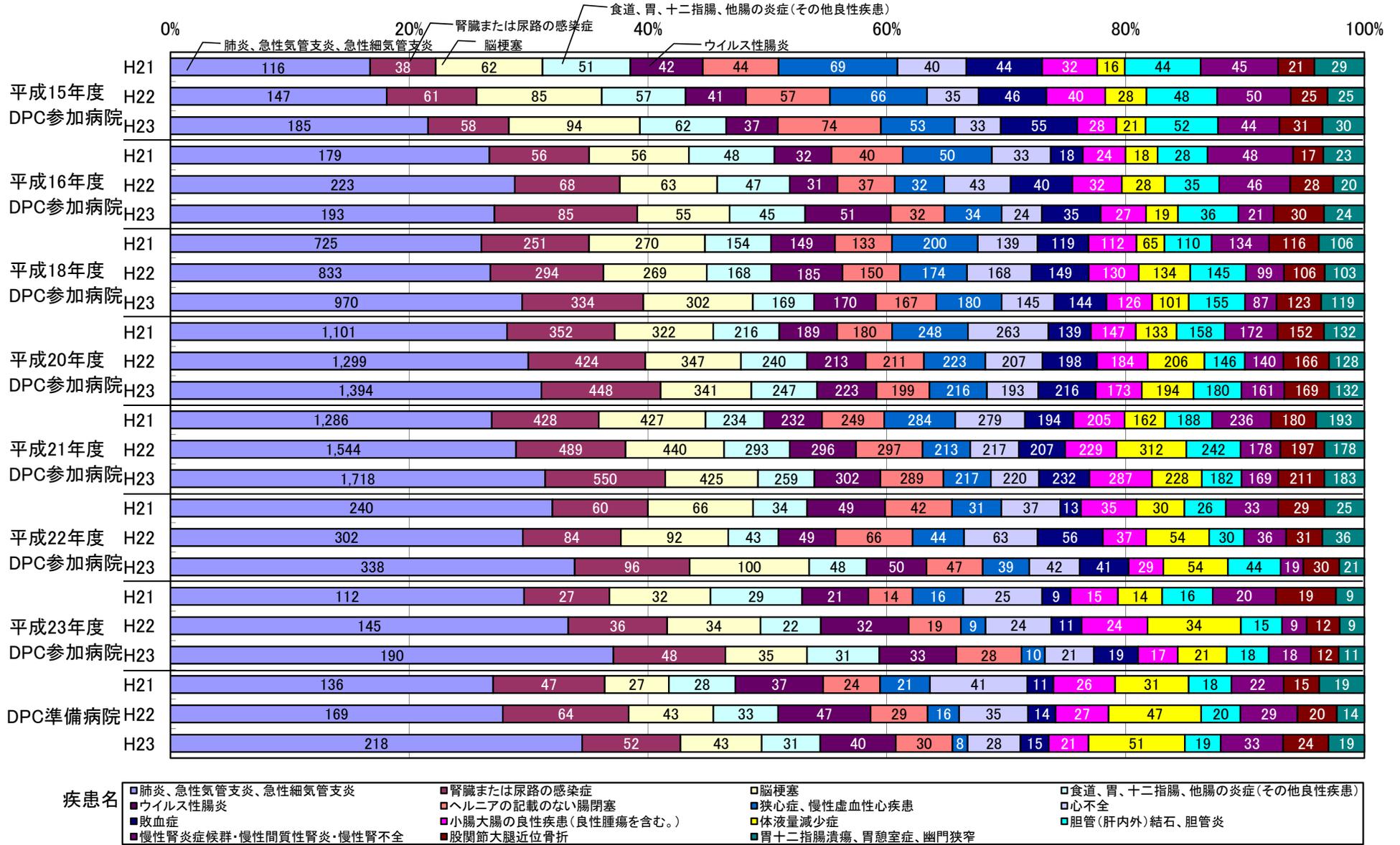
図表2-⑩-1 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に
該当した疾患名別(上位15疾患)・退院症例に対する再入院比率

0.0% 0.5% 1.0%

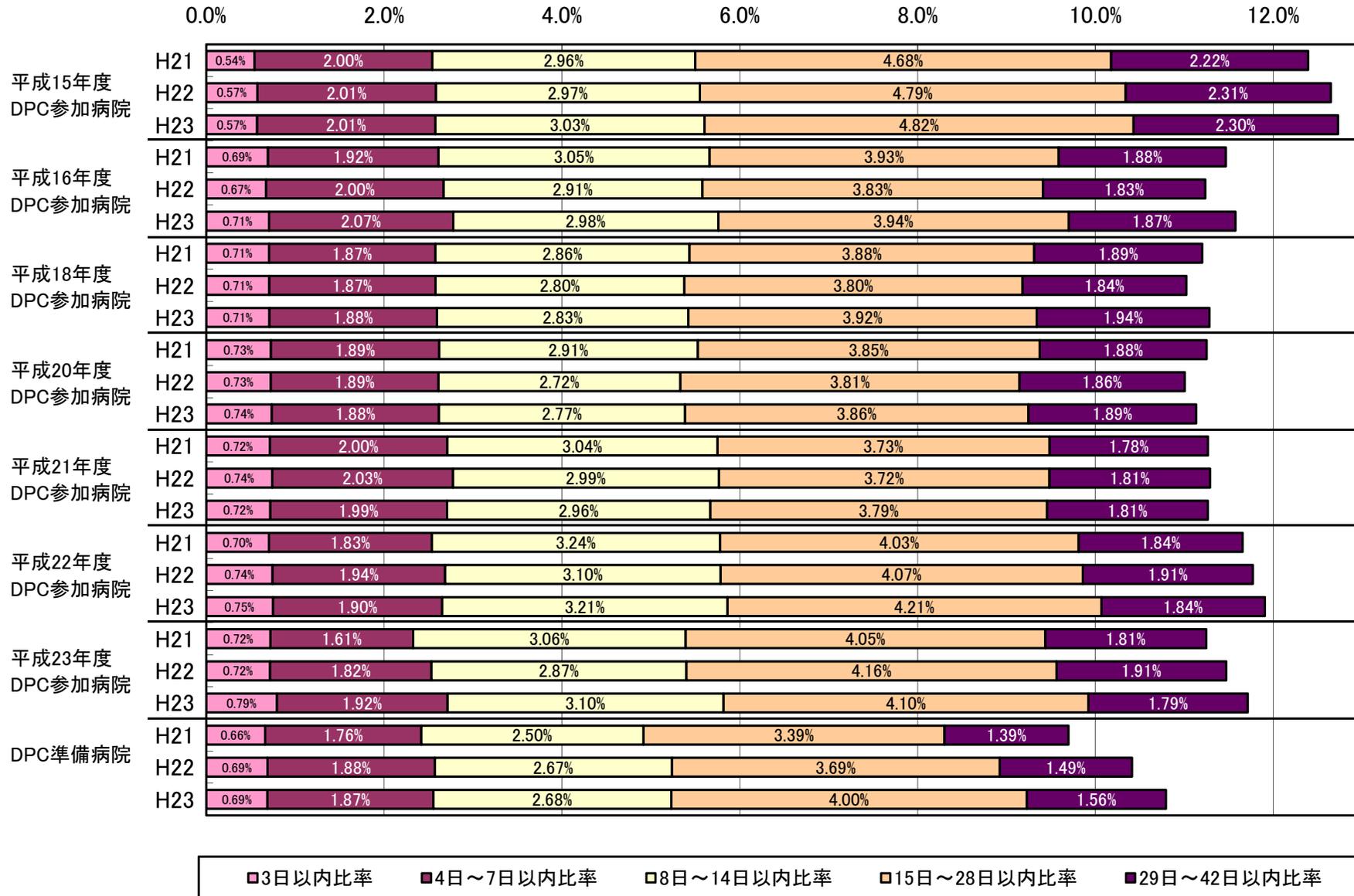


- 疾患名
- 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
 - ウイルス性腸炎
 - 敗血症
 - 慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全
 - 腎臓または尿路の感染症
 - ヘルニアの記載のない腸閉塞
 - 小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)
 - 股関節大腿近位骨折
 - 脳梗塞
 - 脳梗塞
 - 狭心症、慢性虚血性心疾患
 - 体液量減少症
 - 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄
 - 食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)
 - 心不全
 - 胆管(肝内外)結石、胆管炎

図表2-⑩-2 予期せぬ再入院における理由のうち「新たな他疾患発症のため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・再入院割合



図表2-⑪-1 前回再入院からの期間別・退院症例に対する再入院比率

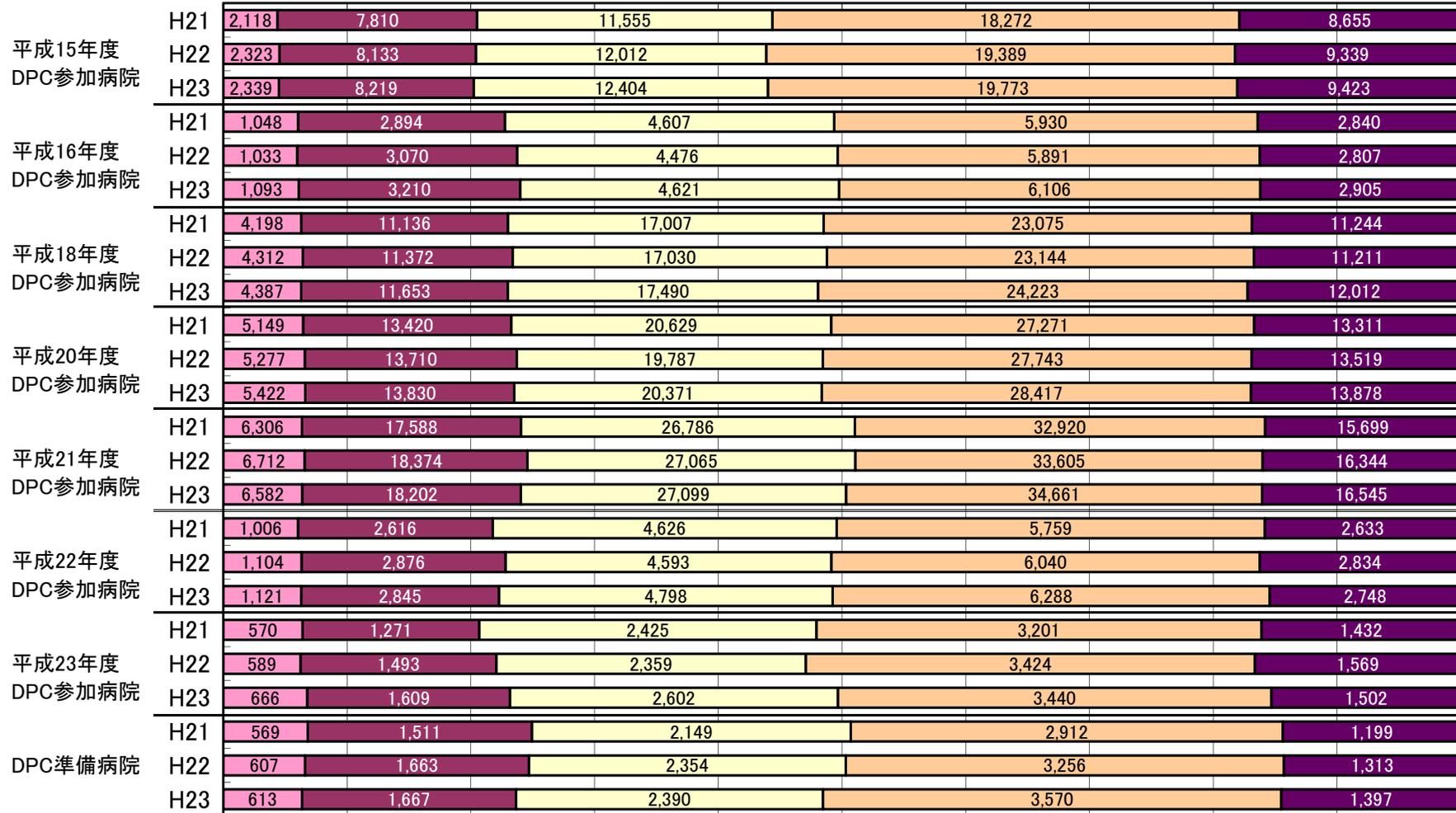


図表2-⑪-2 前回再入院からの期間別・再入院割合

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

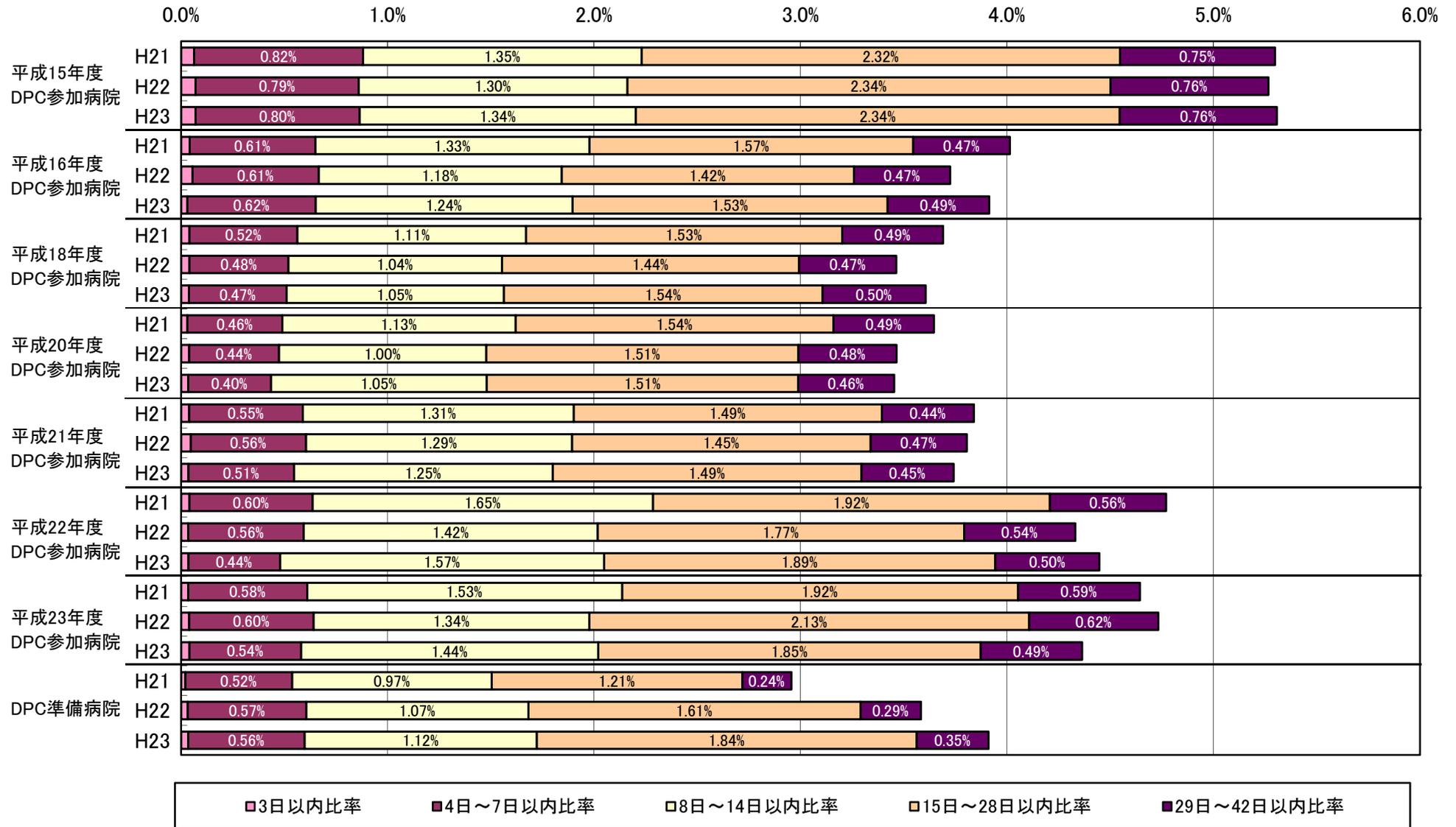
施設
類型
・
年度

20



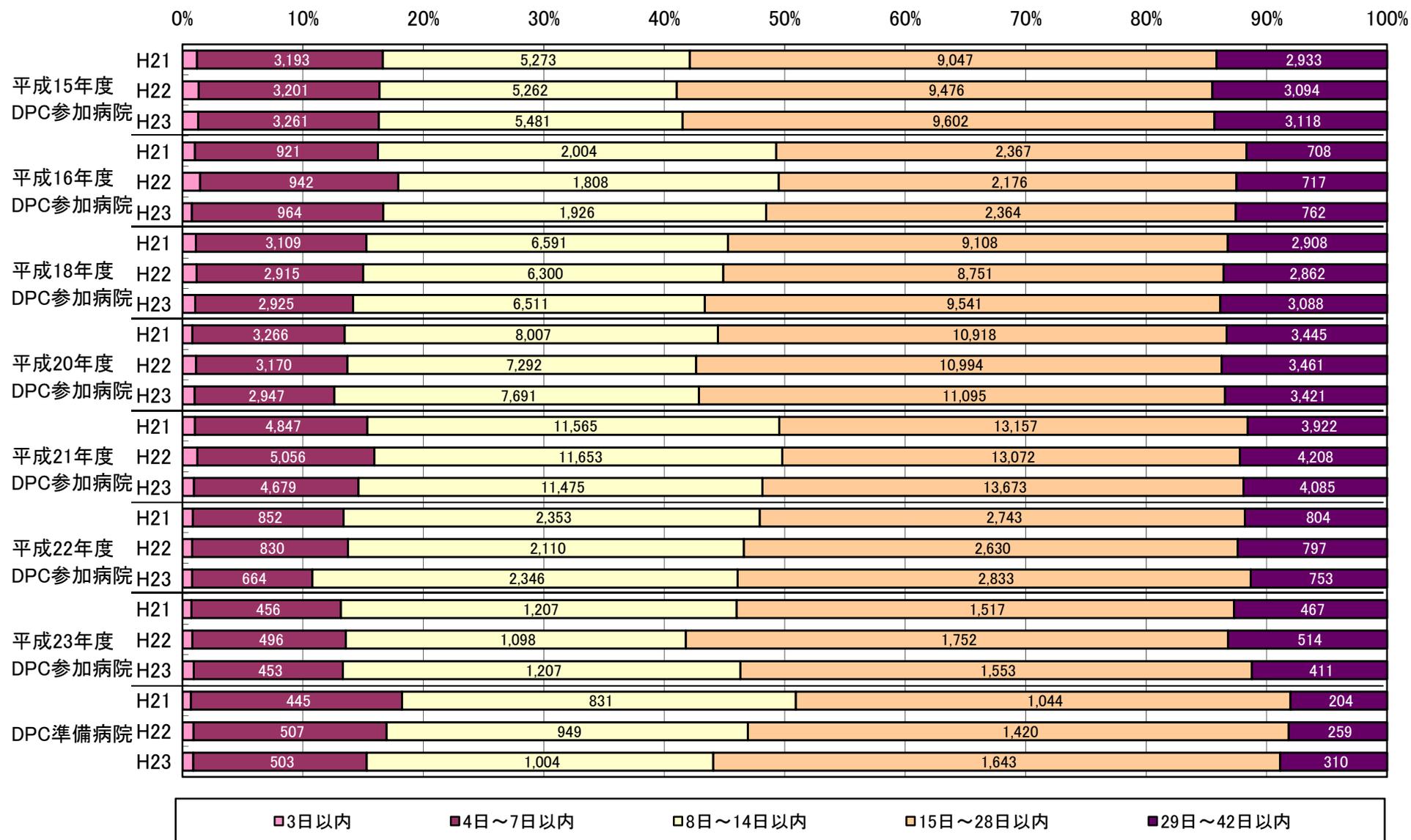
図表2-⑫-1 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の
期間別・退院症例に対する再入院比率

施設類型・年度

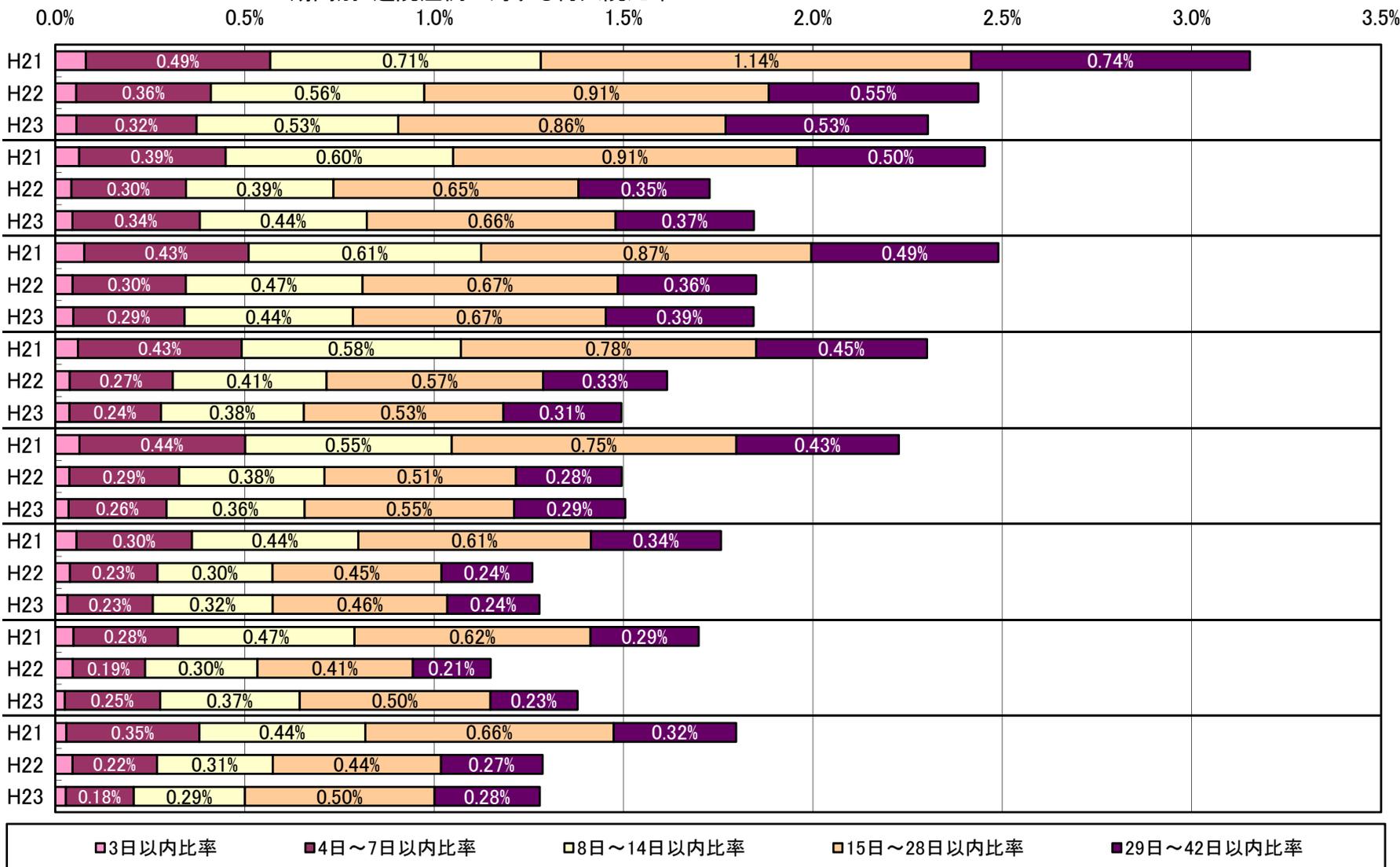


図表2-⑫-2 計画的再入院における理由のうち「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の
期間別・再入院割合

施設
類型
・
年度



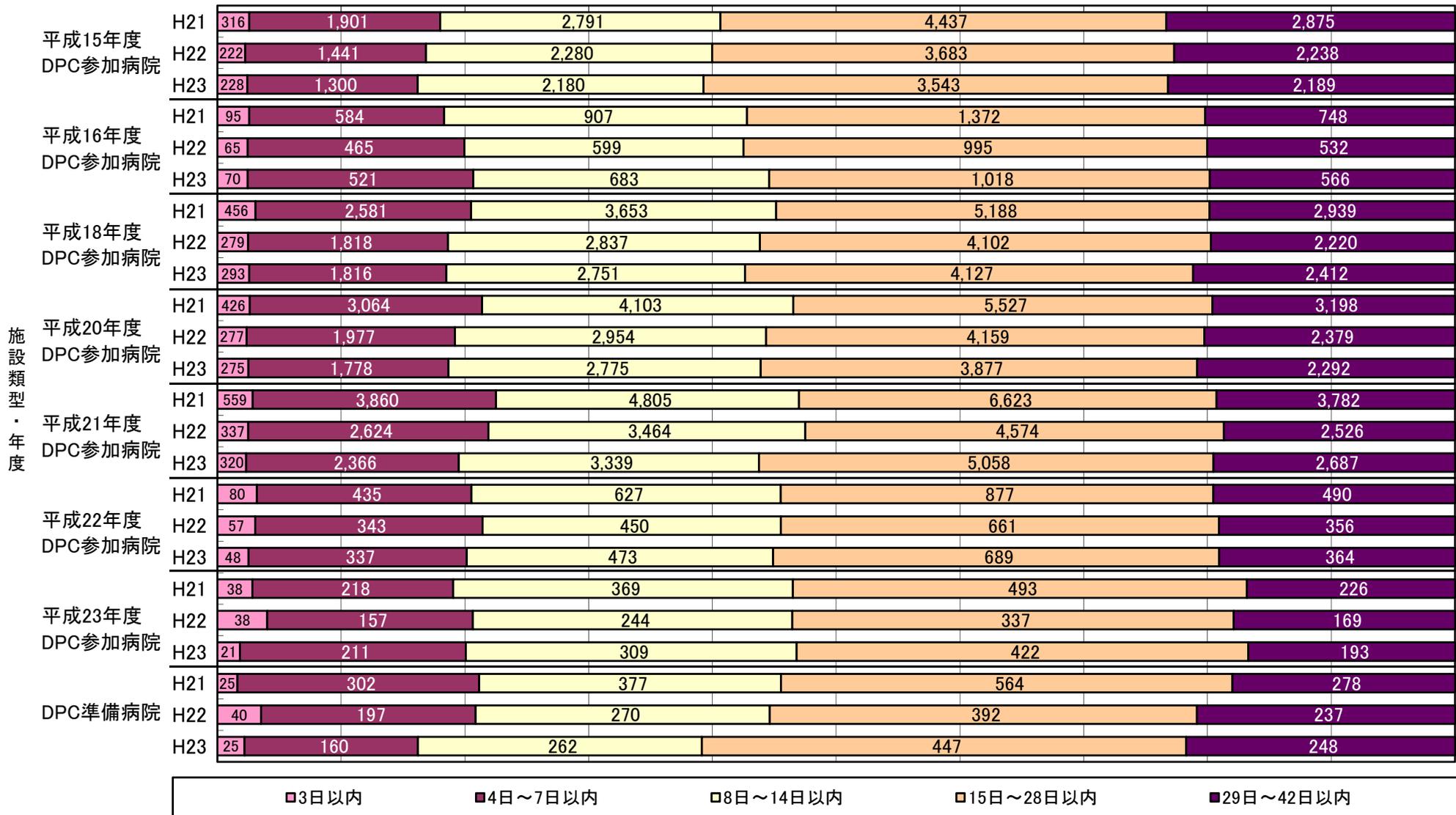
図表2-⑬-1 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の期間別・退院症例に対する再入院比率



図表2-⑬-2 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」の

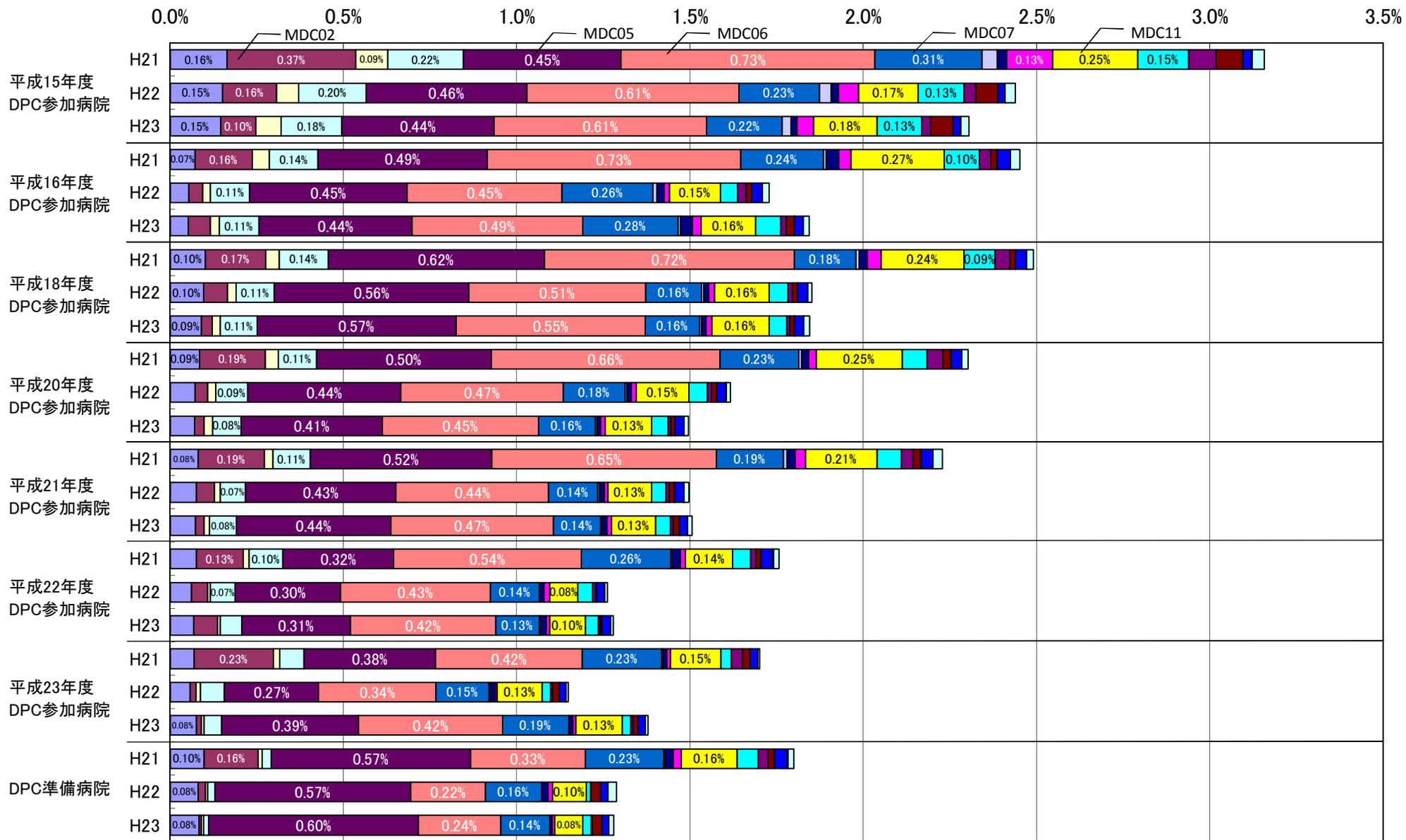
期間別・再入院割合

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



図表2-⑭-1 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例のMDC別・退院症例に対する再入院比率

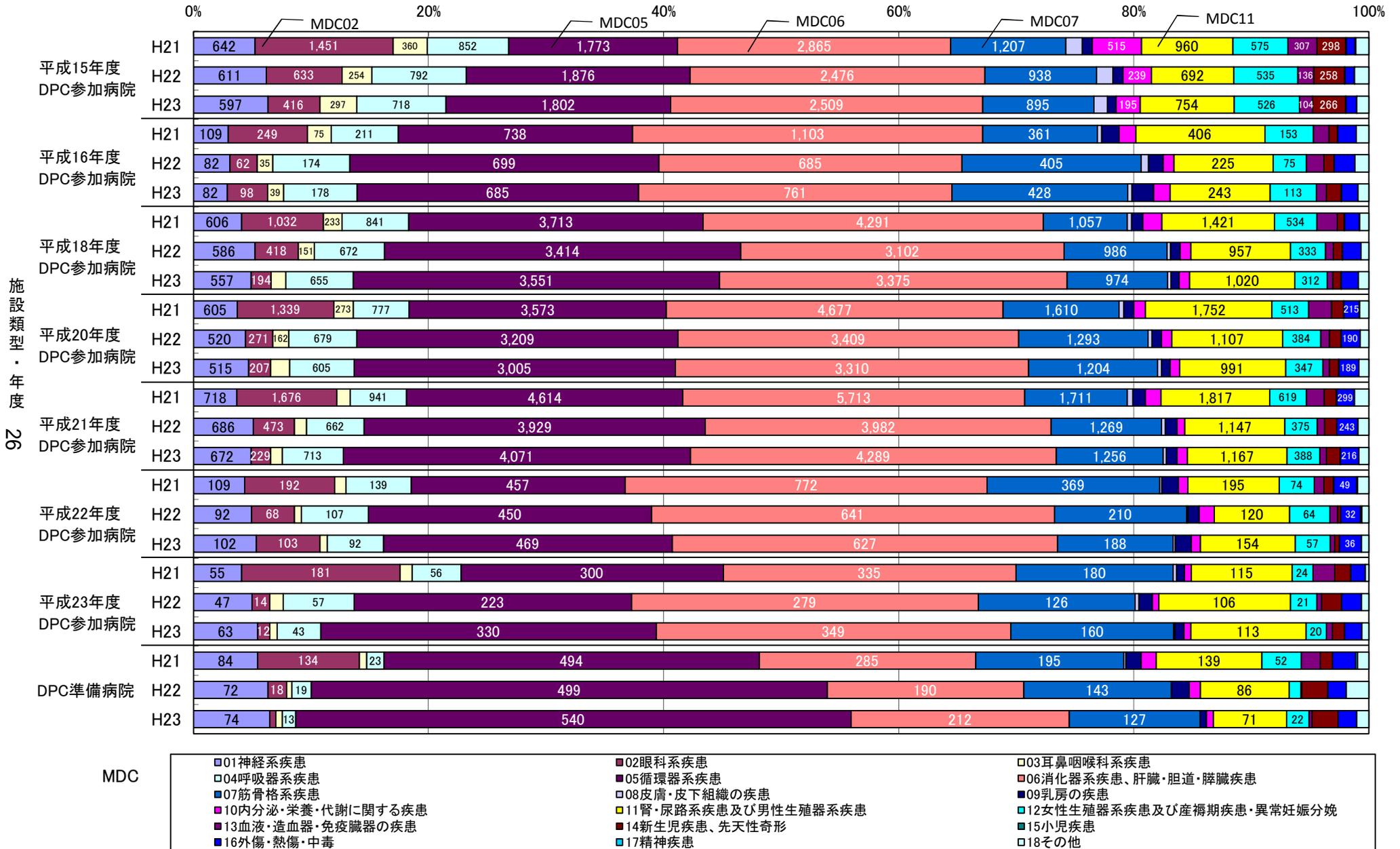
施設類型・年度



MDC

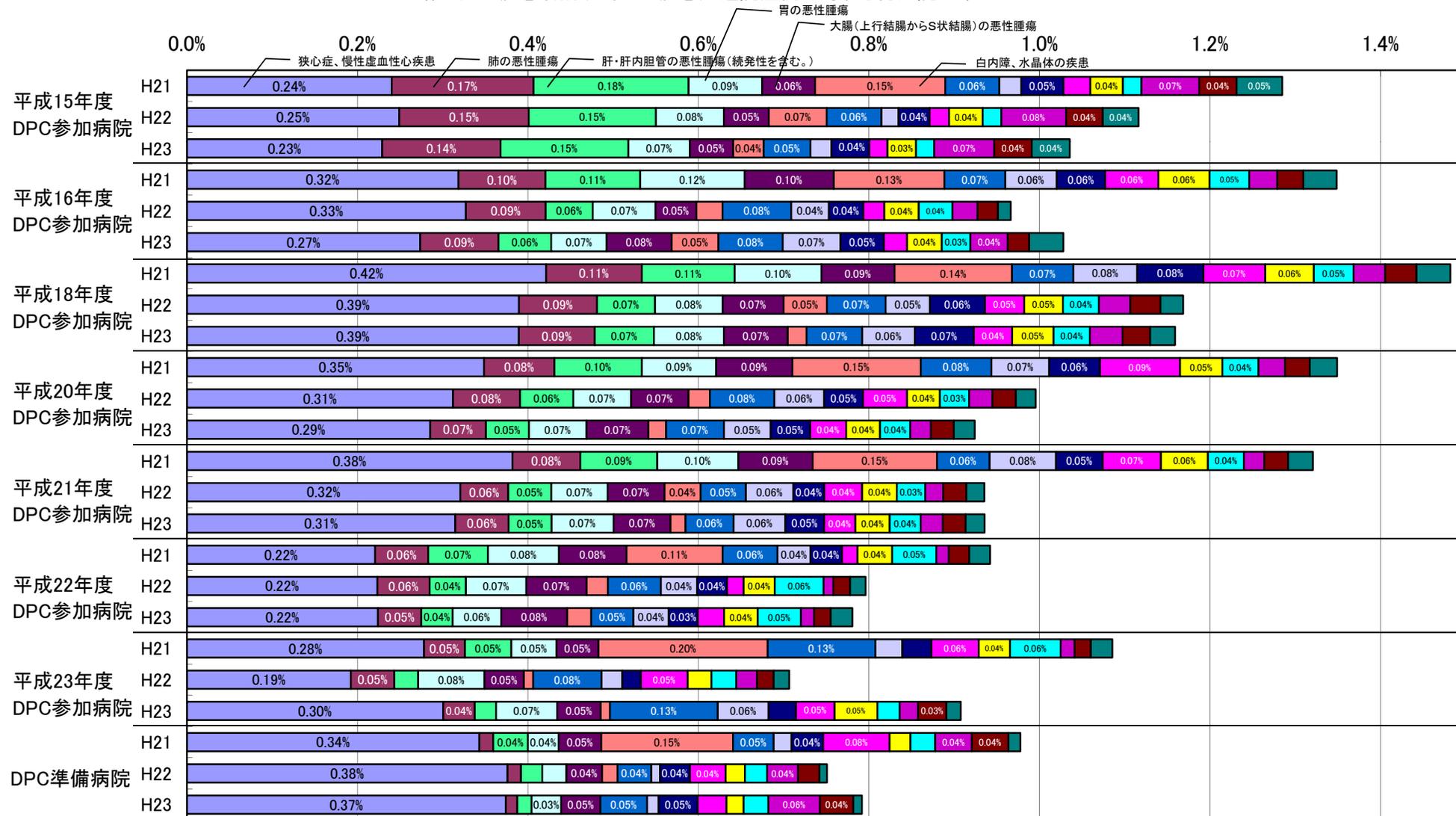
- 01 神経系疾患
- 02 眼科系疾患
- 03 耳鼻咽喉科系疾患
- 04 呼吸器系疾患
- 05 循環器系疾患
- 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- 07 筋骨格系疾患
- 08 皮膚・皮下組織の疾患
- 09 乳房の疾患
- 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
- 12 女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
- 14 新生児疾患、先天性奇形
- 15 小児疾患
- 16 外傷・熱傷・中毒
- 17 精神疾患
- 18 その他

図表2-⑭-2 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した症例のMDC別・再入院割合



図表2-⑮-1 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・退院症例に対する再入院比率

施設類型・年度

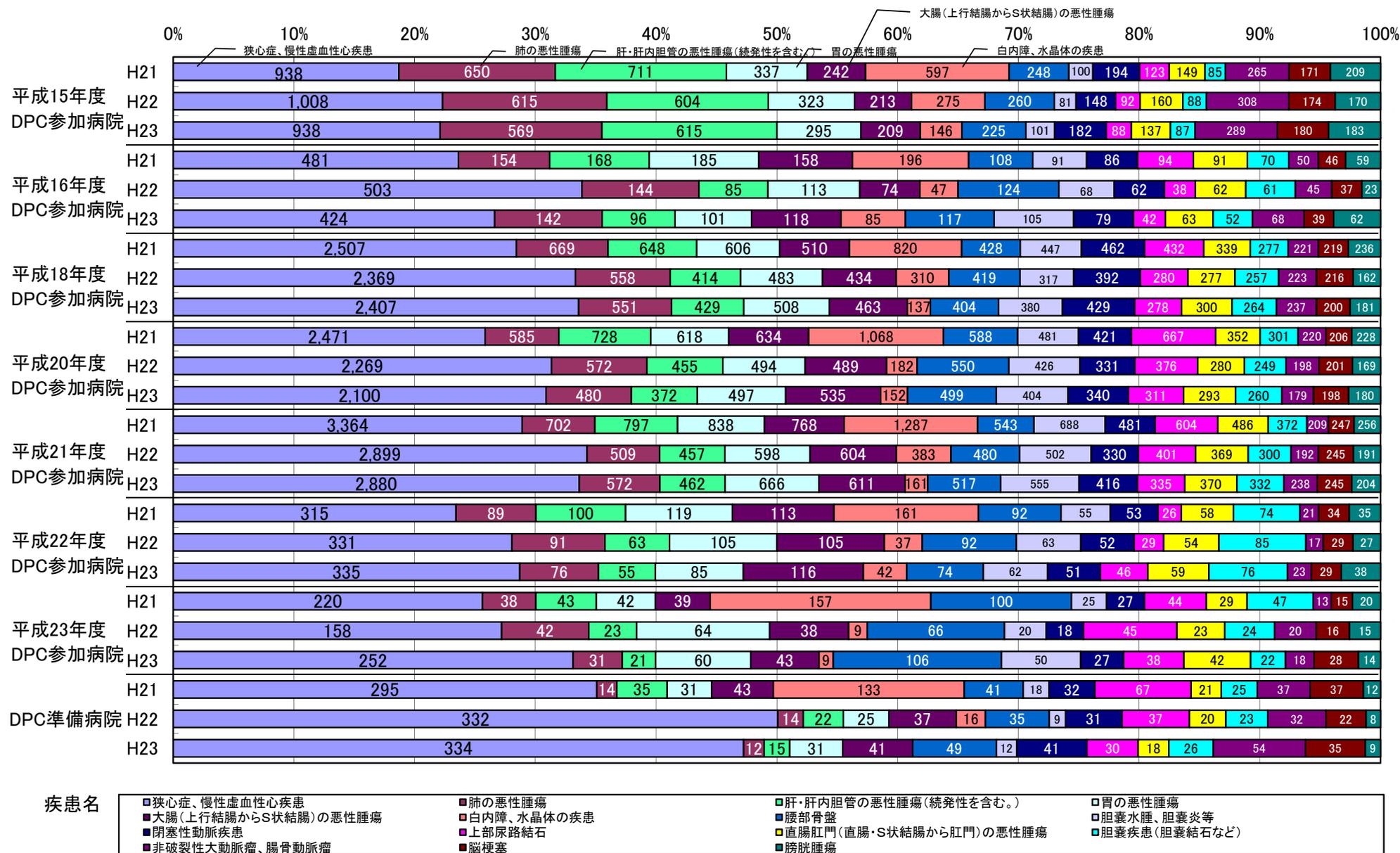


疾患名

- 狭心症、慢性虚血性心疾患
- 肺の悪性腫瘍
- 肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)
- 胃の悪性腫瘍
- 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
- 白内障、水晶体の疾患
- 腰部骨盤
- 胆嚢水腫、胆嚢炎等
- 閉塞性動脈疾患
- 上部尿路結石
- 直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
- 胆嚢疾患(胆嚢結石など)
- 非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤
- 脳梗塞
- 膀胱腫瘍

図表2-⑮-2 計画的再入院における理由のうち「前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため」と「前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため」に該当した疾患名別(上位15疾患)・再入院割合

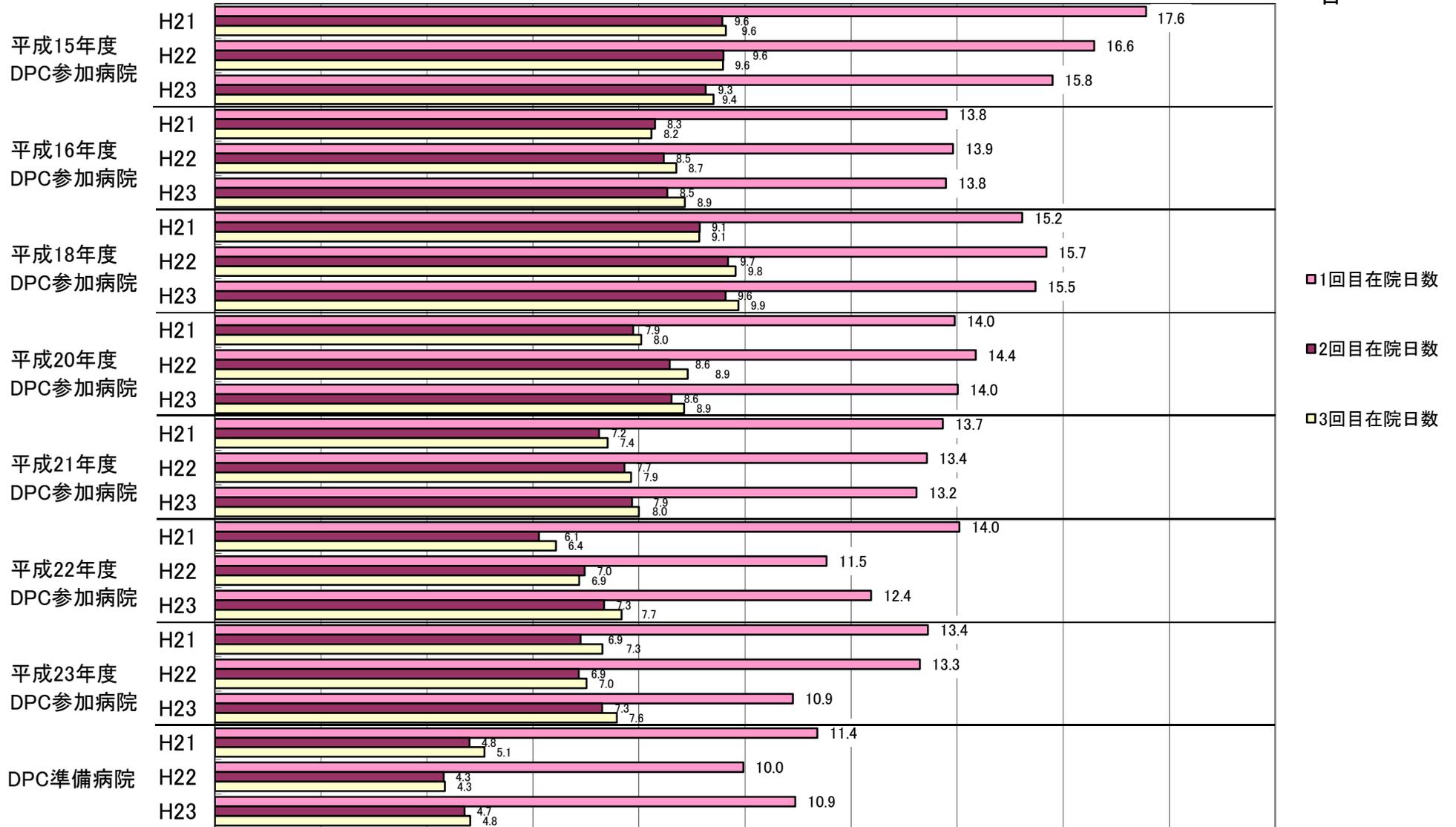
施設類型・年度



図表2-⑯ 同一病名で「計画的な化学療法のため」「計画的な放射線療法のため」の再入院回数別在院日数

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 日

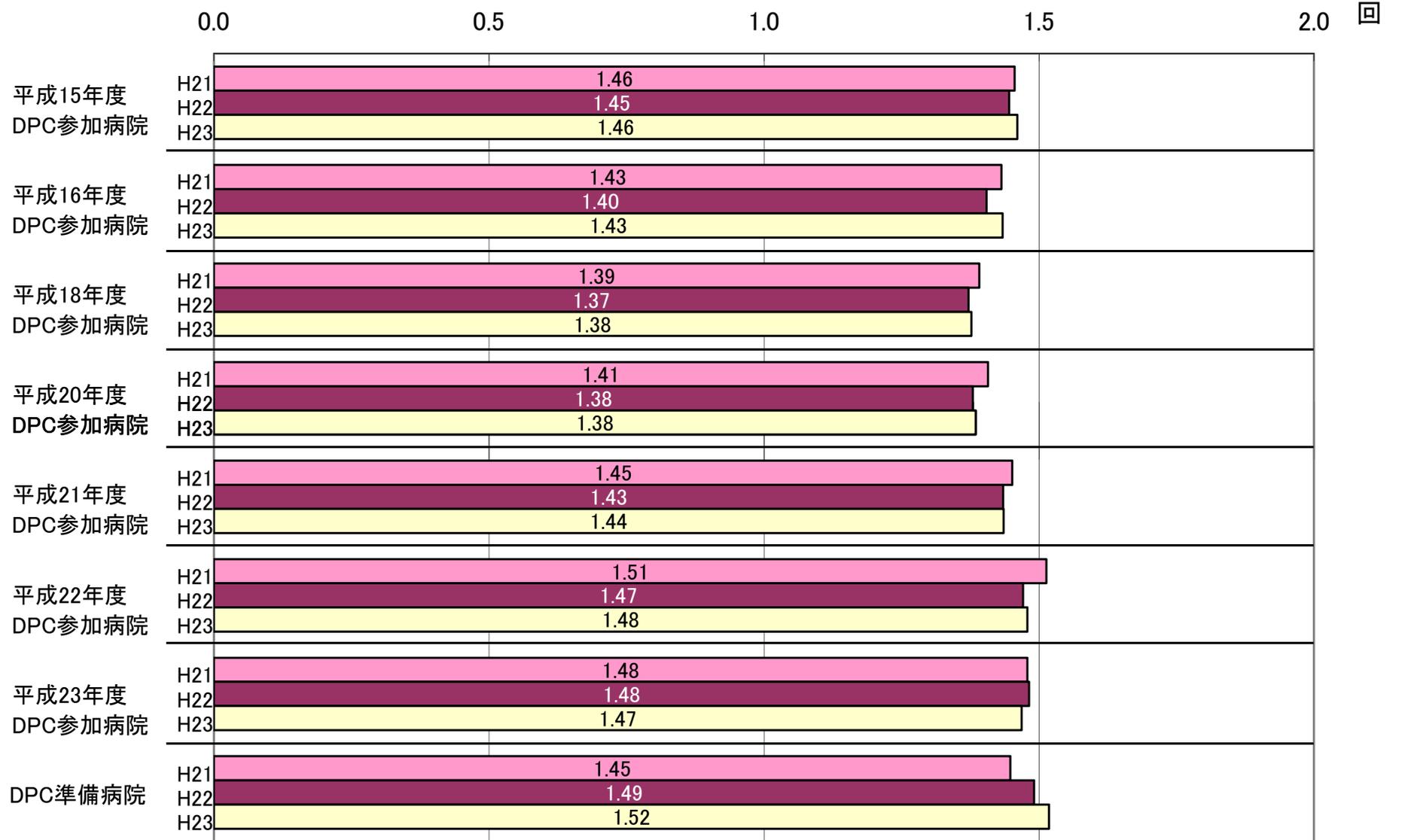
施設類型・年度
29



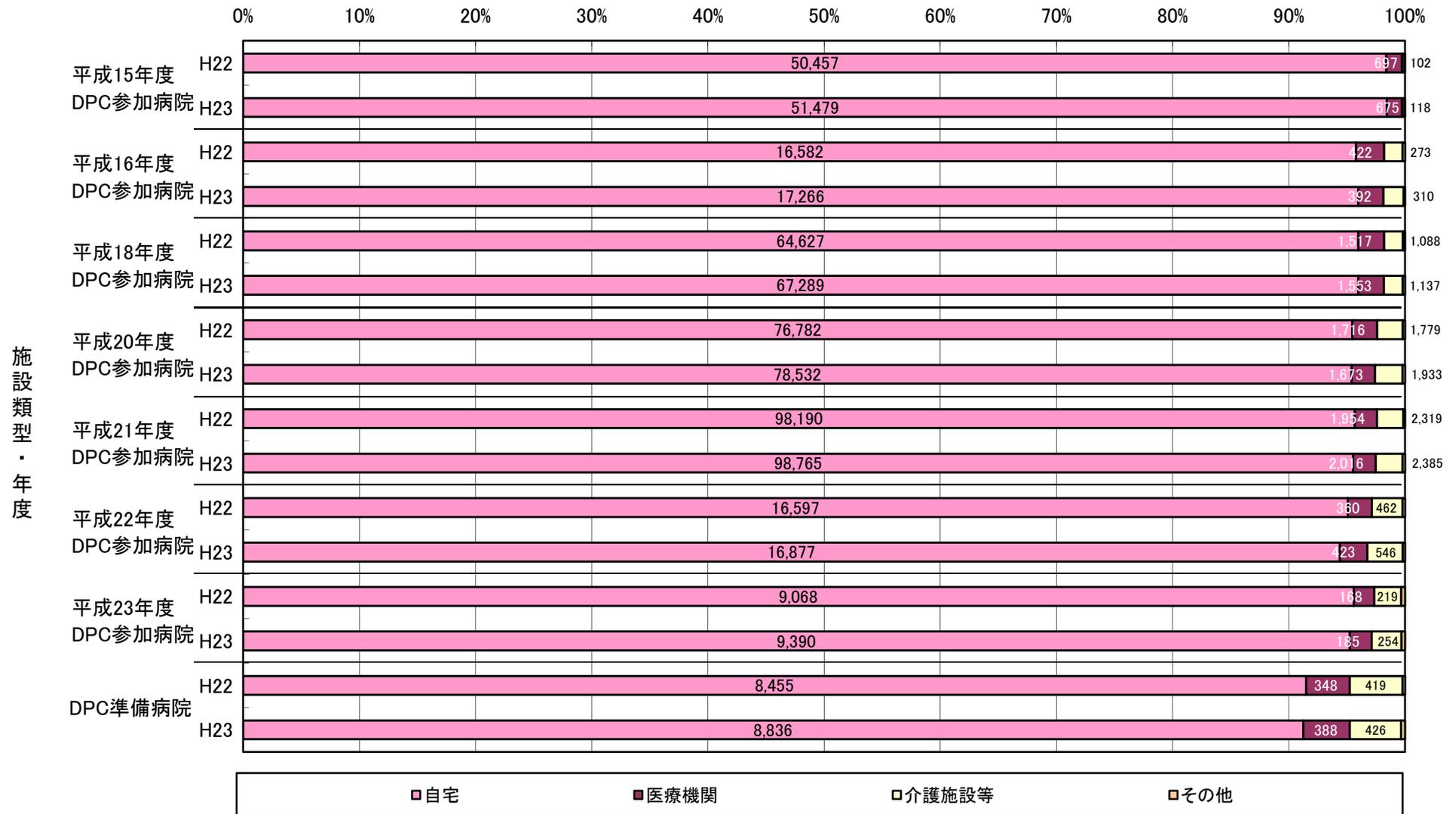
※1回目入院は1回目再入院が「化学療法・放射線療法あり」の前入院データのため、再入院理由のデータがなく、様式1から化学療法有無を判別し掲載した
 ※同一病名の有無は前入院の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回入院の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表2-⑰ 1患者あたりの再入院回数(退院症例数/実患者数)

施設類型・年度



図表2-⑱今回入院直前の患者の居所



図表3 平成23年度調査対象医療機関数及び分析データ数

再転棟に係る調査

■平成23年度調査データ

1.調査対象病院数と回答病院数

施設類型	再転棟調査対象病院数(A)			再転棟調査回答病院数(B)			再転棟調査回答病院率(B/A)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	23	30	25	23	30	25	100.0%	100.0%	100.0%
平成16年度DPC参加病院	16	16	17	16	16	17	100.0%	100.0%	100.0%
平成18年度DPC参加病院	66	58	71	66	58	71	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度DPC参加病院	136	138	139	136	138	139	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度DPC参加病院	219	227	243	219	227	243	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度DPC参加病院	50	54	59	50	54	59	100.0%	100.0%	100.0%
平成23年度DPC参加病院	18	27	27	18	27	27	100.0%	100.0%	100.0%
平成18,19年度新規DPC準備病院	39	35	30	39	35	30	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度新規DPC準備病院	21	20	20	21	20	20	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度新規DPC準備病院	13	13	10	13	13	10	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度新規DPC準備病院		29	27		29	27		100.0%	100.0%
総計	601	647	668	601	647	668	100.0%	100.0%	100.0%

2.症例数と回答症例数

施設類型	退院症例数(C)			再転棟症例数(D) ^{※1}			回答症例数(E)			回答率(E/D)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	390,658	404,829	409,808	35	65	43	34	64	43	97.1%	98.5%	100.0%
平成16年度DPC参加病院	151,040	153,779	154,960	66	65	66	66	65	66	100.0%	100.0%	100.0%
平成18年度DPC参加病院	595,186	608,500	618,420	277	230	233	277	230	233	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度DPC参加病院	709,144	727,320	735,909	598	634	656	598	634	656	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度DPC参加病院	881,494	904,457	915,240	711	687	776	704	687	775	99.0%	100.0%	99.9%
平成22年度DPC参加病院	142,768	148,239	149,529	130	154	203	130	154	202	100.0%	100.0%	99.5%
平成23年度DPC参加病院	79,131	82,246	83,845	82	126	110	82	126	110	100.0%	100.0%	100.0%
平成18,19年度新規DPC準備病院	47,585	49,381	49,374	117	133	123	117	133	123	100.0%	100.0%	100.0%
平成20年度新規DPC準備病院	22,156	22,522	23,026	90	81	99	90	81	99	100.0%	100.0%	100.0%
平成21年度新規DPC準備病院	16,282	16,406	16,896	35	31	27	35	31	27	100.0%	100.0%	100.0%
平成22年度新規DPC準備病院		60,068	60,614		137	144		137	144		100.0%	100.0%
総計	3,035,444	3,177,747	3,217,621	2,141	2,343	2,480	2,133	2,342	2,478	99.6%	100.0%	99.9%

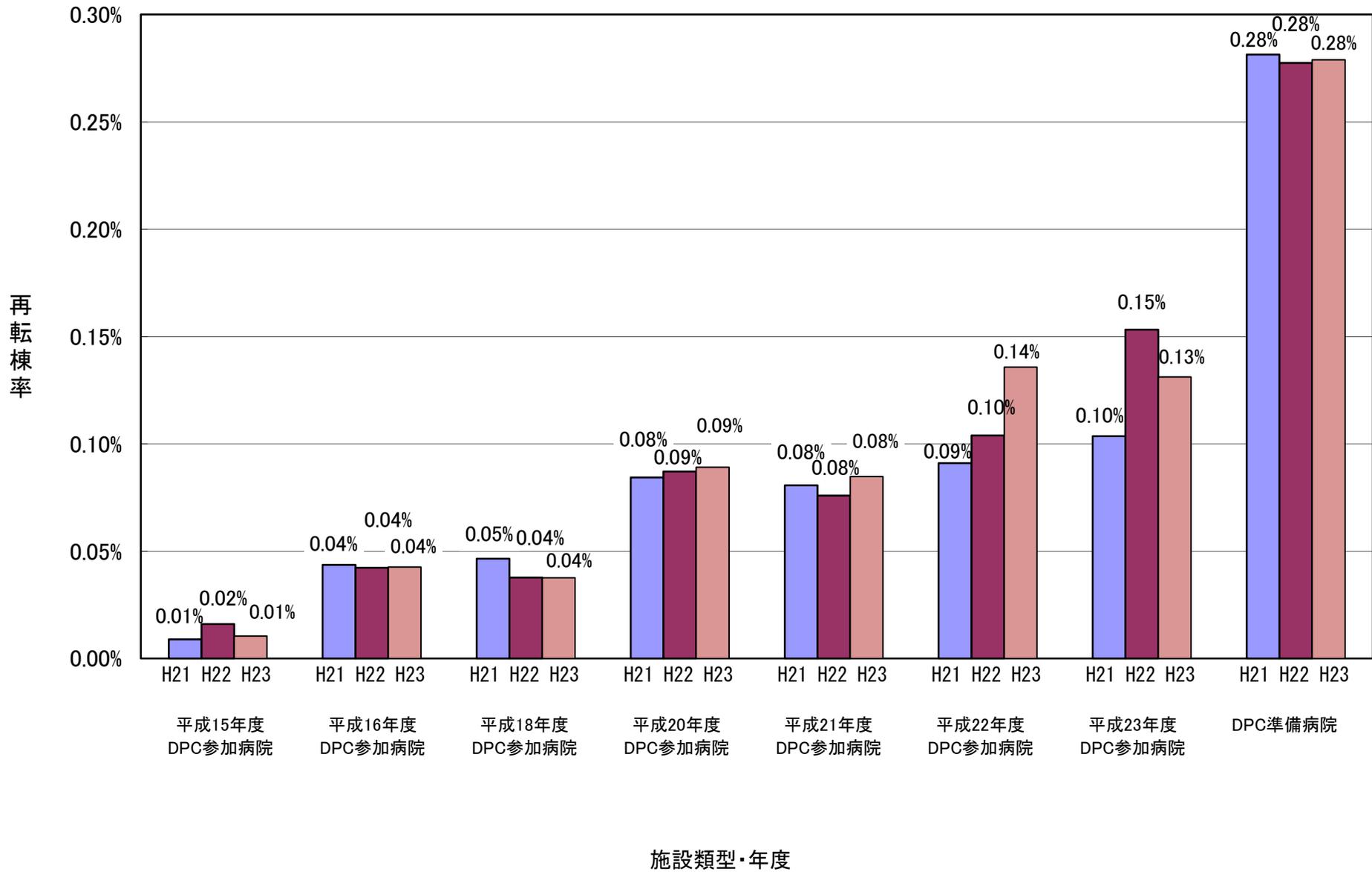
3.施設類型別 再転棟率

施設類型	再転棟率(D/C)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平成15年度DPC参加病院	0.01%	0.02%	0.01%
平成16年度DPC参加病院	0.04%	0.04%	0.04%
平成18年度DPC参加病院	0.05%	0.04%	0.04%
平成20年度DPC参加病院	0.08%	0.09%	0.09%
平成21年度DPC参加病院	0.08%	0.08%	0.08%
平成22年度DPC参加病院	0.09%	0.10%	0.14%
平成23年度DPC参加病院	0.10%	0.15%	0.13%
DPC準備病院 ^{※2}	0.28%	0.28%	0.28%
総計	0.07%	0.07%	0.07%

※1.再転棟症例数は7月～10月の様式1の子様式1レコードが作成されている症例のうち、1 入院内で一般病棟からその他の病棟へ転棟しさらに一般病棟へ再転棟した場合の再転棟数である

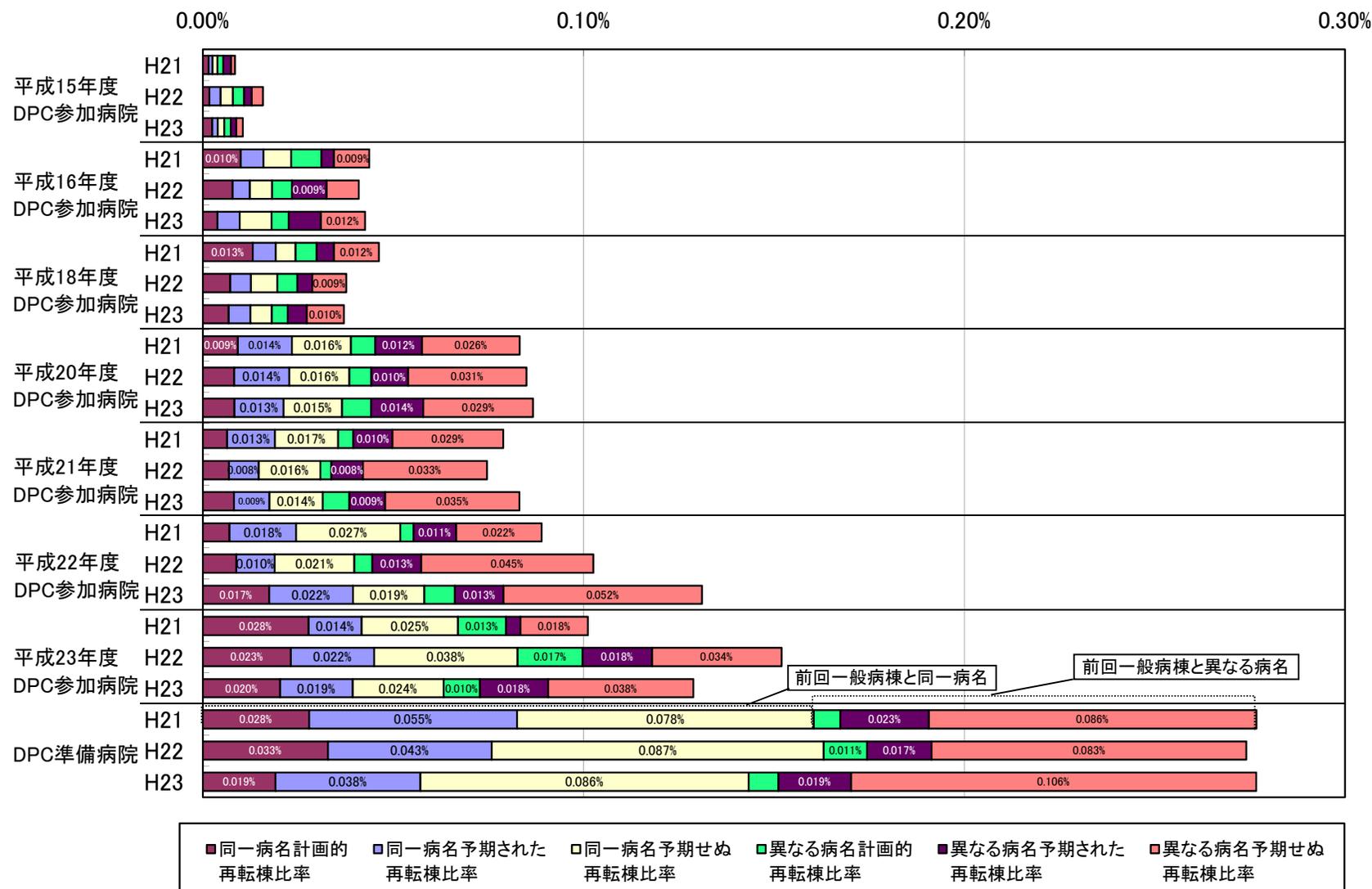
※2.DPC準備病院は3年度分のデータが全て揃っている医療機関を対象とする

図表4-① 年度別・再転棟率



図表4-②-1 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・退院症例に対する再転棟事由比率

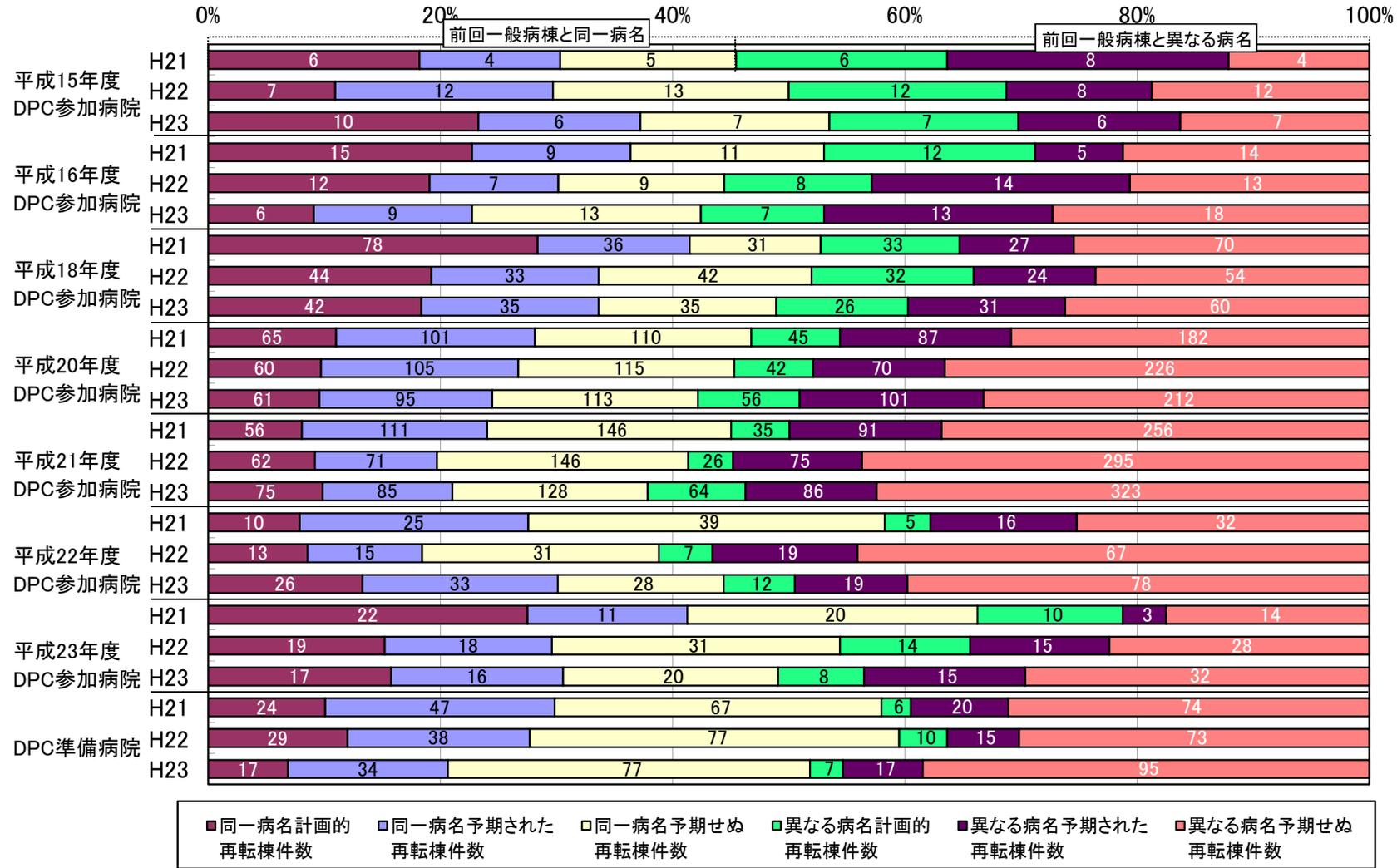
施設類型
34年度



※病名の同異は前回一般病棟子様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回一般病棟子様式1の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

図表4-②-2 前回一般病棟と今回一般病棟の病名同異別・再転棟事由割合

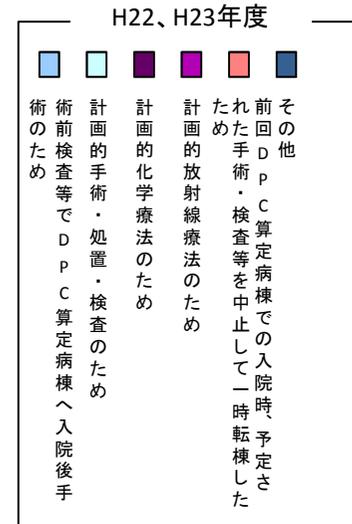
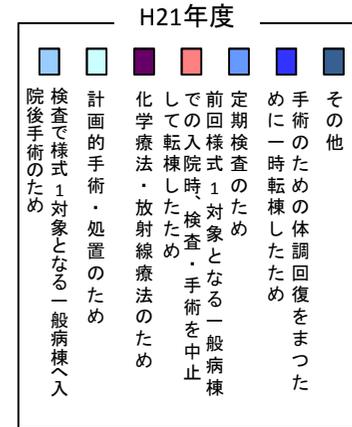
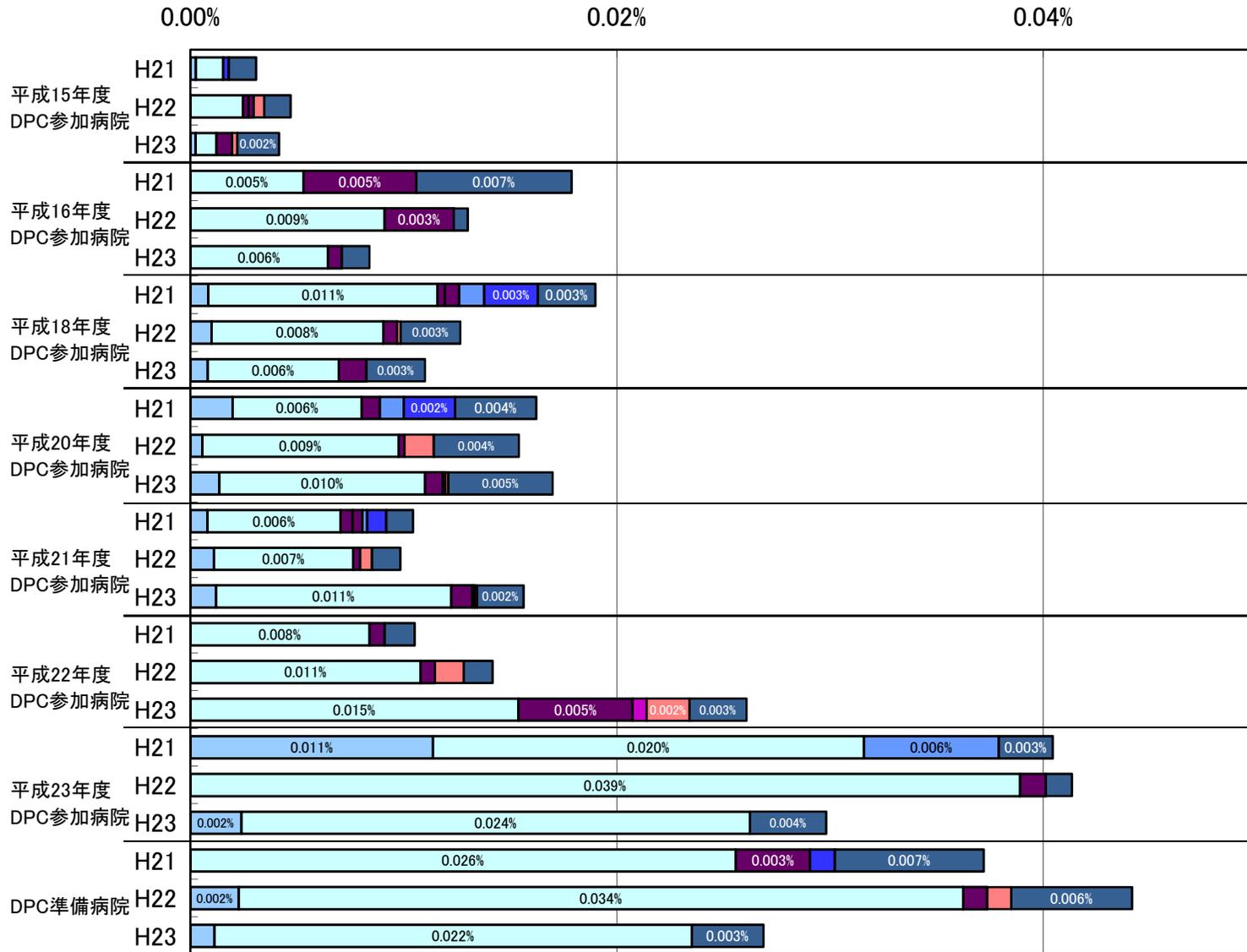
施設類型・年度



※病名の同異は前回一般病棟子様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」と今回一般病棟子様式1の「入院の契機となった傷病名」から決定される診断群分類の上6桁の同異にて判別した

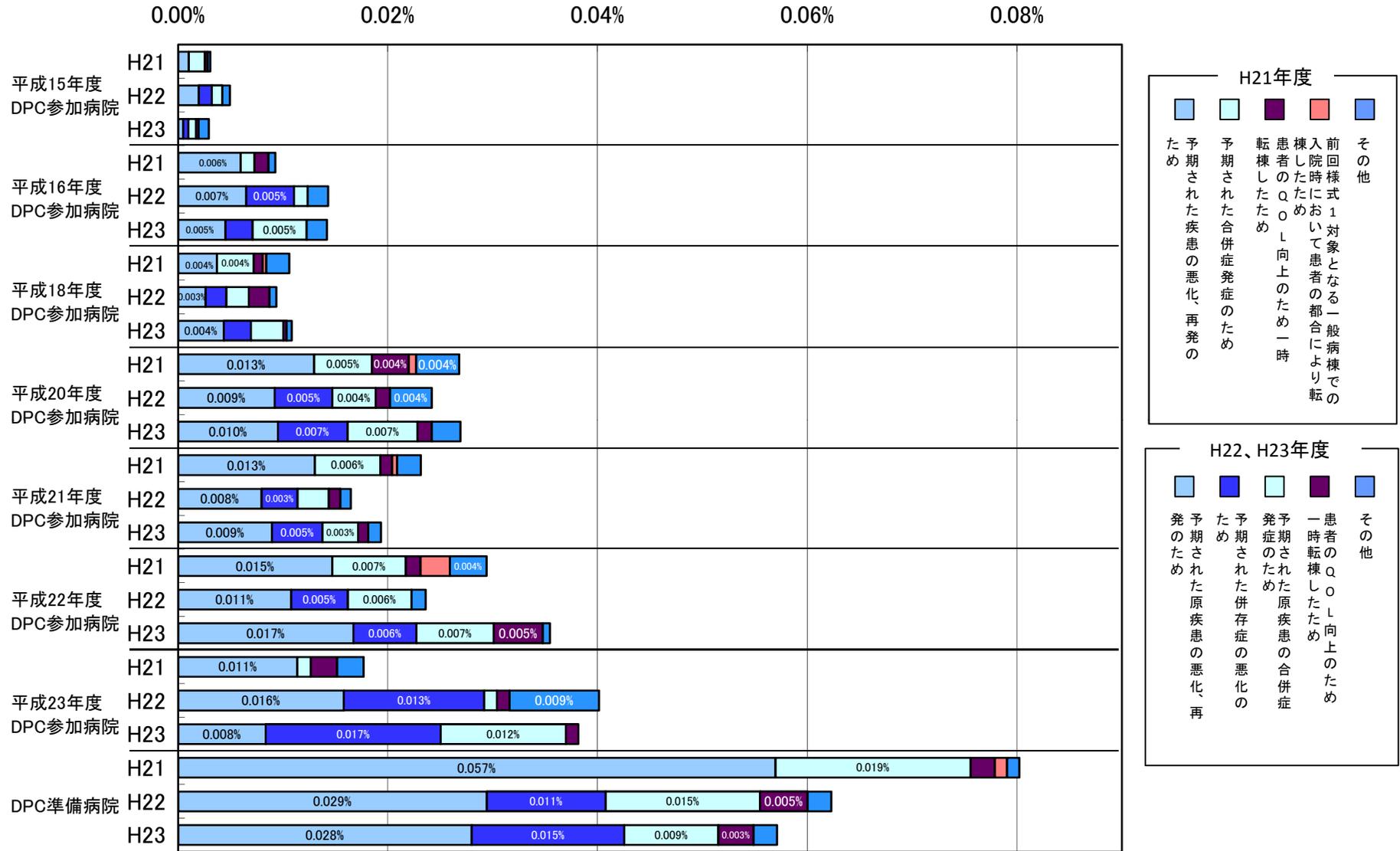
図表4-③ 計画的再転棟における理由の内訳(退院症例に対する再転棟数比率)

施設類型・年度

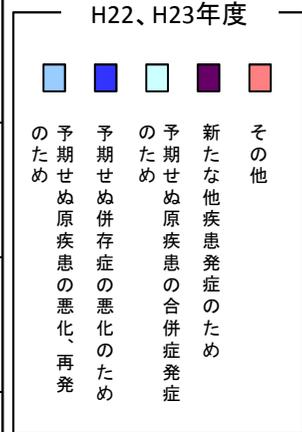
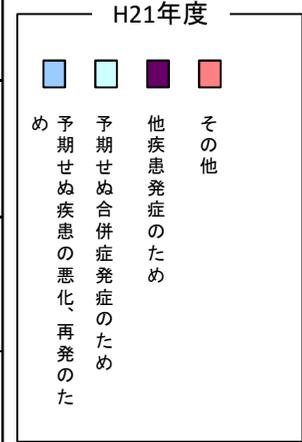
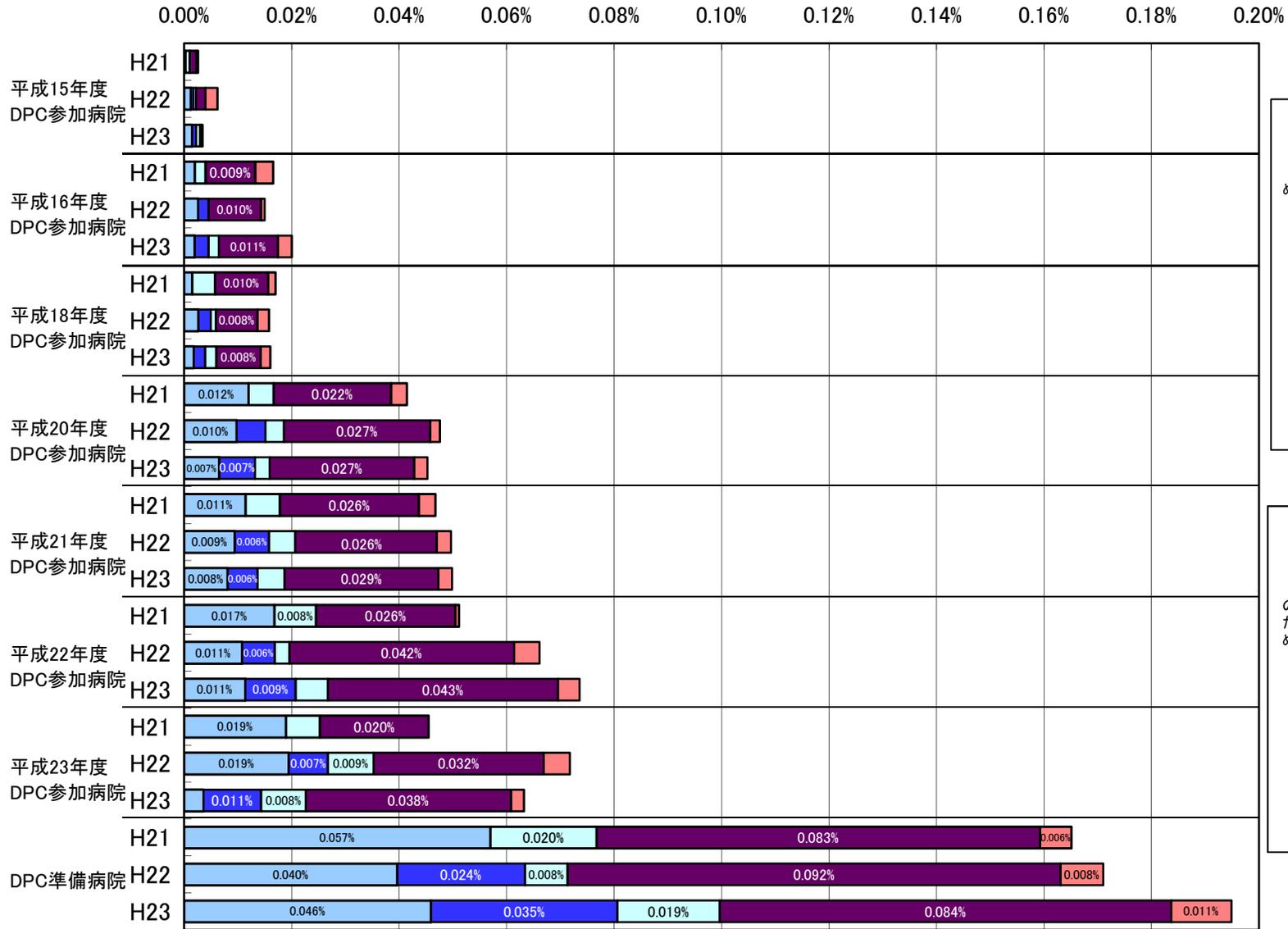


図表4-④ 予期された再転棟における理由の内訳(退院症例に対する再転棟数比率)

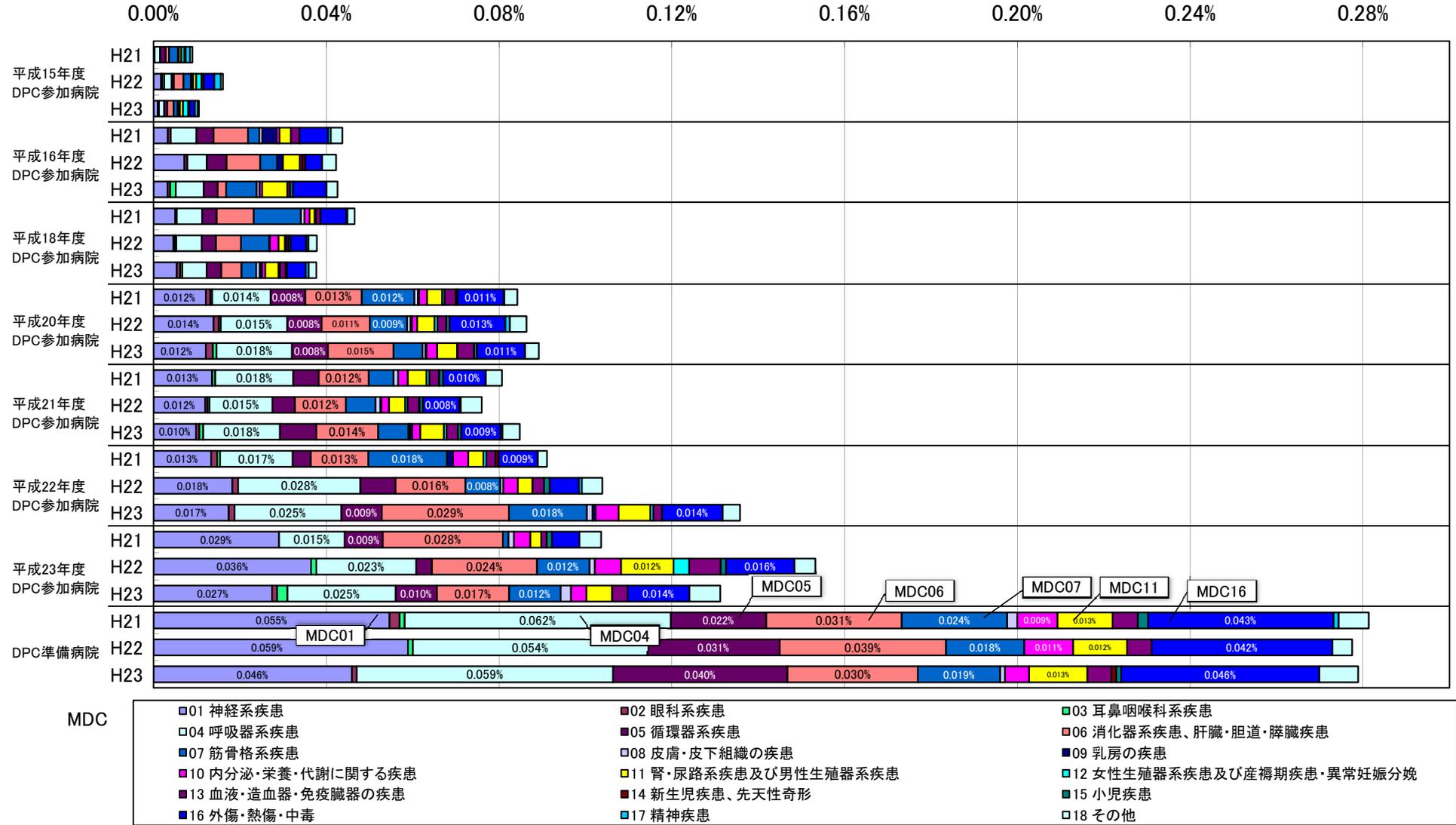
施設類型・年度



図表4-⑤ 予期せぬ再転棟における理由の内訳(退院症例に対する再転棟数比率)

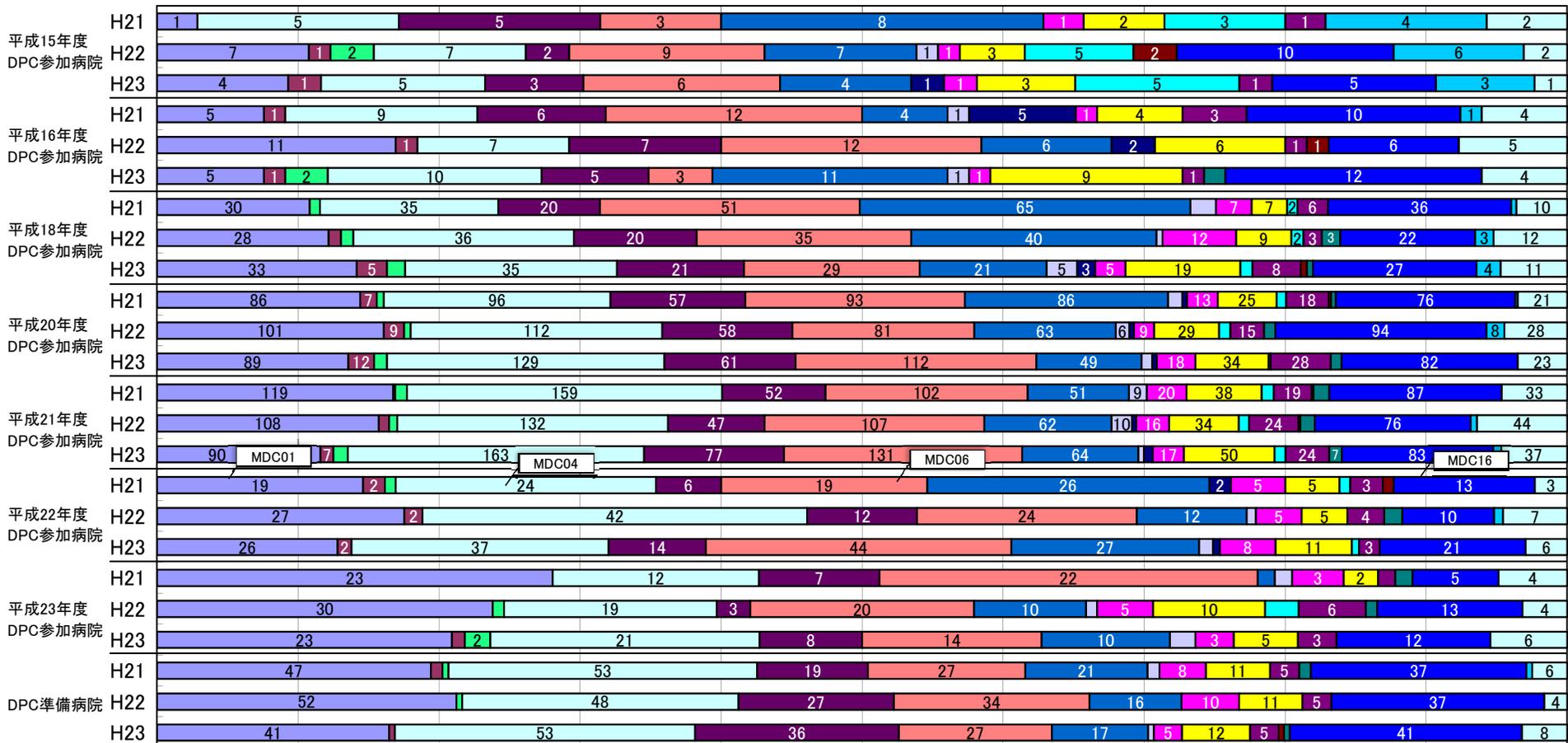


図表4-⑥-1 MDC別・退院症例に対する再転棟比率



図表4-⑥-2 MDC別・再転棟割合

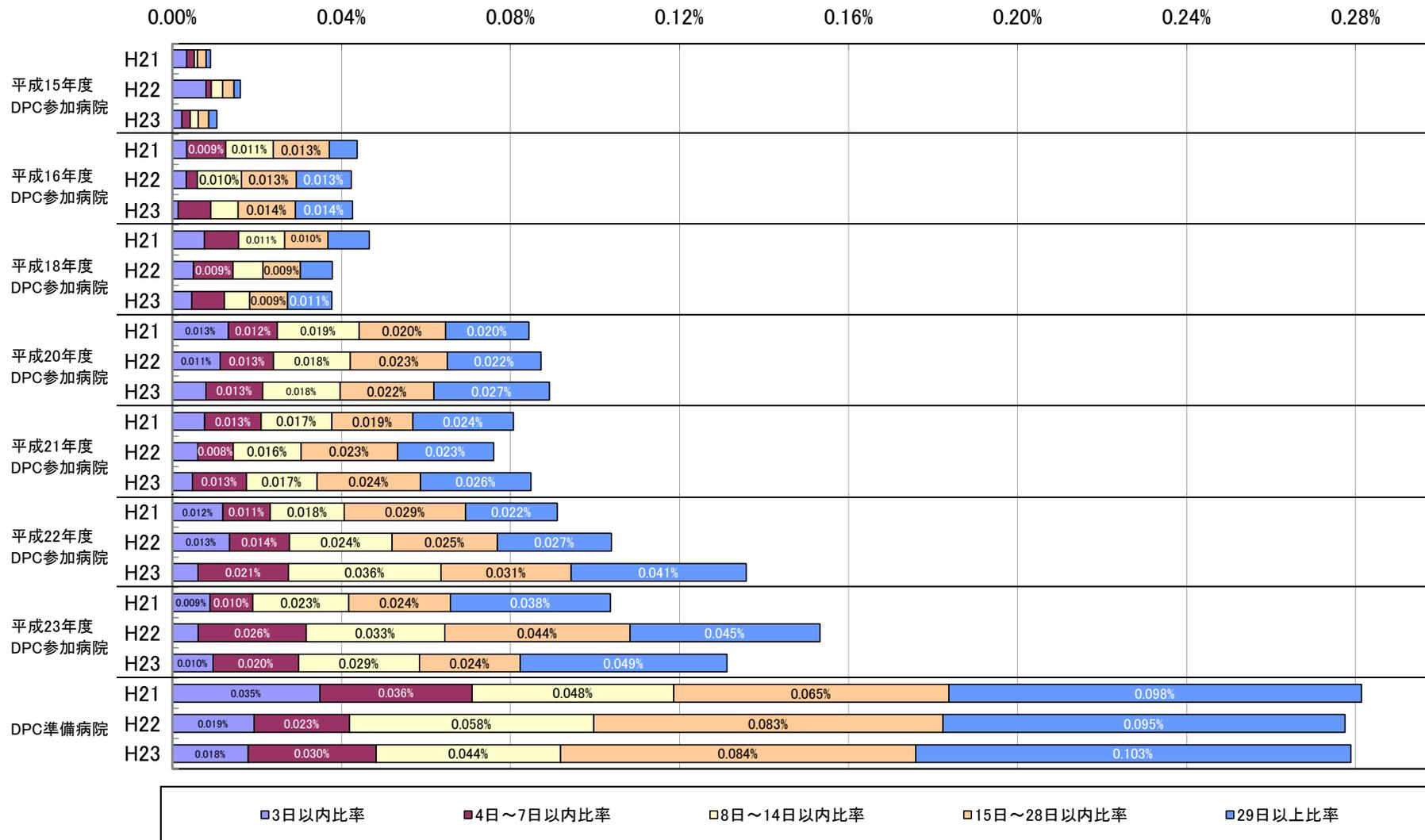
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



MDC

- 01神経系疾患
- 02眼科系疾患
- 03耳鼻咽喉科系疾患
- 04呼吸器系疾患
- 05循環器系疾患
- 06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- 07筋骨格系疾患
- 08皮膚・皮下組織の疾患
- 09乳房の疾患
- 10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- 11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- 12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- 13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- 14新生児疾患、先天性奇形
- 15小児疾患
- 16外傷・熱傷・中毒
- 17精神疾患
- 18その他

図表4-⑦ 前回一般病棟から今回一般病棟への転棟期間別・退院症例に対する再転棟比率



「平成 23 年度特別調査 再入院に係る調査」調査票

- ◇ 医療機関名：
 ◇ 患者データ識別番号： 生年月日（西暦）：
 ◇ 診療科コード（前回退院時）：
 診断群分類（前回退院時）：
 最医資病名（前回退院時）：
 入院日： ICD - 10：
 退院日： 退院時転帰：
 入院目的：
 ◇ 診療科コード（今回退院時）：
 診断群分類（今回退院時）：
 最医資病名（今回退院時）：
 入院日： ICD - 10：
 退院日： 退院時転帰：
 入院目的：

◇ 今回の入院直前の、患者の居所を選択してください。

1. 自宅 2. 医療機関 3. 介護施設等 4. その他（ ）

◇ 再入院の理由：

「計画的再入院」か、「予期された再入院」か、「予期せぬ再入院」かをまず判断し、その具体的理由の欄に「○」を記入してください。

「あり得る」合併症の発症や疾患の再発があって再入院した場合でも、それが患者に対して十分な説明がなされておらず、予期されていなかった場合には「予期せぬ再入院」としてください。項目を選択するに当たっては、参考資料の例を参照してください。

◎計画的再入院

- () ① 前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため
 () ② 前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため
 () ③ 計画的な化学療法のため
 () ④ 計画的な放射線療法のため
 () ⑤ 前回入院時、予定された手術・検査等が実施できなかったため
 () ⑥ その他（ ）

◎予期された再入院

- () ① 予期された原疾患（※1）の悪化、再発のため
 () ② 予期された原疾患（※1）の合併症発症のため
 () ③ 予期された併存症（※2）の悪化のため
 () ④ 患者の QOL 向上のため一時帰宅したため
 () ⑤ その他（ ）

◎予期せぬ再入院

- () ① 予期せぬ原疾患（※1）の悪化、再発のため
 () ② 予期せぬ原疾患（※1）の合併症発症のため
 () ③ 予期せぬ併存症（※2）の悪化のため
 () ④ 新たな他疾患発症のため
 () ⑤ その他（ ）

※1：前回入院時に医療資源を最も投入した傷病を指す

※2：前回入院時の入院時併存傷病及び入院後発症傷病を指す

(参考)

再入院理由の具体例

	項目	具体例
* 計画的再入院	① 前回入院で術前検査等を行い、今回入院で手術を行うため	小児の先天性心室中隔欠損症で前回カテーテル検査のため入院、今回はパッチ閉鎖手術のため入院。
	② 前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため	前回、骨折で入院して観血的整復術をうけた。今回、抜釘手術のため入院。 前回、急性心筋梗塞で大動脈バイパス手術を受けた。今回、術後のカテーテル検査のため入院。
	③ 計画的な化学療法のため	前回、急性骨髄性白血病に対する化学療法のため入院、今回も化学療法を受けるため入院。
	④ 計画的な放射線療法のため	前回、肺がんに対する化学療法のため入院、今回は放射線療法を受けるため入院。
	⑤ 前回入院時、予定された手術・検査等が実施できなかったため	小児で斜視手術のため入院したが、前日夕に咽頭部の発赤と発熱があったので手術を中止して退院、軽快したので2週間後に手術のため入院。
	⑥ その他	
* 予期された再入院	① 予期された原疾患の悪化、再発のため	前回、胃がん再発で入院し治療をうけて退院、自宅療養中であったが腹水貯留が著しく、嘔吐を繰り返すようになり入院。
	② 予期された原疾患の合併症発症のため	前回、食道がん治療のため入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、退院時誤嚥性肺炎がおこることもあるとの説明を受けていた。退院1週間後誤嚥性肺炎が発症したので入院。
	③ 予期された併存症の悪化のため	前回、腸閉塞のため入院、併存症として閉塞性肺疾患があり、呼吸状態の悪化の可能性について説明を受けていた。退院2週間後呼吸状態の悪化のため、入院。
	④ 患者のQOL向上のため一時帰宅したため	前回、肺小細胞癌で入院したが、ターミナルであるが小康をえていたので、患者のQOLの向上を図るため退院、今回、疼痛や呼吸困難が強くなり入院。
	⑤ その他	
* 予期せぬ再入院	① 予期せぬ原疾患の悪化、再発のため	前回、虚血性心疾患で入院、治療をうけて軽快退院、退院時風邪をひかないようにとの注意を受けていたが、心不全になるとの説明はうけていなかった。退院1ヶ月後風邪をひき、心不全になったので入院。
	② 予期せぬ原疾患の合併症発症のため	前回、食道がん治療のため入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、今後誤嚥性肺炎がおこりうるとの説明はなかった。退院1週間後誤嚥性肺炎のため入院。
	③ 予期せぬ併存症の悪化のため	前回、腸閉塞のため入院、併存症として閉塞性肺疾患があったが、呼吸状態は良好で、悪化の可能性は低いと判断されていた。しかしながら退院2週間後の外来受診で労作時の呼吸困難の訴えが強くなり、入院。
	④ 新たな他疾患発症のため	前回、白内障のため眼内レンズ挿入術をうけて退院、その5日後急性心筋梗塞を発症して入院。
	⑤ その他	

再転棟理由の具体例

	項目	具体例
* 計画的再転棟	① 術前検査等で DPC 算定病棟へ入院後手術のため	狭心症で前回カテーテル検査のため DPC 算定病棟へ入院、今回は冠動脈形成術のため DPC 算定病棟へ転棟。
	② 計画的手術・処置・検査のため	前回、骨折で DPC 算定病棟へ入院して観血的整復術をうけた。今回、抜釘手術のため DPC 算定病棟へ転棟。 前回、急性心筋梗塞で大動脈バイパス手術を受けた。今回、術後のカテーテル検査のため DPC 算定病棟へ転棟。
	③ 計画的化学療法のため	前回、急性骨髄性白血病に対する化学療法のため DPC 算定病棟へ入院、今回も化学療法を受けるため DPC 算定病棟へ転棟。
	④ 計画的放射線療法のため	前回、肺がんに対する化学療法のため DPC 算定病棟へ入院、今回は放射線療法を受けるため DPC 算定病棟へ転棟。
	⑤ 前回 DPC 算定病棟での入院時、予定された手術・検査等を中止して一時転棟したため	白内障手術のため DPC 算定病棟へ入院したが、前日夕に咽頭部の発赤と発熱があったので手術を中止して転棟、軽快したので2週間後に手術のため DPC 算定病棟へ転棟。
	⑥ その他	
* 予期された再転棟	① 予期された原疾患の悪化、再発のため	胃癌再発で DPC 算定病棟へ入院し、治療をうけて転棟、療養中であつたが腹水貯留が著しく、嘔吐を繰り返すようになり DPC 算定病棟へ転棟。
	② 予期された原疾患の合併症発症のため	食道癌治療のため DPC 算定病棟へ入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、転棟時に誤嚥性肺炎がおこることもあつたとの説明を受けていた。転棟一週間後誤嚥性肺炎が発症したので DPC 算定病棟へ転棟。
	③ 予期された併存症の悪化のため	腸閉塞のため DPC 算定病棟へ入院、併存症として閉塞性肺疾患があり、呼吸状態の悪化の可能性について説明を受けていたが、治療終了のため転棟、療養中であつた。転棟後2週間で呼吸状態の悪化のため、DPC 算定病棟へ転棟。
	④ 患者の QOL 向上のため一時転棟したため	肺小細胞癌で DPC 算定病棟へ入院したが、ターミナルであるが小康をえていたので、患者の QOL の向上を図るため転棟、今回、疼痛や呼吸困難が強くなり DPC 算定病棟へ転棟。
	⑤ その他	
* 予期せぬ再転棟	① 予期せぬ原疾患の悪化、再発のため	虚血性心疾患で DPC 算定病棟へ入院、治療をうけて軽快転棟、転棟時風邪をひかないようにとの注意を受けていたが、心不全になるとの説明はうけていなかった。転棟1ヶ月後風邪をひき、心不全になったので DPC 算定病棟へ転棟。
	② 予期せぬ原疾患の合併症発症のため	食道癌治療のため DPC 算定病棟へ入院、患者の希望で胃瘻は造設されなかったが、今後誤嚥性肺炎がおこりうるとの説明はなかった。転棟1週間後誤嚥性肺炎のため DPC 算定病棟へ転棟。
	③ 予期せぬ併存症の悪化のため	腸閉塞のため DPC 算定病棟へ入院、併存症として閉塞性肺疾患があつたが、呼吸状態は良好で、悪化の可能性は低いと判断されていたこともあり、治療終了後転棟し、療養中であつた。 しかしながら転棟1か月後、労作時の呼吸困難の訴えが強くなり、加療のため DPC 算定病棟へ転棟。
	④ 新たな他疾患発症のため	前回、白内障のため眼内レンズ挿入術をうけて転棟、その5日後急性心筋梗塞を発症して DPC 算定病棟へ転棟。
	⑤ その他	

※DPC 算定病棟とは、以下の入院基本料等を届出ている病棟をいう。

- ・ 一般病棟入院基本料
- ・ 特定機能病院入院基本料（一般）
- ・ 専門病院入院基本料
- ・ 救命救急入院料
- ・ 特定集中治療室管理料
- ・ ハイケアユニット入院医療管理料
- ・ 脳卒中ケアユニット入院医療管理料
- ・ 新生児特定集中治療室管理料
- ・ 総合周産期特定集中治療室管理料
- ・ 新生児治療回復室入院医療管理料
- ・ 一類感染症患者入院医療管理料
- ・ 小児入院医療管理料

